

社会福祉施設における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	10～ 11	2階トイレ掃除中便器の前、しゃがんだ状態で右側に移動しようとした時、上体だけが先に動き、右足をひねり捻挫した。	63	50～ 99
1	16～ 17	施設内の介護室にて、介護用ベッド（縦2m、横1m、総重量70kg）を他スタッフ1名と私、計2名で移動作業中に、バランスを崩して介護用ベッドが倒れそうになったため、若干無理な姿勢で倒れる形となった時、腰部へ過度な負担がかかり、激痛と共に動けなくなる。	39	—
1	19～ 20	入浴介護で利用者様を浴室の床からイスへ引き上げた時に痛めた。	46	10～ 29
1	16～ 17	体育館にて、利用児童とバトミントンで療育中に右足を捻り、アキレス腱を断裂する。	43	1～9
1	18～ 19	当施設、利用者居室内で介護業務をしていた。一人体制で利用者（体重約48kg）を車イスからベットへ移乗するため、前屈みになり、利用者の脇の下に両手をかけ身体を持ち上げた際、腰を痛めた。夜勤勤務を終え帰宅し、自宅で様子をみていたが、次第に痛みが激しくなった。	22	50～ 99
1	14～ 15	訪問介護サービス利用客宅にて入浴介助の作業中、浴室内のイスに座った利用者の右側に立ち、前のめりに屈んで利用者の右足を両手で持ち上げた際、腰が突然痛み負傷した。	45	10～ 29
1	14～ 15	入居者の部屋にて清掃作業中、洗濯かごを持ち上げた際に首を痛めた。	48	10～ 29
1	8～9	朝食をすませた利用者に薬を飲ませた直後、腕をきつく掴まれ引っぱられたあと我慢しながら仕事をしていたが、仕事をする上でも思い通りに腕が動かず辛く	63	10～

		なった。		29
1	15～ 16	一般浴場において、入浴前の利用者の足を洗う際、利用者の横側から中腰の体勢で足の裏を洗い、腰をひねり痛めてしまった。その後、足に痺れがあって仕事が困難となり、休業となった。	40	50～ 99
1	12～ 13	利用者ベッド前で、杖歩行の利用者の付き添いをしていたときに、利用者が転倒しそうになったため、体を支えたところ腰を痛めた。	49	100 ～ 299
1	15～ 16	当施設内リハビリ室にて、入所者のリハビリテーション終了後の移動中、歩行器を使用し移動中の入所者がバランスを崩し転倒しそうになったため、慌てて入所者の体を支えた際に、腰を捻り負傷した。	50	100 ～ 299
1	8～9	デイサービス利用者宅の庭において、車イスの利用者の移動介助をしていた際、予想以上に重かったため耐えきれず、右膝をひねり負傷した。	48	—
1	12～ 13	施設内居室にて、利用者様をベッドに移動させる際にバランスを崩し、利用者様の体が右足の上に乗れり、強い痛みを感じた。	62	30～ 49
1	17～ 18	ご利用者様の居室にて、臥床時体を起こした後、ベッドから車イスのトランス介助をした際、ご利用者が左手で左手すりを強く掴んだまま離さず、介助者の体だけが動いてしまい、左足を左側に捻り、負傷した。	41	30～ 49
1	17～ 18	トイレ内にて、入居者が車イスから便座に移るため、手すりに掴まり立位をとってもらう際、両手で入居者のズボンの腰あたりを持って持ちあげた時に、右腰から右足先にかけて電気がはしるような痛みが発生した。	36	50～ 99
1	14～ 15	ベッドに臥床している入居者の介護中に腰部への強い痛みを感じ、入居者を支えるのが困難となり、介助者を変更後、立位も困難となり、一歩も動けなくなった。	26	50～ 99
1	16～ 17	脱衣所にて入浴介助中、ご利用者様を入浴用椅子から車椅子に移乗の際、全介助にて抱えた時左側の腰に激痛を生じた。	48	100 ～ 299
	11～	給食室シンク横でまな板をタワシで磨いている時、腕を動かしたとき、筋肉分裂		

1	12	を起こした。	74	—
1	7～8	夜勤業務中、利用者の居室にて、ベットから車イスに移動する際、ベットの端に腰かけさせた時、浅すぎたため、利用者の体が前のめりになったため腰を深く座らせようとした。その際に力を入れて介助し、背中に激痛がはしった。すぐに痛みが治まるかと思ったが、痛みがひどくなった。	22	100～299
1	15～16	お茶を飲んでもらおうとして、ベッドに臥床されていたご入居者様の体のずれを直そうと、ご入居者様の左上の方向へ肩甲骨から脇に手をあてずらそうとした時、足を踏み込んだため、右ふくらはぎに痛みがでた。	52	30～49
1	10～11	和室で児童の療育に従事中、畳の上に置かれたすべり台を児童とともに被災職員が滑り降りていたが、着地の直前、別の児童が急に近寄ってきたため、一緒にすべっていた児童をかばいながら足を踏ん張り、急停止した。このとき勢いがついたため、被災職員の右足の親指が下方に巻き込まれるような状態になり、骨折した。	50	—
1	16～17	入浴時の着脱介助中、もう一人の生活支援員抱き足のタイミングが合わなかった。そのため、当該者が利用者を一人で抱えるようになり、そのときに腰に痛みが生じた。	33	100～299
1	9～10	入居者様居室にて、ベット上で端座位にて傾眠されていた入居者様を入床を促し介助しようとした所、中腰姿勢で利用者様の足を上げようとした際、予想以上の浮腫による重みで、突然腰に激しい痛みがおこり動けなくなった。	52	30～49
1	19～20	水が入ったバケツを床から右手で持ち上げ左手を添えて洗濯機に水を入れた際に腰を捻り痛めた。しばらく様子を見たが、腰部の痛みが強くなってきた。	51	30～49
1	18～19	入居者様が居室内にて夕食を召し上がる為準備を行い、入居者様をイスに移乗したところ、座り方が浅かったため深く座っていただくよう、後方より入居者様を引いたところ腰に痛みが出た。	44	—
1	14～15	髭剃り道具を立てて片付けていたところ、利用者Aさんが自分で動き、別の利用者の方に立ったまま身体をひねるように回りながら向かってきた。そのため、自分の身体でぶつかるように受けとめ、さらに手で押さえようとした。両者とも転	55	30～49

		倒はしなかったが、その際に腰を痛めた。		
1	14～ 15	昼食を終え、食器を2Fのひまわり組から1Fの調理室へ下げるため、食器を重ねて入れた番重を両手に持って階段を下りていた際、前方の視界がさえぎられていたため、最後に階段がもう一段あるものと勘違いをして下りたため番重を持ったままバランスを崩し、右足を捻挫し、負傷したもの。（番重：45cm×65cmプラスチック製）	41	10～ 29
1	8～9	利用者が臥床し、枕の定位置まで微調整が必要であったので介助する。利用者が腰の捻挫のため「そっとして」と希望あり敷毛布もあり滑りにくかったが、定位置までの微調整のため、スライド移動介助の瞬間に、左ふくらはぎより「ブチッ」と音が聞こえ、痛みも伴い、歩行困難となる。	41	50～ 99
1	10～ 11	重度棟女子トイレで、女性ご利用者のトイレ誘導、介助を行っていたところ、だんだん腰に強い痛みを感じ、腰を伸ばそうと畳スペースで横になったところ、一人で起き上がれない状態になり、他職員に手伝って起こしてもらったあと、ゆっくりと歩くことはできた。	38	30～ 49
1	16～ 17	訪問先居宅にて介護中、入浴介助を済ませ脱衣場で床に伏したところから、イスに抱えて座らせようとし持ち上げた時、腰骨がポキンと音がして痛みがはشت。	75	30～ 49
1	13～ 14	介護者をベッドから車椅子に2人で移動時（本人が介護者の頭を、もう一人（職員）が足をもって持ち上げての動作）、腰に負担がかかり、腰部捻挫と左大腿部挫傷を負った。	56	50～ 99
1	16～ 17	公園において、障がい児に対する運動プログラムを実施中、走っている際に方向転換をしようとしたところ、右足首を捻って負傷した。	38	—
1	15～ 16	フロアにて転倒している利用者を起こす際に、椅子を支えにして起こそうとした。しかし、椅子（脚部）が付近にあったオーバーテーブルに引っ掛かり、介助者（被災労働者）が体勢を崩し、左肩から倒れてしまった。	56	100 ～ 299
1	9～	利用者宅にて訪問看護でのケア中に、利用者がベッドサイド端座位から起立する際、ふらついて倒れそうになったのですぐに支えて転倒を防いだ。その際に、激	47	—

	10	痛がはしるほど腰を捻ってしまい、かろうじて歩行はできたが、痛みは軽減されなかったので業務を中断した。		
1	8～9	利用者の方をトイレに誘導中、同利用者に右足脛の横を蹴られ、右側腰部に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	68	—
1	10～11	洗面所にて利用者の髭そり介助中、中腰にて介助を行い、姿勢を正そうとした時、腰に激痛がはしり、そのまま動けなくなってしまった。	25	—
1	10～11	事業場内の利用者居室にて、被災労働者が、体幹保持できない利用者のベッドから車椅子へ移乗を介助していた際、この利用者の左足が滑ってずれたため落ちないように支えたが、この利用者のお尻の位置がベッドや車椅子の座面より低い位置となった。そこで被災労働者は、車椅子への移乗を介助するため力を込めて同利用者の身体を持ち上げたところ、腰部に違和感を感じ、酷い腰痛が生じた。	26	30～49
1	15～16	利用者宅にて訪問介護支援終了の退室間際、玄関に向かう途中の廊下歩行中、自身の不注意でくねってしまった。（自宅内床材変更工事後でフローリングが非常に滑りやすい状態だった。）	49	1～9
1	10～11	施設内の利用者様の居室内において、ベット上でオムツ交換しているとき、交換を終えて左側臥位の状態で肌着等をあげようとしたとき、ぎっくり腰となり負傷した。	32	100～299
1	10～11	特別養護老人ホームの浴室にて、入所者がシャワーキャリーに浅く座っていたので、深く座ってもらうため、座り方を直そうとした際、2人介助で、入所者の背後から脇の下に手を入れて抱きかかえようとしたところ、腰が痛くなった。	22	50～99
1	9～10	利用者Aを介助中、利用者Aが急に背中をのけぞった為、利用者Aが床に頭を打ちつけないように、手を差し伸べたときに腰に痛みを感じた。時間の経過とともに、腰から右足にかけて、痛みと痺れがひどくなった。	52	50～99
1	16～17	勤務中、入所者の体位変換を行っていたところ、突然バキッと音がして、激痛がはしった。	34	50～99
1	15～16	託児所内保育室において園児を椅子に座らせる為に手洗い場からの移動中、園児を抱いたままで反転した際に体勢を崩し、右膝を捻挫した。	34	100～

				299
1	8～9	デイサービス利用者様を迎えに行き、自宅前廊下で利用者様を車イスに乗せようとした際、利用者様にいきなり髪の毛を?まれ強く引っばられてしまった。首が勢いよく後ろに反ったため強い痛みを生じて、首を動かすことができなくなった。	29	—
1	13～ 14	利用者宅の浴室で入浴介助中、利用者を車椅子からシャワーチェアに移動させる際、利用者様を抱きかかえたとき、左腕にバキッという音とともに痛みがはしった。	66	1～9
1	14～ 15	当施設において介護業務に勤務し、被介護者を車椅子などから抱え上げたり、ベッド上での体位変換等の行為が長期間継続的に続き、腰への負担となり発症した。当日、被介護者を抱え上げようとしたときに痛みがはしった。	36	50～ 99
1	18～ 19	弊所施設内の食堂において、利用者が食卓に座る為の椅子の介助作業を行っていたとき、椅子にかけた状態でテーブルに近づけるために前方へ移動させようとしたところ、椅子が滑りにくく、体重（55kg）もあり重いので左足を使って移動させようとした。その際に左足膝に負荷がかかり、同部に激痛が発生した。	60	1～9
1	13～ 14	人工透析を終えたお客様を病院から自宅へ同行援助をしていた時、お客様をタクシーから車イスへ移動介助する際に、お客様がめまいを起こし倒れそうになったので、とっさにお客様の全体重（60kg）を腕で受け止めてケガを防いだ。翌日、お客様を受け止めた右手に力が入らなくなり、腕も上がり腰にも痛みが出るようになった。	38	30～ 49
1	11～ 12	浴室内で掃除のために特殊浴槽横の洗剤を取った時、腰に痛みがはしった。我慢しながら掃除を続けていたところ、激痛に変わり動けなくなった。	33	10～ 29
1	16～ 17	5階の居室トイレにて、ズボンの着脱介助中にバランスを崩し、右膝からボキッと音がし、右膝に痛みが出て力が入らなくなってしまった。	62	30～ 49
1	17～ 18	食堂にいる利用者を部屋に誘導する作業をしているとき、2名の利用者を誘導した後、小走りで食堂へ行く途中で急に左足ふくらはぎが痛くなり、歩けなくなった。食堂で全体会議があるため作業を急いでおり、小走りになってしまった。	41	50～ 99

1	13～14	保育園内の保育室外デッキ下の通路にて、保育室トイレ（子供のトイレ）のビニール（ゴム）製で重みのある大きめのトイレマットを棒ずりで水洗いし、側にあるフェンスに持ち上げてマットをフェンスに干す際、左側腰に激痛がはしった。動くのが困難であったが、保育室内では子供達が午睡中であったため大声で助けを呼ぶことが出来ず、やっとの思いで室内に入り、そのまま動けず、激痛で何もできなかった。	44	10～29
1	8～9	デイサービス玄関で叫び声があり行ってみると、利用者を抱きかかえた状態で被災者が床に横たわっていた。本人は膝部に痛みがあり立ち上がれず、救急搬送となった。後で本人に確認すると、玄関を一段上がったところで利用者に手すりを持たせ、後ろに回って靴を脱がせようとしたところ、利用者がバランスを崩し、そのまま後方へ尻もちをつく形で倒れたとのことである。なお、利用者に怪我はなかった。	58	10～29
1	18～19	入浴介助後、利用者（男性48kg・全介助・車いす）を洗い場から車いすに移動させる際、新人職員が上半身、私が下半身を抱え、「1、2、3」の声かけで利用者を持ち上げた。その際、不慣れな新人職員では力が入らず、利用者の体重のほとんどを私が支えたため、腰がギクっとなるのを感じた。当日は痛みを感じながら業務を継続し、様子をみていたが、痛みが引かなかった。	60	100～299
2	23～24	当社施設内の3階居室内において、入居者からトイレの希望がありベッドから車椅子に移乗する際に、両手を使って持ち上げるために力を入れたところ左手親指から左手首にかけて痛みが走った。	55	30～49
2	10～11	現場を見て、確認出来るものはいないが、本人の証言によると、災害当日、利用者が、車両から降りる際、本人に抱きつき、対応しきれず、体に負担がかかったという事である。持病もあり、連鎖的に、弱かった部分に負担がかかってしまったことによるケガとなる。場所は、駐車場である。現場は、雪が積もり、足元は、滑りやすい状況であった。	56	—
2	6～7	トイレで利用者の排泄介助をして車椅子に移乗し、正面にしゃがんで、フットレストの調整を行ってから、立ち上がろうとした時に右膝をねじったようになり鋭い痛みがあった。痛みがあったが、隣の利用者の居室まで、車椅子を押して移動	34	—

		し、他の職員に来てもらって状況を説明して介助を引き継いでもらった。その後は、介護職員から安静にして受診する様に指示があり、受診した。		
2	17~18	日頃から障害児の対応に苦慮しながら、足腰に負担が掛かりながらの勤務。その中で今回DS利用の障害児の送迎の際、他職員との行き違いがあり、出発時間を大幅に過ぎていた。焦って自分の車のカギを持ち車に向かおうと右脚を軸に振り返り、左足を地面についた際、左脚ふくらはぎに激痛が走った。雪面ということと時間がおしていたこともあり足に力が入った。痛みをこらえそのまま勤務したが、翌日病院受診、肉離れと診断される。	47	—
2	9~10	グループホーム1階において、車椅子から利用者を移乗する為に抱えたところ、腰に激痛がはしりしばらく動けなくなった。	38	10~ 29
2	5~6	入居者をベッドから車いすへ移動させようと介助していた時、左膝に力が入り過ぎ痛めたものである。負傷当日は大したことがないと思い様子を見ていたが、翌日になって腫れてきたので受診したものである。その後、同じ病院で数日通院し、多少の痛みは有ったものの働いて様子を見ていたが、一向に良くならないため違う病院で治療を受けたものである。	39	10~ 29
2	9~10	利用者の居室内ベッドにおいて、利用者をベッドの頭側へ移動した際に腰部に痛みを感じた。	29	10~ 29
2	23~24	当事業所（居宅介護事業所）の利用者様宅で、当事業所ケアセンタースタッフ（ヘルパー）が、車椅子に乗っていた利用者様を車椅子からベッドに移乗させようとして、利用者様の身体の両脇を被災者の両腕で抱えようとしたところ、利用者様の足が滑ってしまい、その際に被災者の左腕に利用者様の体重がかかり、左腕の付け根と左肩を負傷してしまった。	45	50~ 99
2	5~6	利用者の居室のベッドサイドで、被災労働者ともう一人の職員が、利用者をベッドからフラットにした車椅子に平行移乗する時に、車椅子のシートがベッドより少し高かったため、利用者の下に敷いていたバスタオルごと両手で利用者を持ち上げてスライドさせた際、「ブチッ」と右腕より音がして、強い痛みを感じた。	46	50~ 99
		介護老人保健施設にて入所者F様の痰吸引を手伝ってほしいと看護師に依頼され、F様の両手を支えていた。F様が痰吸引を嫌がり暴れてしまい、支えていた被		100

2	11~12	災害の右手を強く掴む。その際右手に痛みが走った。業務を中断し、病院を受診。右母指靱帯損傷にて約1カ月の安静を要する見込みであるとの診断。	29	～ 299
2	6~7	男性利用者様をベッドより車椅子へ移乗したことにより腰痛となった。	62	50～ 99
2	15~16	デイサービスの利用者（要介護5）を送り、車椅子から2人でベッドに移乗する際に、敷いているバスタオルを持ち上げ、ベッド上に乗せた際に、足側を持っていた当該労働者の腰部に負担がかかり、“グキッ”と音を感じ、痛みを覚え、翌日になり痛みが悪化したため病院を受診した。原因として、持ち上げるタイミングやバランスが悪かった。持ち上げる姿勢が悪かった。背中 of バスタオルがずれていた。	69	10～ 29
2	11~12	デイサービスでの入浴介助中、利用者様を車椅子より機械浴用のチェアに移乗した際、腰から背中にかけて痛みと違和感を感じた。痛みが引かないので病院を受診した際、腰椎椎間板ヘルニアと診断される。	51	50～ 99
2	5~6	利用者様の起床介助中、利用者様をベッドから車イスに移乗しようとして抱えて立った時に右手に痛みが出た。その後、激痛になり手が上らなくなった。	32	50～ 99
2	18~19	保育園駐車場にて入り口ゲートを移動するため両手で持ち上げたところ、腰に強い痛みを感じ負傷したものである。	85	—
2	14~15	入居者を車イスから肘掛椅子へ移設後、その場で落とした自分のネームプレートを拾おうと身を屈めたところ、突然右ひざが折れ曲がったようになり、その場で動けなくなったものである。	43	1～9
2	13~14	介護施設内で被介護者（男、86才）を車椅子からベッドに補助しながら移動させる際に、バランスが崩れ被介護者が落下しかけた。とっさに抱え確保した時に被災者の腰に加重がかかり腰椎を圧迫骨折した。	71	1～9
2	10~11	居室にて利用者の方へ市街地外出活動の出発を伝えている時に、利用者が手を振る動作で行かないことを訴えた。伝えている際に利用者が興奮状態となり、制止したところ右足に力がかかりパキンと音がして痺れを感じた。時間が経過し痛みが増したため後日受診した。その後も痛みが続いていたため再受診し右足第5指	43	50～ 99

		末節骨骨折と診断された。3週間の安静加療を要する。		
2	11~12	排泄介助のため、ベッド横のポータブルトイレへ移乗介助を行ったが、体の小さい方だったが重心を低くせずに行ってしまったために、腰を痛めてしまった。	44	—
2	13~14	施設内にて、入居者をベッドから車イスに移動する介護中に、入居者をベッドから立ち上がらせようと持ち上げた際に、腰に鋭い痛みが走った。	65	30~ 49
2	9~10	当施設ユニット内トイレで入居者様の、トイレ介助にて車イスから便座に移乗した際、座りが浅かったので奥深く座ってもらおうとして、力を入れた時入居者様の体重がかかり腰に痛みがはしり、全く動けなくなり受傷した。	52	50~ 99
2	8~9	訪問介護サービスの提供のため利用者宅へ伺うと、居室で利用者様が椅子から滑落し床に長座位の状態で居られた。声掛けをして椅子に座ることを介助しようと、利用者の正面に立ち、向き合って肩を貸そうと前屈みになったところ、腰部にゴキッという音と共に激痛がしてその場に座り込み動けない状態となり負傷した。	48	—
2	13~14	知的障害者の日中活動支援の昼休みの場面で利用者の好きなやりとりの最中にバランスを崩して転倒しかけた利用者をフォローしようと両手を持って支えようとしたところ強く引っ張られ右手首を捻る。その後痛みが引かないため整形外科に通院し、靱帯損傷との診断を受ける。	38	—
2	6~7	夜間勤務中にお客様からの10回のコールがあり、その都度階段で3階から1階へ急ぎ駆け付けていたが勤務後に足の腫脹・疼痛あり。	46	—
2	17~18	デイサービス利用者を自宅へ送り届ける際、車椅子に乗せたまま玄関前設置の段差解消スロープを上がる時に、車椅子のティッピングレバーに右脚をかけ、左足を後方に置いて、前輪を上げる動作の為、右足を踏み込んだ。その際、左足のふくらはぎに力が入り、「ブチッ」と音がし、急激な痛みが走った。	46	—
2	12~13	食事介助終了後、下膳時に腰をかがめた時、腰に鈍い痛みが走った。その後、少し歩くうちに腰に強い痛みがはしり、介護を別の職員に代わってもらう。何とか車で自宅に帰宅したが歩行困難となり、身内に病院まで送迎してもらう。	57	100 ~ 299
		入居者様のトイレ介助後に入居者様の体を支え車椅子に座って頂くため、車椅子		

2	16~17	の移乗介助をした際に左足の力が抜けてしまう。その後痛みが酷くなり左の膝が曲げられなくなってしまった。	40	—
2	4~5	入居者居室にて、排泄介助拒否があり、なかなか行えなかった。体を上の方へ持ち上げ、体位変換を行った。その後立ち上がる際に、腰がパキッと鳴った。ベッドが最低床で行っていた。	39	30~ 49
2	16~17	保育中、遊んでいる児童（1~3年）の安全見守りをしていた際、2年生男子2人にそれぞれ腕を掴まれた。時間を確認するため、左腕を振り払おうとした際負傷した。	22	10~ 29
2	10~11	3F談話室にて急変した入居者様の蘇生処置を行った際に膝を床についた状態で作業をしていた為ひざが擦れ、その後、炎症を起こした。	47	10~ 29
2	11~12	当社営業所デイサービス施設浴室内で、利用者の入浴介助のため腰をかがんで前屈の姿勢で機械浴用イスのフットレストを持ち上げる時に、腰に強い痛みが走り負傷した。	43	30~ 49
2	11~12	居室にてベッド脇にあるポータブルトイレに座っていた利用者をベッドに移乗しようとしたところ、腰から右足にかけて痛みが出る。	44	100 ~ 299
2	8~9	デイサービス送迎のため利用者様宅前の敷地と歩道の間に立って待機していた。敷地と歩道の間には段差があり、段差に気付かず上に立っていた。階段から下りられる利用者様を見上げつつ動きだしたため、足元を見ていなかった。右足に体重をかけたところ、体が傾き足を捻った。	49	50~ 99
2	0~1	居室にて、ベッド上で仰臥位になっている入居中のN氏のオムツ交換をするため、右腕をその方の脇に、左腕を両膝裏に入れ、体を動かそうとした時に、左腕に激痛が走った。	62	10~ 29
2	17~18	商品管理センターにて使用済みの福祉用具（置き型手すり）のメンテナンス作業を行っていた。手すりの土台部分の鉄板（20kg程度）を作業台へ移動させる為、持ち上げようと力を入れた際、腰に痛みがはしった。	45	—
		0才児保育室にて乳児をおんぶしていたが、おやつの時間となったため、下ろそ		

2	15~16	うとした。その際、乳児が嫌がり、暴れたので落下を防ごうと無理な体勢となり、右肘を損傷する。	58	—
2	13~14	フロアに有るテーブルの前で椅子に座っている利用者と立膝をつき談笑をしていた。その際、テーブルの後方に有る洗面台を利用していた男性がふらつき転倒しそうなだったので、とっさに立ち上がり男性の背後から抱え込むように抱き上げた際、左肩に激痛を感じた。	38	50~ 99
2	6~7	前月より就業していた。当月、移乗介助中入居者とともに転倒した。その後腰痛が次第に悪化した。入浴介助・移乗介助という業務は避けられず、翌々月の起床時は特に腰の痛みがひどかった。何とか出勤していたが、その後も痛みが続くため病院を受診した。入浴介助業務は、1日6名、1人約20分程で、基本的には1人で行うが、腰痛があったため2人で行うよう対応した。中腰で抱きかかえるように風呂に入れていた。移乗介助業務は、約40~55kgの型をベッドから車椅子へ移乗していた。	49	100 ~ 299
2	9~10	入居者の方の居室にて、シーツ交換を行っている際、ベッドの端からしわを伸ばすために、右腕を伸ばしたところ、肩をひねり右肩を脱臼した。	59	10~ 29
2	16~17	利用者が、デイサービスを行う場所から居室へ向かう時、ふらつき倒れそうになったため、駆け寄り利用者を受け止めた際右母指が利用者の左脇に当たり負傷した。	40	10~ 29
2	10~11	障害者支援施設でトイレ介助をしていて、利用者が急いでいたため、本来リフターで移乗する利用者を一人で横抱きで移乗した際に腰に激痛がはしった。他に支援者がいなかったため一人で介助してしまった。その後も一人で他の利用者のトイレ介助を続けた。その後、布団のシーツを外して13室分をまとめて抱き上げた際、再び腰に激痛がはしった。	37	50~ 99
2	18~19	訪問先にて利用者様の体位変換を行った際に右膝に痛みが発症し歩行が困難になった。	40	—
2	9~10	特別養護老人ホーム共同洗面所において、清掃タオルを絞る際、強くしぼり過ぎ左手親指を捻り、被災したものである。	35	50~ 99

2	14~15	陶器用の土を製造するボールミルという機械を操作している時に、ボールミルの直径0.8mの回転する円柱状の部品にある土の投入口を、上にくるように電源の入切により当該部品を回転させ調整するところうまく出来なかった為、手動にて当該部品を回転させたため、その重量により頸部等に負担が生じ受傷した。	33	10～ 29
2	0~1	休憩時間中に職員専用出入口から出ようとした時に出入口付近の段差で右足首を捻り、負傷した。	55	10～ 29
2	15~16	事務所の机で仕事をしていて、椅子から立ち上がった時に背中合わせで座っていた職員も急に立ち上がった為、ぶつかりそうになり、その時に、転倒しそうになり、左足に力を入れて踏んばった際、左足首に鋭い痛みが走り、動くことが出来なくなり、左足に力が入らなく、歩けなくなった。最初に受診した病院で筋膜炎と診断され、湿布と痛み止めを処方され、痛みがある中、仕事をしていましたが、3ヶ月経っても良くならないので、他の病院で受診したところ、アキレス腱断裂と診断され手術することになった。	69	50～ 99
2	11~12	ご入居様をベッドから車椅子にスライドボードを利用して移乗したが、慣れていないものもあり、うまくスライドボードに乗せられず抱えるのに無理な体勢で支えた為に腰部に激しい痛みが生じた。	34	—
2	8~9	デイサービスの利用者（女性・91歳・38kg）を迎えに行き、廊下で転倒していた利用者を、座位させ、立位をとって頂こうとした時に、腰に痛みを感じた。	27	—
2	13~14	背中伸ばしを行う目的で日課としてうつぶせ寝を取り入れており、利用者にうつぶせ寝をさせていた。立ち上がろうとする男性の利用者に左手を伸ばして立ち上がりをサポートしたが、その際に左手首をつかみ強い力でひねられながら立ち上がられ、左手首を負傷した。	41	10～ 29
2	10~11	法人施設3階トイレで利用者（女性、78歳、介護度4、体重約50kg）をポータブル便器から職員2人で前後（本人が前）から抱きかかえた時に腰に鈍い音がし激痛がはしった。	40	100 ～ 299
2	6~7	男性利用者居室で離床介助を行った際、右麻痺の方で、ベッドレールを持って立位をとって頂こうとした時、一度立位をとられたがふらつき右に大きく傾いたためとっさに右腕で支えた。その時右肩に強い痛みがはしった。ベッドの高さは立	46	50～ 99

		位のとおり易いようにあらかじめ上げていた。		
2	9~10	グループホームの玄関で利用者を送り出す為、利用者の鞆を持った途端、左腰の後ろ辺りに激痛がはしり、痛みで動けなくなった。	62	10~ 29
2	20~21	グループホームの台所にて、翌日の朝食の調理のために食材を切っていた際、体勢を変えようとした（右足に掛けていた重心を左足に変えようとした）時に、足を捻ってしまった。	61	10~ 29
2	12~13	当日、脱衣室で、車イスからベッドへ移乗介助し、ベッド上で利用者の身体を上へスライドさせた時、腰に電気がはったような感じがした。その後、違和感と腰を屈めた時の痛みはあったが、定時まで就業する。ベッドの高さ53cm、利用者身長155cm、職員身長168cm 翌日、入浴介助後に、自分の足を洗い椅子から立ち上がろうとした時、腰の痛みがひどく、その後は足を引きずりながら歩く状態であった。腰痛のため前屈みになれず、服を着替えるのも難しい状況になり、病院を受診する。	48	50~ 99
2	16~17	部屋の床に臥床されている方を看護師2名で（上半身側と下半身側のうち、本人は下半身側を支えて）車椅子に移乗介助した時、左胸部で音がして鈍痛が出現した。	47	50~ 99
2	6~7	ご利用者様の居室に訪室し、ベッドから車椅子へ移乗する際、右脇腹を痛めたものである。	24	50~ 99
2	9~10	フロアのソファに座っていた入所者をトイレ介助のため歩行器に移行する為、立位を取ってもらうため抱えようとして数回試みるも出来ず、渾身の力を入れた時に激痛を感じギックリ腰と思い込み、整体、クリニックへ通院する。	57	30~ 49
2	15~16	1階女性浴室の階段の手すりを持って（左手）掃除をした際力がかかり左手首を骨折した。右手でお湯の汲み出しをしていて、身を乗り出していた為、バランスを崩した。その時に左手首がグキッととなった。	60	10~ 29
2	15~16	脱走を繰り返す利用者を、ケアホームの玄関で止めようとした時に背中辺りの服を後ろから右手を伸ばして掴んで無理やり止めた時に、凄い衝撃が伝わってきて、ドアにもぶつかって、左側の首・肩・腕に激痛が出た。とても業務が出来る	34	30~ 49

		状態ではなく、すぐ病院を受診した。		
2	20~21	居室内トイレで男性利用者のパジャマのズボンを更衣中、利用者が急に片足を上げた為、利用者の身体を支える為、自分の身体をねじらせたところ、左脇がグキツとなり痛みがはしり左肋骨を骨折した。	57	30~ 49
2	9~10	グループホーム施設内で高齢者の方をトイレに誘導する為、座っていた椅子から車椅子に移乗しようと、屈んで、高齢者の方を支えて立ち上がろうとした時に腰に痛みがはしり、そのまま床に腰を下ろして座り込んだ。当日は我慢してそのまま終業時間まで就労した。翌日も痛みがあるも出勤した。しかし、右足の痛みが強くなった。以後は自宅で静養した。その後、3日間出勤したが、右足の痛みを我慢していた。次の休日に足の痛みが酷くなり立位も困難になり夕方に受診した。翌日も勤務したがいよいよ痛みが強くなったので、その次の日から欠勤した。以後、歩行も厳しい状況となり現在に至る。	62	10~ 29
2	10~11	当園保育士は園内でホールで子供達とリズム（運動）をしていた。動いている最中、脚を開いた際、右膝を捻ってしまい、筋を痛めてしまった。	62	30~ 49
2	8~9	特別養護老人ホームの入所者居室内にて、ベッド上の入所者が足元の方へ、ずり下がっていた為、入所者の体を両手で抱えて枕元の方へ移動した。介護職員1名で対応していた。中腰の状態です。腰を痛めた。	41	50~ 99
2	15~16	施設内機能回復訓練所でデイサービスの利用者を車椅子からベッドへ移乗させようとした時、車イスのステップに足がぶつかり、体勢を崩した。その際、利用者を落とさない様にベッドに移したが、無理に体を捻った体勢で行ったので、腰を痛めた。	38	10~ 29
2	10~11	保育室で被害者の膝の上に園児が座っていた時、急に園児が被害者の足の上に立ったので園児がバランスを崩し、支えようと抱いたら、左肩を脱臼した。	47	10~ 29
2	11~12	入所者様のケアが終わり、入所者様の身体が足元に下がっていたため、本人の背と腰の下に自分の手を入れてベッド上方に動かそうとした際に腰に激痛が起こり立っているのも座っているのも辛い状態になった。	31	50~ 99
		脱衣所で車椅子から台の方へ利用者を移乗介助しようと、右足は台の上に左足は		100

2	16~17	床につけて、利用者を抱えた時に左膝から音と痛みがはしり、歩行が困難になった。	36	～ 299
2	17~18	ケアハウス入居者居室にて、通常は歩行している体重40kg程度の入居者が転倒していた。床から自力で立ち上がるのが不可能なため、被災者が両手で抱え上げベッドに移行してもらう。その際、左臀部から爪先に掛けて痛みと腰痛が出現した。数日間様子を見ていたが痛みが治まらないため病院を受診し、椎間板ヘルニアとの診断を受け、手術となる。なお業務の影響で約2年ほど前から腰～左臀部～左爪先にかけての痛みが時々あった。	39	30～ 49
2	9~10	利用者様のトイレ介助時に、利用者様の背後で自分の左膝の上に利用者様のお尻を乗せ、ズボンを上げようとしていた時にいきなり全体重が左膝にかかりバランスを保てず左腰を痛めたものである。	22	50～ 99
2	0~1	居室内にて、PWC介助中、立位になりPWC迄に移乗中、足を交わせず、介助バーを持ち急に座り込んだ為、職員は突然の膝折れに後方より抱える形となり、腰に痛みと鋭い音がはしった。	34	—
3	9~10	居室において、利用者をベッドからリクライニング車椅子に職員2人で移乗させたあと、リクライニング車椅子にヘッドレストを取り付けるため、ベッドの脇に立てかけてあったヘッドレストを左側に体を捻って片手で取ろうとしたところ、腰に強い痛みを感じた。	53	50～ 99
3	17~18	利用者居室にて、利用者を車椅子からベッドに移譲させて横にする際にバランスを崩し、一緒にベッドに倒れ込んでしまい、左足をひねった。痛みはあったが歩行に支障はなく退勤時間まで勤務し、帰宅途中に痛みが増してきた。	48	50～ 99
3	14~15	ふらつかれ転倒しそうになった人を倒れないように抱えた際、左手をひねり受傷した。	48	30～ 49
3	8~9	施設利用者を迎えに行き送迎車に車椅子を固定している際、石ころに足をとられ転びそうになり、そのとき左足で体重を支えたため、過度に負担がかかり、左足ふくらはぎを痛めた。	66	100 ～ 299
		下肢麻痺の体重92～93kgの男性利用者をベッドから車椅子へ移乗の介助を行って		

3	7~8	いた際、利用者が車椅子からずり落ちそうになり、落ちないように無理な体勢で支えようとしたため腰に負担がかかり、作業終了後に痛みが強くなり、移動するにも手助けが必要なほどの腰痛となった。	42	10~ 29
3	16~17	当社利用施設において、利用者のオムツ交換をするため、車椅子からベッドに移乗しようと利用者の上体を引き上げた際に、腰に激痛がはしり強い痛みを感じた。	51	10~ 29
3	8~9	施設居室内トイレにて車イスのご利用者様をトイレへ誘導し、車イスから便座へ移乗する際に手首に負担がかかり痛めた。	43	100 ~ 299
3	16~17	当施設内において、利用者のトイレ介助を行おうと車椅子から便座に移動させようと立ち上がらせた際、利用者の立位が安定されなかったため、抱きかかえたまま下へ倒れ込み、尻を床に打ちつけた。	36	100 ~ 299
3	16~17	会社の資材置場にて、丸太の整理のため、直径15cm程度の丸太を転がらないように左手で支えながら、チェーンソーで切断していたところ、切断完了時に丸太を支えていた左腕に重さがかかり、体のバランスを崩し、左前腕がチェーンソーの刃にあたり怪我をした。	34	10~ 29
3	15~16	当社がその運営をしている保育室において当施設所属の当社職員が、保育室でおやつの時間に0才児の子どもを抱っこして、テーブル付きのイスに座らせようとしたところ腰に痛みを感じ、そのまま動けなくなった。そのあと痛みを感じながら保育を続けたが、腰に激痛がはしり、ぎっくり腰を発症した。	30	1000 ~ 9999
3	8~9	ホールにて卓球部（利用者様クラブ活動）の準備をしている際、卓球台（折り畳み式）2つ折の状態から開く際に、卓球台左右の留め具を外し少し開くも、それ以上は硬くて開かないため、少し開いた隙間に体（右半身）を入れ、両手と右背部で押すがなかなか開かず、さらに力を入れ押したところ卓球台が開き、腰を捻る。	47	10~ 29
3	17~18	食堂にて入居者の食事介助を行ったあと、立ち上がりその場を離れようとした際、右膝内側を入居者が乗っていた車椅子のアームサポート及びハンドリムに打ちつけてしまい被災した。	36	100 ~ 299

3	13~14	リビングのステーション内で椅子に座った状態で記録を記入している時に、転倒リスクの高いご入居様が立ち上がられたため、介助に入ろうと上体を上げた時に腰部に激しい痛みが生じ、動けなくなった。	26	30~ 49
3	8~9	送迎利用の利用者を車へ乗車誘導する際、当該利用者（身長159cm、体重63kg）が車両の階段を上る際にふらつき転倒しそうになった為、利用者の背後に周り腰のあたりを支えようとしたが車両と歩道の手すりの間で僅かなスペースでの作業だったため、無理な体勢となり、腰を負傷した。（被災者：身長157cm、体重56kg）	33	10~ 29
3	18~19	居室にて入居者の着替えを行った後、ベッドに移譲させようとしたが、入居者が不穏気味だったため、注意深く対応していたが、突然暴れたため、怪我をさせないよう無理な姿勢で支えた際、腰に急激な負担が掛かり、痛みで動けなくなった。	57	30~ 49
3	17~18	利用者居室内で、寝たきりの利用者（要介護4）の排泄介助終了後に体位変換をしたとき、腰部に強い痛みが発生した。オムツ交換をしている時に腰に激痛があり、痛みが止まらなかった。	33	500 ~ 999
3	15~16	転倒の危険がある利用者A氏を連れ、見守りながら業務を行っていた。排泄介助（おむつ交換）の時間となり、A氏と一緒に各居室をまわり、業務を行っていた。居室内でおむつ交換を行っていたところ、居室内で見守りを行っていたA氏が車椅子より立ち上がり、歩き出そうとしているのを見つけたためA氏に近づこうと走り出した瞬間、右足に力が入らなくなり、歩行も困難な状態となった。	55	50~ 99
3	15~16	トイレにて、利用者を車いすからトイレに移動するときに突然、利用者が膝折れし、咄嗟に支えたので尻もちをつかずに済んだが、その咄嗟の動作で腰に激痛がはしった。	47	100 ~ 299
3	11~12	2件目の訪問介護のあと左足に違和感があり、会社の階段の昇降の際に左足大腿部に痛みが発生した。その後、3件目の訪問介護後に痛み急増し、歩行困難となった。	74	30~ 49
		重介助の必要な女性の利用者様を女性介護員2人で介助、利用者様は力が入らず		

3	14~15	全体重を介助者が支え、全介助（体重49kg）はどの場面でも力が必要である。浴室で車寄せから椅子に乗り換えて介助を行ったのち、浴室を出て休憩室ベッドでおむつ介助し、その際も車椅子からベッドへの移乗、再びおむつ介助後、前かがみの体勢で利用者様を抱えた際に腰部に痛みが発生した。	41	30～ 49
3	18~19	施設3階のトイレで利用者の排泄介助を行っていた際、一緒に介助していた同僚の介護職員が、利用者の尻のマッサージを行いやすくするため、利用者を抱き抱え尻を浮かせた際、腰部に痛みを覚えた。	25	50～ 99
3	10~11	保育中、園庭で子どもと追いかけてっこをしていて、着地をした時に左足に重心がかかり、左膝がボキッとなり痛めた。	31	10～ 29
3	9~10	居室にて、利用者様を車椅子からベッドへ移乗した際、協力動作が得られず自己の力で実施した。利用者様を前傾姿勢にし臀部を浮かせ方向転換をした際、腰部を中心に激痛がはしり、立てなくなり床に座り込んでしまった。どうすることも出来ず他職員に助けを求めた。	29	100 ～ 299
3	13~14	施設内トイレにて利用者様を車いすに移乗している時に、狭い中で多少無理な体勢で行い、職員が左手首を痛めてしまう。体重が支えきれずひねってしまい、左手首関節捻挫（TFCC損傷）を負い、2週間程の休業となった。	55	10～ 29
3	16~17	入所者のトイレ介助において、腰を浮かせて立ってもらう際に体勢が崩れかけ、立て直そうと力を入れた。入所者の腕をかけていた首と力を入れた腕に負荷がかかり、首の辺りを痛めた。	31	100 ～ 299
3	14~15	施設の浴場で利用者の入浴介助を行っており、入浴後、南向きの手すりまで両手で支えながら立ち上がってもらい、誘導した。そのあと東側の手すりに声掛けしながら移動してもらい、階段の手すりに持ち替えてもらうときに、バランスを崩して頭から前方に転倒しかけた。その際、左後から利用者の右腹部に右腕を入れて引き上げたところ、右肩と右肘に痛みがはしり、腕を上げられなくなった。	39	30～ 49
3	8~9	全介助必要な脳性マヒの利用者がトイレ床で排泄を終え、仰臥位になっておりトイレ外の車椅子へ移動する際、利用者が手をばたつかせたのも相まって上手く車椅子へ着地できず、利用者の足がレッグベルトに引っ掛かり、長時間不安定な姿勢で抱きかかえたため、仙脇関節及び胸椎に激痛がはしった。	35	1～9

3	14~15	勤務地（児童センター）園庭で児童と砂場で遊んでいたとき、他児童が鬼ごっこをしており、つまずいて背中に飛び乗って来た。その際に被災職員は中腰だったため、尻もちをつき受傷した。	56	1~9
3	18~19	利用者宅で、利用者を車椅子から便座に移乗中に腰を痛める。	39	10~ 29
3	14~15	当事業場内にて職場の引っ越し作業中、床上にあるソファを運搬するために同僚と共に持ち上げたところ、腰に強い痛みを感じた。	25	500 ~ 999
3	18~19	施設内浴室にて入浴介助で手引き歩行中に左足を捻挫した。	51	50~ 99
3	17~18	清掃業務の合間に、施設を利用している児童とキックベースをしている時に、飛んで来たボールを補給しようとして、右側に足を一步踏み出した際に、右足指に肉離れを起こした。その後、療養中に同個所に峰窩織炎を発症した。	58	300 ~ 499
3	15~16	サービス利用者をベッドに座らせて横にしようとしたとき、左下腿に激痛が生じた。	42	50~ 99
3	15~16	園庭前のテラスで園庭に出ようとした時にバランスを崩して転びそうになり、右足に負担が急にかかった状態で踏みとどまってしまい、右足を骨折する。	31	30~ 49
3	10~11	利用者居室にてシーツ交換時、車イスに移ってもらうために起こす際にゆっくりして欲しいとの要望があったため、できるだけゆっくりと介助を行っている時、急に脇腹に強い痛みを感じた。	67	50~ 99
3	15~16	保育室で3時のおやつを食べた後、外遊びに行く準備中、それまで元気だった3才児の子供が突然嘔吐する。子供の体勢が横向きで寝た状態であり、片方の髪の毛が汚れていた為ぬぐい、かつ吐しゃ物をよけながら、横向きの子供を抱き上げた時、自身の右手を痛める。	57	—
3	11~12	事業所内にて利用者のトイレ介助をしていた時に、利用者がふらつき寄りかかるような体勢になった際、左足で踏ん張ったがしゃがみ込んでしまい、立った時に左膝に痛みを感じた。	52	10~ 29

3	11~12	利用者居室にて、ベッドから車いすへ移乗しようと利用者（身長150cm・体重62kg）にベッドの端に座ってもらい、利用者の両脇に両腕を差し込み、背中に両手を当て利用者の胸に左肩を当て立たせようとした時、左側にバランスを崩したため左足で踏んばり、体の左側に力を込めて支えようとしたところ、腰と首を痛めた。	47	100 ～ 299
3	9~10	介護老人保健施設に勤務する当該職員は、施設内に於いて利用者の居室案内をしていた。利用者が車椅子からベッドに上がり横になる際、足が上手く上がらなかった為、介助する際に中腰になり、右手で足を下から支えて上げたとき、腰を捻り痛めた。	33	50～ 99
3	14~15	ベッド上で女性利用者の体位交換をするため、身体の下に手を入れ手前に引き寄せたところ（二人介助の足元側）、腰全体にグキッと痛みがはしった。鈍い痛みがあったが様子をみていたところ、右大腿部後ろ側に激しい痛みと痺れが発生した。	43	50～ 99
3	11~12	サービス付き高齢者向け住宅にて、入居者様を入浴介助のためにストレッチャーに移乗する際、利用者様が激しく動きバランスを崩し、被災者の右腕に負荷がかかり受傷し、右腕が上がらなくなる。尚、この介助は2人介助にて行っていた。	58	50～ 99
3	11~12	当施設入居者様の居室にて、車イスからベッドへの入居者様移乗時にバランスを崩し、腰を痛めてしまった。電動の昇降装置が故障しており、誘導についたリーダーと本人で手動にて試みたが、正常に作動せず、そのままの位置で移乗する様に誘導を行った。	34	30～ 49
3	7~8	当施設内にある利用者の居室にて利用者の見守り中に、利用者が立ち上がろうとしてふらついたため、転倒を防ごうと後ろから支えたことでバランスを崩し、左足首を捻り受傷した。	24	10～ 29
3	16~17	認知症の施設利用者をお見送りする際、その利用者が急に後ろからおぶさってこられたので、転倒しないように踏ん張ったが、それ以降、背中に強い痛みがはしるようになった。	55	30～ 49
3	12~13	運動場のストックハウス内で踏み台に上がり棚の上に荷物を置こうとしたとき、	56	1～9

		足を痛めた。		
3	10~11	職場のトイレでトイレ介助をしている時に、腰を痛めた。トイレにて利用者の右麻痺側の右下肢を車イスのペダルから降ろす際に、腰を強く痛めた。その後も、職場で利用者の血圧を測定する際に腰がグリッとなり強く痛めた。	35	10~ 29
3	16~17	ホール内で食事介助を膝をついた姿勢で行っていたところ、3~4m後方に座っていた他苑者が、立ち上がろうとされたのに気づき急いで振り向き、立ち上がろうとした際に腰~太腿にかけ強い痛みがはしった。そのあと歩行可能になり、右足を床につくと仙骨部に激痛が生じた。	45	50~ 99
3	10~11	座り込んで石や砂を拾い口の中へ入れた2才児女子を見て止めさせようと思い、急いで階段を駆け登り体をひねった状態で石を取りだし、園庭の方へ抱きかかえて階段を下りたときに足がふらつき、怪我させないように気遣いながら降ろしたあと腰に痛みがはしり動けなくなった。	61	30~ 49
3	8~9	職場の共有スペースにて食事の配膳車を返却しようと押した際に、腰部に強い痛みが出て、急に歩行や立ち上がりが出来なくなった。	28	50~ 99
3	10~11	就業先事業所の浴室にてご利用者の入浴介助中、浴室のシャワーキャリーから脱衣室の車椅子へ移乗中に腰に激痛が起き、ご利用者を車椅子への移乗した後に膝をつき、激痛により立つことができなくなった。	37	10~ 29
3	2~3	入居者様よりナースコールの呼び出しがあり、ベッド横に転倒されており、ベッドへ移乗させる際、膝をつき持ちあげようとした時、中腰になり腰をひねった。	65	10~ 29
3	14~15	3階廊下で、利用者を食堂へ案内していたとき、利用者が自分でついていた杖に足を引っ掛け前方へ倒れそうになった。それを支えようとしたとき、利用者が介助者の左手首をつかんだ際、ひねって受傷した。	36	50~ 99
3	16~17	コンテナボックスにごみを捨てに行く時、少し大腿で水たまりをよけようとし、左足をすべらせ、右足を内側にひねったまま体重をのせて着地してしまい骨折した。	23	10~ 29
3	9~10	利用者居室にて、中腰状態でオムツ交換中、利用者の体交を行った際に腰と左足に痛みを感じ、身体を元に戻そうとするも動けない状態となり、そのあと痛みが	63	30~ 49

		持続した。		
3	16~17	食堂兼機能訓練室の畳スペースにいる入所者を二人ペアで車椅子へ移乗させていた時、右腰から音がし、痛みを覚え、作業を中止した。（以前から腰痛があったがヘルニアではない）。帰宅後、痛み止めを飲み安静にしていたが、翌日の勤務中に痛みが増して歩けなくなり、腰椎捻挫、外傷性下肢抹消（性）神経障害性疼痛と診断された。	41	100 ～ 299
3	19~20	当施設3階居室内にて、利用者をベットから車イスへ移動した時、左肋骨部に痛みが出た。	25	50～ 99
4	22～ 23	施設内での夜勤中に、男性利用者様のトイレ介助を行う際、前方からズボンを下ろした時に両手で髪の毛をつかまれ、引っ張られた。	35	10～ 29
4	9～ 10	出勤してすぐ客室トイレにあるゴミの回収作業を行っていたとき、腰を落とし両手で重いゴミ箱（約4kg）を持ち上げ、左右に曲げたりしたことで腰に負荷がかかり痛めた。	61	30～ 49
4	8～9	利用者が車イスよりずり落ちそうになっているのを発見し、看護師に手伝ってもらい車イスに座ってもらう。体（上腕）を引き上げる際、右腕に一瞬痛みがはしり違和感を感じた。	56	30～ 49
4	11～ 12	事業所内で、入浴介助をするために着替えを行って片足立ちになったとき、突然腰痛が出現し、立ったり歩いたりすることができなくなった。	62	50～ 99
4	17～ 18	利用者居室で、ベッドから車椅子へスライド移乗する際に、利用者の足に力が入らず、後方から全体重を支える形になり、右腰部に痛みがはしる。帰宅後に痛み悪化し、右下肢に力が入らず、足を上げる事ができなくなった。	40	30～ 49
4	10～ 11	保育園2階ホールにて、児童およびその他職員と一緒にリズム運動を行っている最中、「ギャロップ」という動作（サイドステップで横へ移動する）を行った際に左足のアキレス腱を断裂した。	26	10～ 29
4	11～ 12	利用者の居室で、利用者をベッドから車イスへ移乗介助するときに、利用者をベッドに座った状態から立たせた後、利用者が急に声を出し、足に力を入れて後方へ倒れそうになり、倒れないように急いで支えたときに腰を痛めた。	30	—

4	9～10	御利用者の入浴準備の際、ベッドからリクライニング車イスへの移乗介助時に腰を痛めた。移乗時は、二人で福祉用具（スライディングシートボード）を活用していたが、スライディングする際に御利用者がずり落ちそうになった為、とっさに持ち上げた瞬間に腰を痛めた。	30	50～99
4	7～8	利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。	40	50～99
4	10～11	施設利用者と散歩に出た際、利用者が地面に寝そべてしまったため、起こそうとして手を4～5回引っ張ったとき、腰に不安を感じた。その後、別の利用者が散歩から帰ってきた際に建物に入りたがらず、外に走って出ようとし、別の職員が引き留めようとしていたので手伝えるため利用者を止めようとしたとき、腰に痛みを感じた。	40	300～499
4	16～17	ホールにて、音楽専門部会の園内職員研修でリズム運動をしている時に、ギャロップで横に飛びはねたところ、床が乾燥していて滑りやすかったので、踏み切る足に無理な力が入ってしまい、左足のアキレス腱が切れた。	42	30～49
4	15～16	お客様宅訪問中、正座から立ち上りの一歩で左足の感覚がなくなり、左小指側面を下に捻り、バキッと木の枝を折った時のような音がして激痛がはしった。	63	50～99
4	15～16	利用者のトイレ誘導中、トランスをしようと利用者を抱き上げた際に腰をひねり腰椎捻挫となった。	37	1～9
4	15～16	利用者と外出し、（移動支援）利用者が急に走り出したので危険回避のため、右腕で抱き上げる体勢をとった際に右足太ももに違和感を感じ、しびれ及び痛みが生じ、腰部脊柱管神経圧迫症と診断される。	48	1～9
4	6～7	共同生活住居に出勤してきた世話人が、事務所から移動しようとした際、持っていた業務用携帯電話をかばんに入れようとしたときに、不注意により外廊下の排水用の溝（段差2センチメートルほど）に右足がかかり捻ってしまった。	61	50～99
4	14～	2階浴室に於いて、男性入居者（大柄で立位不安定）の入浴介助中、入浴を終えた入居者が浴室出口の方へ体の向きを変えようとした際、急にしゃがみ込む様に	55	10～

	15	腰を落とした為、とっさに左手で臀部を支えて体を引き上げようとした際、左肩を痛めた。		29
4	10～11	送迎中、お客様宅の玄関内で、廃用症候群で体の自由が利かない男性のお客様を、二人介助にて車椅子に寄せ、上がり框（25～30cm）から床に下ろす際、直線移動で外には出られず、直角に方向転換をして外に出るため、上がり框で向きを変えていた。一人は車椅子背のグリップを持ち、本人はお客様の曲がらない両足を持っていた。十分な方向転換のスペースがない為、左足より一度床に下りた際、左足に大きな音と激痛がはしり、歩行が困難になった。	69	50～99
4	8～9	利用者様宅で体位交換をしようとしたところ、利用者の体を動かそうとしたときに体勢を崩してしまい、腰に激しい痛みを感じ、動けなくなってしまった。	48	30～49
4	10～11	有料老人ホームに派遣労働者として勤務中、老人ホームの居室にて、入居者をベッドから車椅子へ移乗しようとしていた。ベッドの高さ調整を行ったあと、車椅子へ移乗を行った際に腰部と股関節に違和感を感じた。しかし、そのまま業務を続け、別の居室で別の入居者をベッドから車椅子へ移乗したところ、強い痛みになり、その後も痛みが続いた。昼食前の時間帯であり、移動動作を急いでしまった事が原因と考えられる。	56	10～29
4	9～10	軽自動車のリフト車後部に車椅子に乗った利用者を乗せセンターに向かった。途中で利用者の臀部がゆっくりと滑り、体勢が崩れたので車を止め体勢を整えた。その後体勢が崩れたので介助しようとした際に腰に強い痛みを感じ、力が入らなくなった。狭い軽自動車の後部で車椅子の横から中腰にて利用者の体を抱え上げ、無理な体勢で介助を行い腰を痛めた。	57	300～499
4	9～10	デイサービスにおいて高齢者の送迎業務中、施設に戻りお預かりしたバッグを左手指に引っ掛けて持っていた所、階段の手すりにバッグが引っ掛かり、左手の指に強い負荷がかかった。	64	30～49
4	9～10	車椅子で廊下から居室まで移動の時に便臭がし、ご入居者様の体がもぞもぞと姿勢が下がってきたために、正面から両脚を両手で支えながら助けを呼んだが力つき、そのまま床面に落下して腰を痛めた。	63	30～49
	16～	お客様宅にて、入浴前の浴槽を組み立てる準備の際、一人で足元側の浴槽を横に		

4	17	した時、腰に負担がかかり痛めた。	29	1～9
4	10～ 11	居室にて入居者の布団乾燥が終了し、布団の間に挟んだ乾燥用マットを取り出そうと高さ約40cmの介護用ベットに屈んだ際、腰に激痛が走る。足は肩幅に広げ、膝を少し曲げて45度くらい屈む状態であった。	39	30～ 49
4	8～9	2階利用者居室にて入居者を2人介助でベッドからリクライニングチェアへ移乗の際、利用者の上半身を支えていたときに体を捻って、右肋骨を骨折した。	55	30～ 49
4	10～ 11	居室内でご入居者様を車イスからベッドへ移乗する介助を行っている際、左太ももにピリピリとした痛みを感じた。日が経つにつれて痛みが増し、後日に腰椎間板ヘルニアと診断された。	25	100 ～ 299
4	7～8	居室に朝食の誘導を行う目的で訪室したところ、失禁をしていた為シート及び更衣を交換する為に床に敷いていたマットレスを移動した。交換を終えベットから離れる際に足を滑らせバランスを崩し、転倒しそうになったのでベットの柵につかまったが無理な体勢となり、右足に痛みが生じた。	45	30～ 49
4	7～8	施設内調理室にて調理中、調理用大鍋に水を張って持ち上げたとき、腰に痛みが走った。その後、痛みがひどく歩行も困難だったため早退した。	66	30～ 49
4	14～ 15	左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。勤務後から徐々に右膝が痛み始めて、ひねる曲げる等の動きができない状態となり、右膝関節捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	50～ 99
4	11～ 12	入居者居室にて車イスからベッドへの移乗介助時に、入居者を抱えた際に痛みがあり、ベッドへ移乗し臥床させた瞬間に激痛が走った。	34	—
4	19～ 20	老人ホーム施設内にて、利用者（女性身長140cm体重41kg）を二人介助で移乗介助のとき、利用者を抱えてストレッチャーからベッドへ移すときに右膝を内側に捻って負傷した。	60	30～ 49
	10～	事業場の担当する1Fフロアトイレにて、入所者の更衣介助中、更衣介助は2名で行っており、被災労働者が入所者を立たせ、（両脇に腕を入れ、持ち上げる）相勤者が入所者の下衣を降ろしている際に、腰に強い痛みを感じる。すぐに入所者		50～

4	11	をトイレに座らせたが、その後も痛みが取れずその日は腰に負担の少ない業務に従事した。入所者は54kgの男性で、左側に麻痺があり、自立での立位がとれない為に二人介助を行っていた。	44	99
4	15～ 16	訪問診療終了後、事務所に戻る際に、外の傾斜面の道で右足を捻り捻挫した。	62	1～9
4	10～ 11	入居者居室にて、入居者を布団から車イスへ移乗しようと敷き布団の上に上がった時、右足親指が布団に引っかかり、強く捻った際に骨折した。	63	100 ～ 299
4	21～ 22	入居者の居室へ入居者を誘導している際、睡眠薬の服用の効果が早く出られたようでウトウトされており立位の保持ができる状態でなく、全身をかかえるように移動していた。ベッドに移乗する時も全体重を支えるような状態で、倒れないようにベッドへ移そうとしたがその際に力のかかったまま不自然に体を捻ってしまい、腰を痛めた。	51	100 ～ 299
4	10～ 11	厨房入口で勤務開始にあたって厨房内用の靴にはき替えようとしゃがんで立ち上がろうとした所、腰に痛みが発生した。	38	1～9
4	16～ 17	利用者様をご自宅へ送迎時、ご自宅のベッドサイドで、利用者様を車椅子からベッドへ移乗するときに、利用者様の両下肢の間に自分の右足を入れ、その右足を軸にして左側のベッドへ移乗させようとした時に右膝の内側に力がかかり、不安定に倒れこむようになって負傷した。	46	50～ 99
4	13～ 14	介護施設の利用者の食事提供のため、スーパーへ食材を買いに行った際、お米10kgを持ち上げた時、腰を痛めた。	66	30～ 49
4	10～ 11	腰痛があり、重いものは持たないように医師より指示が出ていたが、右側麻痺のある利用者（体重70kg程）を職員2名でベッドへ移乗させた。直後は特に痛みはなかったが、徐々にしびれて痛みが発生した。	23	300 ～ 499
4	14～ 15	当施設内トイレに入っている入居者及び、廊下、ホールにいる入居者を見守っていたときに、危険行為に及ぶ方を発見し、安全を確保しようと動き出した際、パチッと音が聞こえ左下腿に痛みが走り左脚に力が入らなくなり、床に転がってし	54	50～ 99

		まった。		
4	5～6	利用者を起床のためベッドから車椅子に移乗する際利用者の両脇に手をかけた。その際、利用者の体重を支えようとして足を踏んばった時に左足の踵に痛みが走った。時間が経つにつれ痛みが増し、左アキレス腱損傷の診断を受ける。	24	100 ～ 299
4	11～ 12	利用者様宅に於いて訪問入浴作業時利用者様がトイレにおられ自力では入浴部屋へ移動が不可能な為私が抱えるような体勢で移動しようとしたところ私自身の体勢を整えられていないまま無理矢理移動し、腰に痛みを感じた。	24	10～ 29
4	10～ 11	当所利用者用浴室内の脱衣場にて、利用者の入浴準備のため利用者を車椅子から寝たきり利用者用の浴槽のストレッチャーに、もう1名の介護職員と一緒に移乗させようと、利用者の足元を持ち上げながら中腰で体を反転させたところ負傷した。	31	50～ 99
4	17～ 18	訪問先でPトイレへの車イスからの2人介助中、相手のヘルパーが支えてる腕から、利用者がずれ、下へ落ちそうになり（足底が床についてはいけない）危ないと思い、とっさに脇下の手を入れたまま、親指たての型で支えていて、背中や腰にピリッと痛みが走った。帰り道に右足が上がりずつまずいて座り込み、立ち上がる事ができなくなり、背中中の激痛と足のしびれが生じた。	51	50～ 99
4	15～ 16	特別養護老人ホーム身障者トイレにて、両下肢が不自由な入所者のトイレ介助中、入所者を立たせるために抱え上げようとしたところ、途中で入所者が介助用手すりをつかみ負荷が増したため、腰を痛めた。	36	100 ～ 299
4	10～ 11	ご入居者様からのコール対応にて、背中に薬を塗布するために起き上がりを介助し、再び臥床介助を行う。寝ている位置が悪かった為、枕側（上方）に移動させようとマルチグローブを使用し、ご本人の肩・腰に手を入れ、上方に移動したところグキッと腰に痛みが走った。その日の勤務は市販の痛み止めを服用し終了したが、翌日に痛みが強くなった。	52	50～ 99
4	17～ 18	2Fエレベーター前にて、帰宅願望の強い入居者様に付き添っていた際、入居者様がエレベーターを蹴る等して興奮され車いすからずり落ちそうになり危険であったため、静止しようとしたところ、強い力で手首や肘を両手でつかまれた。別の職員2人も応援に来たが、振りほどかれず、しばらく肘をつかまれていた。帰宅	24	50～ 99

		後、夜間に腕に強い痛みを感じた。		
4	11～ 12	デイサービスにて、水圧ベッドで横になっているご利用者様を起こそうと、先輩社員の指示を受けながら、首と腰の下に手を入れて起こそうとしたがうまくできず、その後何度か挑戦したが起こすことができなかった。介助中に痛みは感じていたが、後日に肩があがりにくくなった。	22	10～ 29
4	17～ 18	勤務時間が終了し、着替えて階段を1階に下りている時、中央の踊り場上、2、3段から踏み外して踊り場でつま先から捻り、踝に骨にひびが入ってしまった。	44	30～ 49
4	8～9	5階フロアの入居者の居室（個室）にて、職員2名で布団に寝ていた入居者を車椅子に移乗介助を行おうと、まず入居者を長座位に座らせて、男性職員が入居者の前から抱え受傷者が入居者のうしろから、押し上げる動作を行っているとき、受傷者の踏ん張っている左足がちょうど布団の下のマットのヘリの位置にあったため、左足が滑って足首をひねり、左足首を骨折した。	47	100 ～ 299
4	15～ 16	特別養護老人ホームの脱衣場で、利用者を特浴台からベットへ移乗しようとかかえたところ、右太ももの裏側に痛みがはしり、一瞬立てなくなった。痛みが治まらないので座ってできる業務を行っていたが、痛みがひかなかった。	55	30～ 49
4	9～ 10	デイサービスの送迎中に、車から降りた際に一人で足をひねり骨折した。	29	50～ 99
4	5～6	夜勤勤務中入居者様を車イスに移乗させる動作をしている最中に、急激に腰に痛みが発生し、そのあと業務ができなくなった。	51	100 ～ 299
4	13～ 14	入居者様の歩行介助中、トイレまで手引きで歩行介助をしていたところ、入居者様の足の出が悪く、後ろに倒れそうになり、ひざ折れがあったため、ぐっとかかえた際に右手首を捻った。	45	100 ～ 299
4	18～ 19	入居者のベッドの上でずれた体をベッド上に上げる補正をしていた時に、前屈姿勢で前かがみの姿勢をとっていたため肋骨を骨折した。	55	50～ 99
4	7～8	施設居室内でベッドから車イスへの移乗介助中、腰をひねった際にグキッという音と共にするどい痛みを感じ、車イスの前にくずれ落ちた。	76	100 ～

				299
4	17～ 18	利用者居室で離床動作介助中、上半身を起こすため背中に手を添えた状態で、起きる事を拒否されて不意にベッドの方へ倒れる様に力を入れられた時、左腰にギクッと痛みを感じ歩行できなくなった。	52	50～ 99
4	6～7	女性居室において利用者が排せつ失敗のため自室床に座っており、病弱で足も不自由なため車椅子を使用していた。この時は特に力が入らない様で自力での立位保持歩行は困難だった。利用者を後ろから抱き起こしてベッドを移動しようと力を入れた時、腰に激痛を感じ立てなくなった。	55	50～ 99
4	5～6	1階トイレにて利用者をトイレ介助中、利用者を立位させ車椅子に移動させる際、自身のバランスが崩れて直立姿勢を保とうと力を入れた際、痛みがはしり、日を重ねるごとに増してきた。	75	100 ～ 299
4	16～ 17	保育園の3階から1階へ園児を探しながら、降りている途中で左足を捻った。痛いと感じたが、園児をみつけてまた3階へ戻り授業（音体）をしていたときにズキンと痛みがあり、だんだん痛みが増した。その後、足を引き摺るようになり、触ると腫れていた。	42	30～ 49
4	6～7	ショートステイの利用者居室で、起床介助し、食堂へ移動するため、ベッドから車イスへ移乗中に、利用者は右足にマヒがあるが以前は左足で自分を支えられていたので移動・移乗もしやすかったが、機能低下した為介助者の移動・移乗がしづらく、全介助にて行うようになった状況で利用者を持ち上げて、車イスに移乗する途中に腰からグシャというような音になった。利用者を車イスに座って頂いた後、痛みが強くなった。	62	100 ～ 299
4	10～ 11	入居者様のオムツ交換時、排便があった為、ベッドをジャッキアップ（腰の位置まで）し、陰部臀部洗浄中に突然右側腰に激痛が生じた。そのまま動けなくなったが、オムツ交換を続けようとするも痛みが強く、座り込み動けなくなった。	43	30～ 49
4	14～ 15	入所者の居室ベッドサイドで、入所者体調不良で点滴中に自己抜針し、再ルートキープ作業を行うことになった。全介助の入所者がベット中央で臥床し傾眠中のため、前傾姿勢の中腰で右手に留置針を持ち、左手で入所者の左下腿を押さえて、10分程経過して作業を終え立位を取った際に腰部に激痛が起こった。痛みは	53	50～ 99

		あったが、当日は最後まで勤務した。		
4	11～ 12	当介護施設内で、被災者は介護施設利用者の入浴介助作業を行っていた。入浴を終え、利用者を立たせ、椅子に両手をついた姿勢で、ズボンははかせていた際、利用者の脇で前かがみの姿勢で作業を行っていた。利用者（男性身長170cm×体重58.6kg）がバランスを崩し倒れそうになったので、とっさに立ち上がり両脇を抱え踏ん張ったときに肋骨を負傷した。	46	50～ 99
4	14～ 15	入所利用者居室にて、被災者は利用者を車椅子からベットに移動させようと、利用者の両脇に腕を入れて抱え、ベットへ移動させた時に右臀部に痛みを感じた。当日は痛みを我慢して勤務したが、翌日に右足のふくらはぎとつま先に痺れと痛みがあり、ヘルニアと診断された。	32	50～ 99
4	1～2	3病棟にて、朝のミルクの準備中にイリゲーターを提げる台車のねじが緩み、上から下へ提げる箇所が落ちた。その衝撃でイリゲーターが床へ落ち、中身がこぼれて床がびしょ濡れになったため、床を掃除しようとした際に足を滑らせて転倒しそうになった。踏ん張ろうと横にある流し台を掴んだが、バランスを崩し右足を捻り、徐々に痛みが増し歩行困難になった。	40	100 ～ 299
4	9～ 10	当社施設内において、入所者をカーペットの上から肘付きの椅子に座らせようとして、前方より抱きかかえるようにして持ち上げたとき、腰部を負傷した。	66	10～ 29
4	11～ 12	園内の教室前廊下にて、子供を抱えて移動させようとしたところ、足元のわずかな段差につまずき子供を抱えたまま足首を捻ってしまった。	26	30～ 49
4	8～9	要介護者の利用者宅で利用者をベットから車イスへ移動する際、バランスを崩して左足膝関節を痛めた。	50	10～ 29
5	9～ 10	1階リビングにて、利用者の口腔ケアを行うため、利用者（介護度4、160cm、50kg位）をリビングから洗面台に移動する際いすから車椅子へ移乗させたところ、利用者がまったく立位を保てず、全体重を抱えたため、強く腰を捻る格好になった。日によって利用者の立位状況も変わる為、抱えた時に無理なようであれば、すぐに声を掛けて2名介助に切り替えるように指導した。	24	30～ 49
	11～	園児を引率中の遠足で、児童公園内にて、園児を追いかけて小さな山を登ってい		100

5	12	る途中にパンと言う衝撃があり、そのまま歩けなくなった。	56	～ 299
5	9～ 10	介護施設内浴室において、利用者様の入浴介助をする際、しばらくの間同じ前傾の姿勢で利用者様の手指の洗浄を行っていたところ、腰部を負傷した。	42	50～ 99
5	12～ 13	利用者個室で体勢移乗の作業中、ベッドに片足を上げた状態で利用者の方の頸部と腰部に手を入れて枕元まで引き上げようとした際、腰部に激痛が生じて床に座り込み、立ち上がりや歩行が困難になった。	18	50～ 99
5	10～ 11	勤務場所の居室にて、入居されている方をベッドから車椅子へ移乗する際、腰の右側に鈍い痛みを感じたが、そのままの状態ではバルーンを車椅子のカゴに入れようと中腰の姿勢で持ち上げたため激痛が走り、動くことが出来なくなり、腰椎捻挫を負った。	38	50～ 99
5	15～ 16	利用者居室にて、本人が右側臥位で静養中だった為、パット交換と体位変換、離床介助をしようと利用者の背中側に立った。自身の腰の高さにベッドを調整し、立ち位置を確認してからサイドレールを外した。パット交換の為、利用者の腰に手を掛け、手前に引こうとつま先立ちになって足が伸びた際に、下腿三頭筋付近からブチッと音がして激痛が走った。	41	30～ 49
5	12～ 13	車椅子から利用者を移乗する時に持ち上げた際、腰を痛めた。	27	50～ 99
5	19～ 20	居室内において、入居者を車イスからベッドへ移乗介助中、入居者が被災者の首につかまった際に腰に急激に痛みが走った。	48	50～ 99
5	16～ 17	壊れたカラーボックスの天板を重ねて、左手で天板を押さえ、前もって必要な長さに切ってガムテープを右手で天板の右側面に貼ろうとしたが、ガムテープが右手にからまったので右手人差し指ではずそうとしたところ激痛が走り、右人差し指が伸びなくなった。	58	1～9
5	0～1	当施設特別養護老人ホームの居室において、被災者ともう一人の介護士の二人で利用者（女性：身長148cm、体重52kg）をベッドから車椅子に移動させる際に中腰になったところ、腰に激痛が生じ動けなくなった。	34	50～ 99

5	17～ 18	利用者の居室にて、ベッドに横になっている利用者を起き上がらせようとした際に、利用者が手を被災者の首に回し、体重をかけられてしまい被災した。	44	30～ 49
5	11～ 12	トナーカートリッジ組立工程で、製品（トナーカートリッジ本体）に小部品を治具（ハンドプレス）で圧入する作業中に、製品と小部品を治具にセットし、右手で製品を支え、左手でハンドプレスのレバーを引くと、製品の上の面を治具が下方に加圧して小部品が圧入される。その際、誤って治具にセットした製品の上の面を右手で支えてしまった為、左手でレバーを引いた時、治具と製品の間に右手人差し指を挟んだ。	25	50～ 99
5	12～ 13	グループホームの居室において、利用者様の入浴準備の為着替えの入った脱衣カゴを4つ（総重量6kg位）重ねて持った際、腰に痛みが走りギックリ腰となった。防止対策として、ミーティング時に重量物など持ち上げたり移動する際は、十分注意して取り扱うよう連絡した。	27	10～ 29
5	11～ 12	利用者様の起床時のベッドから車椅子に移乗した際にいつもより重いような違和感を左背部に感じ、入浴介助中に激痛が走った。	46	50～ 99
5	19～ 20	施設利用者の居室にて、終身介助の為、利用者を車椅子から床に移乗する際、腰を痛めてしまい、施設移動中に痛みが悪化した。	44	50～ 99
5	10～ 11	施設内廊下の曲がり角付近において、施設利用者の入浴準備のため急ぎ足で歩いていたところ、角を曲がったところで左足ふくらはぎに痛みが走り動けなくなった。	40	50～ 99
5	12～ 13	入居者様を車椅子からベッドへ移乗する際に負傷した。片麻痺がある体格の大きい入居者様だったので、気を付けながら移乗していたが、無意識に右側に力が入っていたようで負傷してしまった。	36	—
5	10～ 11	散歩で公園に行き水遊び場で園児を抱っこした際に、足音が見えにくい状態で、足を滑らせ左足首をひねった。	29	10～ 29
5	10～ 11	保育所の園庭で、1～2才児の子供達を向かい合って中腰で遊ばせている時、後ろからふいに飛びつかれて腰に痛みが走った。その場を動かずにいると少し落ち着いたが、しばらくして動き出すとまた腰に痛みが走った。	26	10～ 29

5	9～ 10	施設内3階5トイレにおいて、利用者排泄介助中、利用者が便座から立ち上った状態で、パットを当てズボンを上げる介助動作で腰部に必要以上に無理な力が加わり、急性腰痛症となった。	28	50～ 99
5	14～ 15	事業場入居者居室内ベッドサイドにおいて、ベッドから車椅子へ移乗介護を行うため、入居者を抱えて立ち上がった際に腰がバキッと鳴り、激しい痛みが走った。	44	50～ 99
5	11～ 12	仕事場（マンション1F部分およびその周囲）の裏の外水道で粘土ベラ等を洗って終了後、玄関前に出ようとしたら、マンションの外階段の脇に自転車が停めてあって、前輪の向きを少し変えようとしたところ自転車が傾き、慌てて両手で止めようとしたがモーターサイクルのため重量があり、腕に負荷がかかる。	72	10～ 29
5	9～ 10	訪問入浴介護サービスにて、お客様を浴槽からベッドへ戻すために抱えた際、腰部に痛みが生じ、痛みが悪化していった。	24	30～ 49
5	7～8	介護施設にて業務中、ご入居様の起床介助の際に腰を痛めた。施設内居室において、男性で介護度5・体重90kg位で水頭症ありのご入居様を2人介助で別スタッフが下半身を抱え、当該スタッフが上半身を抱えベッドからリクライニングに移乗中に腰に激痛が走った。	51	10～ 29
5	15～ 16	利用者の居室にて、利用者を車椅子からベッドへ移乗している際、ベッドに寝かせる作業で膝固定をしていたが、上手く自身の膝が外れずに利用者の体重がのしかかってしまい、肋骨の辺りに痛み、違和感を感じた。当日には痛みは強くなかったが、翌日に痛みが増し、骨折となった。	56	100 ～ 299
5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	50～ 99
5	6～7	居室内で入居様をベッドから卓椅子へ移動しようと介助をした際、入居様を抱えた時に膝に痛みを感じた。	38	50～ 99
5	14～ 15	厨房内で生ゴミ用バケツを運ぼうと持ち上げたところ、腰に電気が走り動けなくなってしまった。痛み止めを飲んで働いていたが、しびれが出て来た。	52	100 ～

				299
5	15～ 16	当施設の居室でおむつ交換後、おやつを差し上げる為に離床、車椅子への移乗を行っていた時、左ももの付け根の辺りを痛めた。介助する入居者様は、特に体格の大きい方ではないが、ご自身の脇や足に力が入ってしまい、体をつっ張ってしまう方である。ベッドの端に腰掛けて頂き、脇から手を入れ体を持ち上げた時に、入居者様が体を後方に反り返してしまい、それを支えようとして無理な姿勢になってしまった。その時に、左ももの付け根と膝に痛みを感じたが当日はそのまま、最後まで勤務した。	26	50～ 99
5	9～ 10	デイサービスご利用者様を迎えに行き、利用者の自宅で、ベッド上に寝ているところを後頭部と両膝の下を支えた状態で、利用者をベッド端に腰を掛けさせようと介助した際に、以前から痛みがあった右膝に強い痛みがあった。	54	50～ 99
5	11～ 12	リフト浴室にて、利用者を抱えて立たせる介助をした際、腰に痛みが走った。その後、座って事務仕事をしていたところ右臀部から足にかけて強い痛みが出現し、治まらなくなり、座っていることも歩くことも苦痛となった。	42	50～ 99
5	8～9	利用者がベッド下で動けない状態にいるところを利用者に柵を持ってもらい立ち上がらせようと後方から支え上げようとしたが、過度に腰に負荷がかかってしまい骨折した。	73	10～ 29
5	2～3	利用者居室で、ベッドからポータブルトイレに移乗させる際に腰を捻挫してしまい、痛みがでた。	37	50～ 99
5	15～ 16	放課後等デイサービスの室内で障害児の支援中、一人の児童が急に走り出したため、他児童に危害が及ばないように後を追っている最中に左膝をひねった。	55	10～ 29
5	15～ 16	フロア内で、利用者をソファから車椅子に移乗させようと抱きかかえた時に、ゴキッと音が鳴り動けなくなった。	56	30～ 49
5	11～ 12	利用者様をベッドから車椅子への移乗介助の際、ベッドに横たわる利用者様の下にバスタオルを敷き、別の職員が頭側から、自分は足元側から二人でバスタオルを持ち上げて、移乗するために屈んだ際に腰を痛めた。	42	100 ～ 299
				100

5	7～8	勤務中、利用者居室へ急いで向う途中、通路で躓いて右足を捻った。	18	～ 299
5	10～ 11	脱衣場において車椅子の利用者の入浴後の介助を行っていた時、利用者の右足の装具を装着するため利用者の足元にしゃがんで太ももの辺りに利用者の右足をのせて装具を装着して、立ち上がった時に腰の左側付近に激痛が走った。	45	30～ 49
5	9～ 10	利用者の居室で軟膏を塗布しようとした際に、利用者が認知症のためか興奮し、払いのけた手が顔に当たりよろめいた。しばらくして左肩から首にかけて連続的に痛みが起こるようになり、激痛を伴うようになり、首が左右に動かせなくなり、左上肢神経痛および頸椎捻挫だと分かった。	59	100 ～ 299
5	14～ 15	支援施設内、午後の活動後お茶を飲んだ後、男性の利用者が不安定になった気持ちを抑えきれず、机と椅子を持ち上げパニックに至る。職員2人で制止に入り、パニックになって暴れている利用者を床に押さえて、状態が落ち着くのを待つ。その際、被災者は利用者の上半身に馬乗り姿勢であり、何度もぶり返したためしばらくその状態が続いた。当初は大きな痛みを感じなかったが、その後、腰痛が発症し、痛みで立てなくなる。	39	10～ 29
5	16～ 17	保育園内の階段で、ゴミを収集した袋を持って降りている時に最下段を見落として、足を挫いた。	53	30～ 49
5	8～9	特別養護老人ホームで入居者の離床介助中、ベッドからベッド横にある車椅子に移乗しようと入居者の身体を起こす途中、ぎっくり腰のような状態になり動けなくなった。	45	50～ 99
5	8～9	利用者宅で、手動車椅子から電動車椅子に移乗するため利用者を抱きかかえた時、突然左ふくらはぎに激痛がはしり、立つことができなくなった。	40	100 ～ 299
5	13～ 14	利用者宅で車椅子からトイレへ移乗する際、利用者の下肢に力が入らず、正座するような体位になる。再度車椅子に移乗する際、利用者を抱き上げ腰に痛みが走る。数ヶ月経っても痛みが治まらず、第3腰椎圧迫骨折となった。	67	10～ 29
5	7～8	4階食堂にて、入居者を椅子にしっかり座らせようと抱えた際、腰に違和感を覚	72	10～

		え、次第に立てなくなった（圧迫骨折）。		29
5	15～ 16	訪問介護中、利用者より買い物を依頼されバイクで買い物に行く途中、当日は雨天で路上が滑りやすくなっており、一旦停止の所で一旦停止の字の上でスリップして転倒した。	56	10～ 29
5	14～ 15	2階廊下にて、M氏のトイレ介助後、手すりを持って移動中（左手は被災者が持ち）、T氏が歩行器で来られ、すれ違い様にM氏がバランスを崩され、転ばないよう身体で受け止めた際に、被災者の左足がM氏の下敷きになり、左足に痛みを感じ、骨折した。	62	50～ 99
5	17～ 18	デイサービス利用者をデイサービスからご自宅へ送迎する際、ご自宅の玄関まで階段を上がるのに職員3名で急な階段を利用者の両脇をかかえて登り、（一名は足を上げる係）最後の階段で左脇を捻った。	65	100 ～ 299
5	11～ 12	入所者の居室で、昼食時の部屋移動の為にベッドから車椅子へと移乗介助を行っている時に、腰に激しい痛みを感じた。家で安静にしていたが痛みが治まらなかった。	39	100 ～ 299
5	17～ 18	救護施設に勤務する当該職員は、施設内静養室において、脳出血のため意識の無い利用者を職員2名体制で車椅子からベッドへ移乗していた。その際、利用者の頭部側で支援していた被災者が利用者の両脇を抱えきれず、自身の腕と脚が伸びた状態のまま、腰に負担が掛かり座り込む格好となり負傷した。	40	50～ 99
5	10～ 11	1階ホールにて、床に転んでいる利用者を車椅子に移乗しようとした際、体勢が悪く腰に痛みがはしった。（床に座った状態から抱え上げた段階で発症した。）	52	10～ 29
5	8～9	通所介護利用者（寝たきり）宅へ迎えに行き、玄関前で車イスから送迎車助手席（リフトアップ）に2人介助で移乗した。被災労働者は、利用者の上半身を後方から前屈みの姿勢で抱え、もう一人の職員は利用者の正面から下半身を抱え、息を合わせて抱え上げ、そのまま約50cm横方向に移動しながら助手席に利用者を下ろした。被災労働者は、利用者を抱え上げた時の負荷と、横移動後の着席の際の腰部を捻る動作等により、腰部に強い痛みを生じた。	21	10～ 29
		就労場所である施設内にて、通所介助の利用者を介護中、椅子に座っていた利用		

5	16～ 17	者をトイレに連れて行くため、利用者の前側から両手を持って立たせた際に、自分の腰に重みが掛かり違和感が残った。その後も介助中に腰を捻ったりすると痛みを感じたが、当日は最後まで仕事をした。安静にしていると痛みは軽減したが、後日にトイレに行ったとき痛みが強くなった。	44	30～ 49
5	10～ 11	施設内ホールにて利用者の車椅子への移乗介助を行っている時に、利用者が予想外の行動をとった為、思った以上に荷重が掛かり、腰を痛めた。	30	30～ 49
5	15～ 16	ホーム内1F特殊浴浴場にて寝台車椅子から特殊浴寝台ベッドへ寝たきりの入居者（女性）を移乗する際、左手首に強い痛みを感じ、その後左手が痛みにより、使えなくなった。	39	50～ 99
5	14～ 15	職場の利用者の行事でパン屋へ引率して行き、休憩した後、他の職場に移動するため利用者に声掛けしていた。その時、地面に座り込んでいた男性（100kg弱）を起こして立たせる時、転倒しそうになったのを1人で支えてしまい、男性の全体重を受けて、腰を痛めた。	51	50～ 99
5	12～ 13	当事業所グループホーム施設2階トイレに於いて、入居者をトイレ誘導し、お尻を陰部洗浄しようとした際、便器に深く座り過ぎ、作業を行うのが難しかったので、前に出してもらうよう声掛けを行ったが理解されなかったため、その状態のまま陰洗を行おうと腰からお尻に手を伸ばした時、胸部に痛みを感じた。その後も痛みが続き、しばらくして左肋骨骨折と診断された。	64	10～ 29
5	7～8	早出出勤の時、ご利用様を朝食へお連れするため、ベッドから車椅子へ移乗介助していたところ、ご利用様が車椅子へ腰を下ろした際に足を伸ばして座ったため、滑り落ちるのを防ごうと足を下げて前屈みで支えた時に腰に負担がかかり、痛みがはしった。その日は痛みを我慢して仕事を続けたが、翌日も痛みがひどかった。	49	10～ 29
5	18～ 19	トイレにて利用者のトイレ介助を行っている際に、立ち上がらせようとして身体を持ち上げた時に腰に強い痛みを感じた。	29	100 ～ 299
		デイケアフロア内の浴室にある浴槽から上られる入浴者の介助に入った際、ご利用様の足がなかなか立たずふらつかれたため、階段上から無理な体勢で慌て		

5	14～ 15	て階段を下りながら湯船の中のご利用者様を支えた際、左膝を捻り、更に捻じる状態で支え続けたため左膝を痛めた。そのとき右手中指にも引っ掛かりを感じ、左膝の腫れや痛みが強くなった。	42	30～ 49
5	11～ 12	当園保育室内において、昼食準備のため食器を置いた状態の園児用のテーブル（直径約80cm、重さ約8kg）を食器を落とさないように両手で持ち上げようとしたところ、無理な体勢でテーブルを持ち上げた為、腰に激痛が走り、急性腰痛症になった。	43	10～ 29
5	9～ 10	施設内の大浴場において利用者の入浴介助中、普通に歩行可能な利用者（認知症有）の右横に付添い（両脇を支えながら）、利用者は、両側にある手摺りの左側を両手で握って、浴槽から上っている途中に階段を踏み外し、手を離れた利用者が転倒した。被災者は、利用者の頭部をかばって（頭を打たないように）、自身の腰部を右側に捻るように座り込み、腰部の痛みが出現した。	65	10～ 29
5	10～ 11	被災者は訪問介護ヘルパーであり、担当している訪問介護利用者が入院するため、自宅マンション3階から階下に下りる際に一緒に利用者の手荷物を両手に持って階段を下りていたところ、3階から2階に下りる途中で急に左足膝の裏が痛みだし、自力で歩行が出来なくなり、左側側副靭帯を損傷した。	54	100～ 299
5	16～ 17	中庭にあるシーソーの真ん中辺りに腰掛け、砂場などで遊んでいる児童達を見守っていた時に、女子児童2名がシーソーにやってきて、シーソーの上で跳びはねたり遊びして飛び下りた際に、その反動で本人の体が飛び上がってそのままシーソーに落ちた。これが2、3回繰り返され、腰と首に衝撃が走り、当日はそのまま業務に就いたが、痛みが残った。	57	10～ 29
5	10～ 11	グループホーム浴室内で入浴介助中、利用者左シャワーチェアーから車椅子へ乗介助中に左膝を捻った。	43	100～ 299
5	11～ 12	入浴介助時にリフト浴移動を行おうと足を突っ張った際にピキッと音が鳴り、右足首付近を痛める。	25	50～ 99
		浴室洗い場から、浴槽への入り口にかけて片麻痺の男性利用者様（身長150cm		

5	10～ 11	台、体重約60kg) をシャワーチェアに座ったままの状態、椅子の左前脚と左後脚を両手で持ち前に引きずり、次に右前脚と右後脚を両手で持ち前に引きずることを交互に行い、浴槽ふちまで30～40cm程移動させ、両足を浴槽ふちに上げた状態にする。そのあと男性に左側にある手すりを左手で掴んでもらい、被災者は右側から男性の腰と太ももに手を掛け、椅子から体を持ち上げる形で浴槽内へ移動させ介助を行った。利用者様が介助経験が浅く緊張があったことと、体重もあったため浴槽チェアからお尻を持ち上げることができず、腰に無理な負担がかかり、強い痛みを感じた。	40	1～9
5	6～7	入居者（女性158cm・100kg）をベッドから車椅子に移乗する際、入居者がベッドから床に立ち、介護職員の肩に両腕を掛け、介護職員は入居者に向きを変えて座らせようとした時に急に腰が痛くなり、座らせた後に痺れが来る。終業時刻まで仕事を続け、帰宅後に仮眠をとり、目を覚ましたら痺れが強くて動けなかった。	53	10～ 29
5	16～ 17	体育館にて、保育園交流ミニバレー大会にて、職場チームとして出場した。その試合中、相手方チームからのボールを受けようとした瞬間、誤って後方に転倒した際に左手を床につき、左手首を負傷した。	50	10～ 29
6	10～ 11	特別養護老人ホーム内において、入所者を車イスからベッドへ移動させようとして1人で抱えたところ、支えきれず、腰部から「ボキッ」と音がした。安静にして30分間程様子をみていたが、益々痛みが強くなってきたことから夫に連絡し、夫の運転する車に同乗し、病院の整形外科を受診した。当日は日曜日のため、当直医しかおらず、レントゲンの検査もできなかったことから、ぎっくり腰との診断を受け、痛み止めと胃を保護する薬が処方され帰宅した。翌日、町内の整形外科を受診し、圧迫骨折と診断された。	50	30～ 49
6	9～ 10	デイサービス玄関前にて、後部荷物台より車椅子を下ろそうと車椅子を持ち上げた時、力がかかり左肩に痛みが出た。	60	500 ～ 999
6	11～ 12	幼稚園の運動会への幼児引率にて参加する。親子競技の騎馬戦に出場するも児童をおんぶしての競技であり、その際、他父兄と接触しそうになったのをかわした際にめまいがして、力が抜け、尻もちをついた。	55	10～ 29

6	10～ 11	居室内にて、入居者の排泄介助の際、ベッドに横になった入居者を左側臥位から仰臥位に体の向きを変えるために手を伸ばした時、腰に激痛がはしった。腰に痛みはあったが、その日は業務を続行した。その後も腰痛ベルトを着用し業務をしていたが、痛みが悪化した。	42	50～ 99
6	16～ 17	帰りの送迎の時に、施設の駐車場で利用者を車椅子から車に移乗した際に、腰と右手首に痛みがあり、腰が伸ばせなくなった。	39	50～ 99
6	16～ 17	施設内において利用者をベッドから車椅子に移乗時、車椅子にいつもあるクッションがないことに気がつき、再度ベッドへ移乗した。その際、「ギクッ」と音がして、腰をひねり、痛みを感じた。	61	10～ 29
6	10～ 11	法人主催の施設対抗ビニールバレーボール大会に参加している際、試合中にボールを拾おうとしたところ、右足を強く床につき、強い痛みが生じた。その際、右足を床につくことが困難な状態となったため、一時安静にし整形外科医院にて診察を受けた。その後、状態があまり思わしくないことから、自宅近くの整骨院にて治療を受けるに至った。	55	100 ～ 299
6	12～ 13	介護老人施設内居室において、体重の重い利用者を二人介助でベッドからリクライニング車椅子に移動させる際、強い負荷が加わったためと思われるが、背骨と腰に激痛があった。尚、移動させる時は、バスタオルを下に敷いて、バスタオルごと移動させる。	52	300 ～ 499
6	14～ 15	中庭内で段差のある所へ入居者に座っていただき、花の鑑賞をしていた。花の鑑賞を終えて立ち上がる際、入居者の前にプランターが置かれていた為、正面側からでなく横から支えて立たせようと、入居者の腰に右手を当て、左手で入居者の手をとろうとしたが、急に腕を掴まれバランスを崩し、腰部に痛みが出現した。	54	30～ 49
6	8～9	利用者様のオムツ交換中、体位交換を行った際に、自身の腰を捻り左側腰部周辺を痛めた。腰を捻った際、腰部周辺に電気がはしった様な激痛がはしり、その後も継続し、走行困難となった。	46	30～ 49
6	10～ 11	デイサービス施設ホール内にて、利用者様が座っている椅子の向きを変えようと、もう一人の介護職員と二人で椅子を持ち上げ動かした際、左腰部と左足付け根に痛みが発生した。	48	30～ 49

6	11～ 12	入浴を終了した車椅子の利用者様の着替えをしていた時、左膝をついて手伝いをしていたが、上着の背中の方を直そうと、右ひざに力を入れて斜め前の方向に立ち上がろうと中腰の姿勢になった時、腰がギクギクギクとなり立てなくなってしまった。	54	30～ 49
6	18～ 19	入居者様を車椅子からベッドへ移乗後に、車椅子を移動しようとしたところ、入居者様の足に自分の足が引っ掛かり、バランスを崩した。体勢を整えようとして着地したが、左足を捻った。	38	100 ～ 299
6	16～ 17	夕食のため利用者をベッドから車椅子に移乗介助した。ADLはほぼ全介助の利用者で、両脇を抱きかかえて介助した。車椅子はベッドのすぐ近くに置き、抱き上げて1m位移動する間で激しい痛みが発生した。当日は夜勤であり、痛みは消失していなかったが、歩行は何とかできる状態であったため、夜勤業務を続けた。夜勤明け後、1日休んでも痛みが改善しなかった。	45	10～ 29
6	15～ 16	園内でビーチボールを使って子供と遊んでいたところ、ボールがフェンスの外に出て道路に落ちたので、ボールを取りに行くため、フェンスの外に出て、高さ156cmの擁壁から飛び降りたところ、ボールの上に着地して、バランスを崩し、左足首を骨折した。	58	1～9
6	14～ 15	当社老人介護施設において、入居者を入浴させる業務を行っていたが、入浴を終えて浴室から出し、着衣を着せようと両手で抱えて椅子に座らせようとした際、後腰に激しい痛みを感じギックリ腰になった。	52	10～ 29
6	15～ 16	デイサービス利用者様を自宅まで送り、居室まで歩行介助していた。居室へ入り、ベッド脇まで行った時、利用者様がバランスを崩し転倒しそうになる。介助者が抱きかかえて転倒は免れたが、利用者様の全体重が介助者にかかってしまう。体勢を立て直そうと利用者様の体を引き上げた際、介助者の体に負担がかかり、腰部に激痛が発生した。	46	10～ 29
6	10～ 11	利用者宅において、利用者の車椅子を押してトイレに入り、利用者を使座に移乗しようとして、利用者の腰を支えた時、腰に痛みがはしり、負傷したものである。	64	10～ 29

6	14～ 15	当社において、本人が入居者様の体位変換（ベッド上）の作業の際、しゃがもうとした時に右膝を痛めた。	34	10～ 29
6	14～ 15	首下麻痺の利用者様がベッドで静養していて、車椅子の方へ移乗しようとして身体をトランスしたところ、腰部に痛みを感じた。	50	30～ 49
6	7～8	5歳児の保育室で、子ども用の椅子に座り、4人の園児を保育していた。後方から男児がおぶさろうと首に手を回してきたので、そのままの体勢で立ち上がった。2、3歩移動したところで、もう一度おぶさっている男児の体勢を整えようと、両膝を曲げてから伸ばそうとし、一歩右足で踏み出そうとしたところ、左脛脛が「ブチッ」という鈍い音とともに痛み出した。その際、左足に体重がかかっていたため、左足首も捻ってしまった。	58	50～ 99
6	11～ 12	利用者宅浴室で入浴介助中、中腰で作業をしていた際、次の動作をしようとしたところ、腰に激痛がはしった。	43	10～ 29
6	21～ 22	利用者宅へ訪問し、退去の際に家屋のシャッターを左手で下ろしたところ、肩に痛みがあった。翌日、痛みがそのままあり、腕も上がらなかったため病院に行った。	66	10～ 29
6	19～ 20	ご入居者の居室内にて、2人介助で布団から車椅子へ移乗介助中、靴も履いておらず、足元の体勢も保てず、滑りやすい状況であったために、腰を捻って痛めた。その後、休業せずに就業していたが、後日休業が発生することとなった。	30	30～ 49
6	7～8	当施設内地下駐車場入口において、斜面を下りる際、斜面の終わりかけ辺りで右足首を捻り、負傷した。	53	100 ～ 299
6	10～ 11	ホールにて、運動会の体操を3、4、5歳児が集まって行っていた。2回行ったところ、2回目途中の屈伸運動の際、腰を痛めてしゃがみこんでしまった。	29	30～ 49
6	10～ 11	身体介助の為、利用者を車椅子からベッドに持ち上げながら移乗途中に、痛みはなかったが急に腰に力が入らなくなった。その後、同利用者をベッドから車椅子に戻そうとした時、お尻辺りがしびれた様な感覚となり、まったく力が入らず、体が重たい感じになり、早退して内科を受診（脱力感が主だった為）するも、異	26	50～ 99

		常なしとの診断を受けた。帰宅後に腰の症状が悪化したため、翌日に整骨院を受診するも、「右足機能不全」と診断された。MRI検査を勧められ、別の医療機関を受診した結果、「腰椎椎間板症」と診断された。		
6	17～ 18	療養室のトイレ内で、車椅子使用の方の座位置変更をしようと足を踏んばった際に、膝に激痛がはしった。	61	50～ 99
6	13～ 14	保育園の保育室内で午睡の為、子供を寝かしつけている時に、隣の子をトントンしようとして移動しようと腰を上げたところ、腰に強い痛みがはしり、正常に歩いたり動く等の行動が出来なくなった。	35	10～ 29
6	9～ 10	入居者居室にて、トイレ介助作業後、入居者をベッドへ移乗させようとした際、急に腰の痛みで動けなくなった。同室内で勤務していた他のヘルパーに仕事を替わってもらい、病院で受診した。	30	30～ 49
6	13～ 14	勤務中に、児童と走り回り鬼ごっこをしていた時に、急に腰を痛めてしまった。	42	30～ 49
6	0～1	施設利用者を抱え上げようとした時、腰に強い痛みを感じたので、しばらく様子を見てから診療所で診察を受けたところ、腰骨を骨折していることが分かった。	74	10～ 29
6	16～ 17	利用者様のトイレ誘導中、トイレの中で介護士2人で介助中、利用者様の手が手すりを握っているのに気が付かず、移動をしようと抱きかかえた時に、強く腰を捻ってしまった。今後は、利用者様の全行動を確認してから行動するように気をつける。	41	50～ 99
6	13～ 14	入居者の居室にて、歯科診療を終えたご入居者を、歯科医師が誤嚥防止体操の指導を行うため、指示により、車椅子からベッドへ移乗介助を行った。入居者の両手を首に、両脇より腕を差し入れ、ベッドに端座させる際、左腰より左臀部に痛みが生じた。時間が経つにつれ痛みは増したが、翌日は休日であったため横になっていた。夜になって歩行困難となり、救急車にて病院へ搬送され、そのまま入院した。	53	10～ 29
		施設内は電気設備点検の為、全館停電中だった。その中、昼食の為、お客様をベッドより起こそうとしたが、ベットの高さを停電中で調整できず、ベッド高約		

6	12～ 13	30cmの最低床のまま車椅子への移乗を試みた。その際にお客様には、両腕を職員の身体に回してしがみつく様に掴まって頂いた。しかし、ベッドから車椅子へ移る際に、お客様の手が職員から離れ、ベッドのL字介助バーを掴んでしまった。その結果、お客様の身体が固定され、職員は腰が捻じれる形で介助した。その後、腰に違和感があったが業務にあたっていたが、後日業務中、前屈みになった際に腰が立たなくなり、動けなくなった。	36	50～ 99
6	22～ 23	認知症専門棟にて夜間勤務をしていた。個室の部屋において、部屋にはベッド、ベッド横にL字型の柵、ポータブルトイレ（夜間のみ）を設置してあった。利用者よりトイレとのナースコールがあった。利用者は掴まり立ち・つたい歩きは可能だが、臥席から座位、座位から立位姿勢をとるには介助が必要であった。臥床していた利用者を端座位姿勢にする為、職員の腕を利用者の背中の方へ回し、支えて上体を起こそうとしたが、バランスを崩し、前屈みになった際、腰に痛みを感じた。	48	50～ 99
6	12～ 13	1階のリビングにて入居者様を椅子から車椅子に移乗する際、足を肩幅より少し大きめに開き、腰を落とし立ち上がらせようとした際に、腰に激しい痛みがある。	27	10～ 29
6	13～ 14	被災当日、移乗介助中に腰がグキツとなる。数日後の就寝介助中に、腰に激痛がはしり、足の方まで痛くなり、膝がガクガクし、全身に震えが出る。その後も痛みが続き、起床介助中に腰が再びグキツとなり、鈍音と共に激痛がはった途端、膝が痛くて力が入らなくなり、病院に受診する。	19	100 ～ 299
6	16～ 17	トイレ介助の際、ご利用者様が転倒しそうになり、支えた時に右足を捻った。	34	30～ 49
6	10～ 11	戸外遊び中、園庭にあるままごと用の流し台の前で、子どもと一緒にしゃがんで遊んでいる時、追いかけてっこをしていた3歳男児が友だちに追われ、自分の胸元へ飛び込むように走ってきた。咄嗟に身構えて男児を受け止め、そのままの体勢で踏ん張ったところ、右足腿の付け根辺りに激しい痛みを感じ、その場から動けなくなってしまった。	35	30～ 49
		利用者様を移乗する時に利用者様が右手で当労働者の左腕の一部を強くつまんだ		

6	14～ 15	ため、痛みと不安定さを解消するため、つままれた手をずらした時、利用者様が当労働者に倒れてきたため、当労働者の右胸に利用者様の肩部分が当たった。	53	30～ 49
6	10～ 11	当施設の脱衣所において、入居者様の更衣介助中、入居者様の腕を袖に通す際、誤って被災労働者の腕を袖に差し入れた状態で動いた為、右肩を捻り被災したものである。	30	30～ 49
6	16～ 17	デイサービスの利用者を社用車（リフト車）から自宅まで送り、小走りでリフト車まで戻る途中で右膝に激しい痛みを感じ、歩けなくなった。	56	10～ 29
6	9～ 10	訪問入浴サービス利用者宅マンション入り口で、入浴物品を搬入しようとした際、バケツの中にシャワーホースや洗剤等を入れて両手で持って入り口廊下を移動しようとした際に、右側に何台もの自転車が停められている状態で、荷物を持っているため足元が見えづらく、自転車のスタンドに引っ掛かり前のめりになって、両手がふさがっていた為に右膝から倒れ、そこへ全体重がかかり負傷した。	59	10～ 29
6	13～ 14	施設の便所内で、介護利用者を便座から車椅子へ移乗の際、利用者に肩に手を回してもらい抱え上げ、補助者がパット、リハビリパンツ、下着、ズボンを上げる。その後、車椅子を旋回しようとした時、利用者が肩から手を離して自分の後方のL字バーを持った為、L字バーから手を離す様伝えたが、中々離さなかった為、転倒してはいけないと思い、便座に自分が利用者を抱きかかえるように座り、体勢を整える為に利用者に手を回して貰い、車椅子に移乗しようとした時、腰部に痛みを感じ、その際、バーに右肩を打ちつけた。	51	50～ 99
6	10～ 11	利用者宅に訪問して介護サービスをしていた際、利用者がトイレに行こうとして立ち上がろうとした時、よろめいて倒れそうになったので支えた。その際、利用者の体重がのしかかる状態で、左肩から左腕にかけた辺りを掴まれ、激しい痛みがはしった。	31	1～9
6	8～9	介護先にて、床に横たわっていた介護者を車椅子に移乗介助するため、介護者を先ずベットに移乗介助し、次に介護者を前から抱きかかえてベッドから車椅子に移乗介助している時に、「ポキッ」と音がして腰に痛みがはしり、第一腰椎圧迫	71	10～ 29

		骨折した。		
6	17～ 18	送迎中、利用者H氏の自宅マンションに到着した際、利用者H氏がだらんとしており、なかなか下車できず、やっと下車したところ全身に力が入っていない状態であったため、姿勢を立て直して自力で立って歩いてもらおうと利用者H氏の体を抱いて上へ持ち上げたところ、左肩を痛めた。	66	50～ 99
6	12～ 13	老人ホーム内入居者の部屋で、入居者をベッドから車椅子へ移動する時に手首を負傷した。その時、手首の辺りからブチッという音がして激痛がした。	48	100 ～ 299
6	8～9	朝食後、入居者を居室へ誘導した後、ナースコールに対応する為、部屋を出ようと咄嗟に左方向へ体の向きを変えた時、右足の膝折れが起きて激痛を覚えたが、1～2分じっとして、その後歩くことが出来たので、右膝をかばいながら何とか一日を過ごした。翌々日、朝から立つこともしゃがむことも激痛で困難になった。	56	50～ 99
6	16～ 17	訪問介護で利用者宅へ訪問し、デイサービスより帰宅された利用者（認知症がかなり進行していて、体重が重い）を椅子に座らせる際、普段はデイサービスの人も手伝ってくれるが、その日は手伝いがおらず、一人で椅子に寄せようとして、腰に予想以上の重みが掛かったことにより痛めた。	61	50～ 99
6	15～ 16	研修中に跳び箱の実習があり、横向きの跳び箱（3段）を飛び越える際に、跳び箱に着いた手が滑って左奥側へ転倒した。その時に左肘の関節を捻挫し、左腕全体の筋を痛めた。	27	10～ 29
6	20～ 21	職員ミーティング終了後、出口のスロープを降りる際に、膝からぶちっという音がした後、膝が動かなくなり、そのまま歩くことが出来なくなった。	47	100 ～ 299
6	12～ 13	利用者宅にて、トイレ介助で車椅子からポータブルトイレに移乗させていた際、バランスを崩してしまった。利用者の転倒を防ごうと無理な体勢をとってしまい、背中に痛みを感じた。数日はそのまま仕事を続けられたが、痛みが治まらず、胸椎圧迫骨折をしていた。	56	10～ 29

6	7～8	当施設2階東トイレにて、男性利用者にトイレへの声掛けをした際、ズボン・紙パンツが汚染されていたため、トイレ終了後に交換と更衣をするように声を掛けした際、急に立ち上がり右手拳で殴られそうになり、それを防御しようと両手で止めると、今度は左手で平手打ちされそうになったため、避けようとして後方へよろけたが、平手打ちをされた。その後、避けようとした私の左手親指を掴み（握り）反らされた。その後、膨れと痛みがあり、第一関節から指先が下に垂れたままになり、動かすと痛みがあった。	46	100 ～ 299
6	19～ 20	就業先の3階で勤務中、利用者を抱えて移乗する際に腰を痛めてしまった。激痛だったため、勤務終了後に整骨院に行った。翌日も痛みが強く、骨に異常は無いがぎっくり腰と診断された。	45	30～ 49
6	10～ 11	施設1階の特別浴室にて、椅子に座っている入居者を立たせようとした時に、腰痛になった。	20	50～ 99
6	13～ 14	新しく入る入居者のための居室清掃時、洋服ダンスの上段の棚を拭こうとして、丸椅子に右足から乗り上げた時に左膝に激痛があり、しばらく動けなくなり、痛みが取れなかった。	68	10～ 29
6	9～ 10	特別養護老人ホーム施設内の入居者居室内で、寝たきりの入居者をリクライニングの車椅子からベッドへ移乗する時、他の職員と2人で抱えてベッドに下ろしたところ、腰に電気がはしる様な痛みがあり、その場で動けなくなった。（ベッドと車イスの間隔15cm、マニュアル通りの移乗）	33	50～ 99
6	8～9	朝食をとられた入居者様を居室へ誘導後、施設内の2階から1階に通じる階段を下りていたところ、下から2段目の階段（約31cm）で足を挫いて体勢を崩し、よろけ落ちた。	54	1～9
6	0～1	施設にて、自分の身長より高い物干し竿に入浴用のバスタオルやタオルを干していたところ、突然左膝から「ブチッ」と音が鳴った。その後、痛みが出た。	50	30～ 49
6	16～ 17	当施設4階浴室において、男性（左半身麻痺）の入浴・更衣介助後、靴を履かせ車椅子に乗せる際、体勢を崩し床に左膝を打ちつけ、半月板を損傷した。	66	10～ 29
6	7～8	利用者様のトイレ介助を行っていた際、排泄のために利用者様を抱えた際に腰に	60	30～

		痛みがはしり、歩行が困難な状態になった。業務の継続が困難であった。		49
6	10～ 11	使用していた平均台を、トラック外に置いていた他の平均台の所に片付けようと持って行き、置いた際に腰を痛めてしまった。	38	50～ 99
6	10～ 11	当園の0歳児部屋にて保育中、園児（約7kg）を背中におぶった状態で、泣いている園児（約9kg）を抱きかかえようとした際に、腰に激痛がはしった。	30	10～ 29
6	8～9	デイサービスホール内にて、利用者送迎のため、玄関方向に踏み出したところバランスを崩し、左下肢に力が入りやや外転した。その際に、「ブチッ」と音がして、近くにあった机につかまって椅子に座った。その後、歩こうとするが力が入らず、歩けなくなった。	52	1～9
6	7～8	被災者が、事業所内でベッド（高さ約50cm）に座っている利用者（男性、43kg）を抱きかかえ、車椅子へ移そうと一歩前へ踏み出した時に、右ふくらはぎを痛めた。	61	50～ 99
7	18～19	老人ホームの利用者の居室から退室する際、ベッドに敷いてあるエアーマットの配線（輪になっていた）に左足が入ってしまい躓いて右足の膝を床に強打した。しばらくしてから段々腫れと痛みが出てきた。	61	50～ 99
7	15～16	萌葱ユニット内で入居者のコップをフロアーテーブルからキッチンに運ぶ際カクンと左足首がなり痛みが出る。	53	50～ 99
7	15～16	入居者のコップをフロアーテーブルからキッチンに運ぶ際、カクンと左足首がなり痛みが出る。その後も左足をかばいながら作業にあたるが、左足を床につける事が出来なくなる。足首が腫れてきていたため、病院を受診することとし退勤する。フロアー内はバリアフリーで段差や通路に障害物はないが、本人は小走りで動いており、方向転換等でバランスを崩し、力が足首にかかった可能性はある。	53	100 ～ 299
7	11～12	当施設、地階浴室内に於いて、ご利用者様を浴用リクライニングチェアに乗せ、ハンドル操作と共に、そのまま下降入浴させようとした際、安全を担保する傍ら、自らの腰を痛めてしまった。	47	50～ 99
		Bユニット東トイレ前廊下で、トイレ後の入居者様を居室に誘導している時に、他入居者様が掃除機をかけていたので道をあけていただいたが、その際によけて		10～

7	8~9	いただいた入居者様の足にスタッフが躓きバランスを崩してしまった。スタッフは入居者様の手を引き誘導中だったので入居者様を転倒させないように身体を支える際に左膝をひねってしまった。	54	29
7	13~14	一人でマンホール内作業に伴う交通誘導中、左折する車両を誘導するため車道上から歩道上に移動しようとした際、歩車道境界ブロックに気づかずにつまずき、後ろ向きに転倒して左腕から地面について負傷した。	50	30~ 49
7	9~10	起床援助と朝食援助のために利用者様宅を訪問する。起床援助のため清拭し着替え援助し、朝食のために部屋を移動し、椅子に座ってもらうために立っていただくよう声をかけていたが、なかなか立ち上がることができず、戻らなければならない時間が近くなり、手を貸そうと後ろから持ち上げる姿勢をとり、力を入れたところ「ゴキ」と音がして痛みが走った。	65	50~ 99
7	16~17	オムツ交換中利用者様右側臥位に体交し、オムツをさしこむ際、腰に痛みがはしる。その後オムツ交換者が5人残っていたため、痛みをこらえオムツ交換を終わらせ片付けるが、他職員に痛みあることを伝えイスに座ってから動くことができなくなった。	28	50~ 99
7	12~13	組合員宅の庭で、訪問が終わり車に戻ろうと歩いていたところ、欠けている側溝の蓋に右足を引っかけてしまい転倒。その際、右足甲外側を骨折してしまった。	31	50~ 99
7	9~10	印刷機が850rpmで運転中に印刷不良が発生。第一ユニットの安全バーからの結露が原因とわかり、コバン（隙見ゲージ）にウエスを巻いて拭き取ろうとしたところ、ブランケットにウエスが引っ張られてしまい安全バーとブランケットの間に指が挟まれて受傷した。停止させてから実施させるルールにはなっていたとのこと。	65	30~ 49
7	10~11	特別養護老人ホームにて、入居者様（女性・身長147cm、体重37kg）をベットに座っている状態から車椅子へ移乗させる際に、横から入居者様の腰部を持ち上げた時に、腰に激痛が起こり、その場で動けなくなった。	52	30~ 49
7	11~12	利用者居室にて寝ている利用者をベッドに座らせ、車イスに移そうと腰をかがめ、利用者を持ち上げ、方向を変えた際に負荷がかかり、痛めてしまった。	31	30~ 49

7	13~14	利用者の介助業務で、車椅子からベットへ移乗させるため、支えで利用者の足と足の間に自分の右足を入れ移乗させた際、右膝に痛みがはしった。 ※初診日まで家にあった湿布薬を貼ったりサポーターをして痛みを我慢していた。	42	50~ 99
7	13~14	入居者のトイレ誘導時、車椅子から抱きかかえた際に腰の左側に痛みを感じた。その後は通常通りに勤務したが、椎間板ヘルニアとの診断を受けた。	33	100 ~ 299
7	13~14	介護サービス中の買物代行時に、買い物した品物を2つの買い物袋に分け両手に持ちその他自分のバックを持ってご利用者様宅のアパートの階段を上がっていた時に、持っていた荷物と自身の体重が左足にかかりその場にうずくまってしまった。 スタッフの業務は同行援護など長時間歩くサービスを日々行っている。	69	10~ 29
7	13~14	ご入居様を車椅子からベッドへと移乗介助している時に、前方からかかえ上げ介助した時に、ご入居様の身体に筋緊張が強くみられ、身体が背後にのけぞりつぱった状態となり腰に強い荷重がかかった。	34	30~ 49
7	18~19	保育園の1歳児保育室で、座って事務仕事をしているときに、女兒が急に走り寄って来て、それを受け止めたときに体勢を崩し、右足の人差し指を骨折した。	65	50~ 99
7	6~7	保育所の男性更衣室のエアコンのフィルターの掃除をするため机（120×60×H45）にテーブル（52×52×H34）をのせその上に椅子（28×30×H30）を置き、その上にのって作業している時、エアコンのフィルターが床に落ちたので拾おうと降りる際にバランスを崩して転び左手を畳の所について左手首を骨折した。	50	50~ 99
7	10~11	送迎を終えた母親と園外保育へ行くための職員と子どもが園を出た。通り沿いの歩道で母親を追って行こうと突然走り出した子どもを静止しようと身体を抱きかかえたところ突き離され、その勢いで膝・腰・肩を地面に強打した。	62	10~ 29
7	8~9	ご利用者宅内にて、15kg前後重さの浴槽を二人がかりにて搬入時、腰に痛みが走る。そのまま、バイタルチェック・更衣介助・入用介助等を行うが、訪問終了時には腰が曲げられなくなる程痛みが増す。そのまま次の訪問先へ向かうが痛みのため動けなくなる。	43	10~ 29

7	13~14	全介助の利用者を車いすからベッドへ移乗するため利用者を抱えた際に後方にのけぞるような姿勢となり、腰に力が入ってしまい腰に痛みを感じる。骨には異状なく右腰・右臀部からくる痛みだろうとの診断を受ける。その後も痛みが引かず、強くなりしびれが出てきた。	33	—
7	13~14	訪問介護利用者宅にてサービス時、床に仰臥位の利用者を起こして車イスへ移乗する際にヘルパーの身長ではかなりの高さに持ち上げなければならず腰に負担がかかり腰部に痛みが出たもの。（その日以降痛みこらえて勤務を続けていたが後日夕方に痛みが強くなり歩行困難になった）	42	50～ 99
7	10~11	入浴介助のため、利用者を抱きかかえ脱衣所から浴室に移動を試みていたところ、突然胸部に痛みを感じ、そのためバランスを崩した状態となり、利用者とともに前方に倒れ込んでしまった。被災者は胸椎圧迫骨折により2～3週間の入院加療、利用者は腰椎圧迫骨折により自宅療養が必要と診断された。	61	100 ～ 299
7	11~12	派遣先の3F中央ホールにて、食事介助の工作中に、ご利用者2人から日差しがまぶしいのでロールカーテンを閉めて欲しいと言われ、南窓のロールカーテンを閉めるひもを引っ張るため、15cm位ジャンプをしたところ、着地時に足に負担がかかり負傷したもの。当日は痛みが無く、そのまま帰宅したが、痛みがひどくなった。	68	100 ～ 299
7	10~11	入居者の居室ベッドサイドで、パット交換のために身体的位置（入居者）を整えようとした所、腕に激痛が起こった。腕を見ると筋肉の位置がもり上がって不自然であった。入居者の身体的位置を整える際に腕に無理がかかったと思われる。	55	30～ 49
7	15~16	障害者デイサービスセンター施設内で利用者の移乗、排泄介助をしている時、2～3名で移乗を行う際、自身の手で利用者を支えきれず左手首の辺りに激痛を感じた。その後痛みが生じていたのでサポーターを装着していたが後日に激痛を感じた。	35	100 ～ 299
7	6~7	調理場シンクで洗い物をするため、そこに移動し、洗い物をやりかけたが少し動いた時バランスを崩したので右足でふんばったところ右足を挫いてしまった。少ししたらひどい痛みを覚えた。	28	50～ 99
		寮内の清掃業務等を続けていたところ両肩に熱をもって腫れて寝られない状況が		

7	0~1	出てきた。五十肩と診断され動かすように言われたが、痛みがひどくなった。 MRI診断を受け（両肩腱板断裂と診断）以後、休業している。	47	50～ 99
7	11~12	プラント室洗浄槽前にて、装置カバーや治具を洗浄する作業をしている時、粉末のアルカリ薬品を溶かしアルカリ液をつくり洗浄効率が上がる様に水温を上げる。本来アルカリ薬品は水温40℃以下で投入口より柄杓にて投入、その後蒸気を入れ水温を上げていくが今回薬品投入前に水温を上昇させ、粉末を槽内にそのまま入れようとして袋ごと落としてしまい、突沸し、前半身に薬液を浴びた。作業手順の省略行為、保護具の未着用により顔面、太ももを薬傷した。	50	10～ 29
7	10~11	被災者は、サンプル採取のために開いた窓に近づき、左足に体重をかけた際、左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	50	10～ 29
7	10~11	プールで指導中、2歳児の子供達をプールから出し入れを続けたことで手首に痛みを感じた。	40	30～ 49
7	10~11	当事業場内ショートの施設トイレにて、利用者の排泄介助をしていた際、この利用者の排泄の有無を確かめようと、洋式便器に座っていた同利用者の横に立って、背中越しに便座をのぞき込もうと狭いトイレ内で右に身体をひねった途端、腰に激痛が走り、立っていられなくなったもの。	52	100 ～ 299
7	9~10	利用者宅寝室でベットから車椅子へ移乗介助をするため、ベット上で起床介助をしようとした際、利用者が全体重をかけて倒れてきた。咄嗟に身体を捻った瞬間首筋に痛みを感じた。	42	30～ 49
7	15~16	施設2階の手すりを使い利用者様の立位訓練を行っていた時。麻痺側に短下肢装具を装着し左手で手すりを持ってもらった際に体が不安定になるため腰部（ズボンウエスト）を持ち介助する時に自分の腰に激痛がはしたが痛みを我慢しリハビリ業務を行った。その後も痛みはずっとあったが鎮痛剤の服用とコルセットの着用で対応していたが、日数が経っても痛みがなくならなかった。	47	50～ 99
7	11~12	社用車駐車場内において、駐車中の社用車両内後部席（車椅子乗車準備）で、後部座席シートを折りたたんであげた際、止めの噛み合わせがはまらず、両腕に力を入れて再度シートを押した瞬間、腰部で音が鳴り中腰のままの体勢で動けなく	50	30～ 49

		なった。		
7	11~12	食事介助をしていた時にご入居者にボールペンで手をつき刺され、手と腕を外側に捻られた。	43	30~ 49
7	15~16	当法人特別養護老人ホームに於いて、利用者様を車イスで居室へ移動し、車イスからベットへ移す介助を行う際に、利用者様をかかえたときに骨盤を締めるベルトをしていたにもかかわらず、右側の腰がグキッとなったので車イスに一旦もどし再び移しかえするため持ち上げようと前かがみになったとき腰の痛みが酷かった。	53	50~ 99
7	19~20	利用者様のトイレ介助中、便座から車イスへ移る介助を行うときに尿もれパットを当てながら立ち上がらせようとしたときに右拇指のつけ根をひねったようになり痛めた。	53	50~ 99
7	10~11	風呂場にて二人介助の時に、入居者を車椅子からシャワーチェアに移動する際に腰をひねった。	67	100 ~ 299
7	10~11	1F施設内トイレにおいて入所者（車イス使用）の方をトイレ介助していた。入所者が急に立ち上がり車イスに戻ろうとしたため、転倒させてはいけないと思い、慌てて、支えた時に十分な体勢ではなかったため、腰を捻った様な感じになり、腰を負傷した。その日は最後まで勤務したが、翌日より動きにくくなった。	57	30~ 49
7	9~10	3升の米を2回に分けて洗った後、米びつの上にそれを重ねて置き、後ろにある冷蔵庫の下側に運び入れ立ち上がった瞬間、電気が走ったようなズキとした痛みが、特に右側の腰にきた。	68	30~ 49
7	14~15	大浴場にて入所者の機械浴終了後、機械浴用車いすから移動用の寝台へ同僚と二人で抱えて移動した際に腰と左股関節を痛めた。	43	100 ~ 299
7	13~14	訪問介護利用者様宅で、左で洗濯物を持ち右手でドアを開け中に入ろうとした時、ドアノブに右手が引っ掛かり小指を骨折した。	61	50~ 99
		通所リハビリテーション送迎中に車両から利用者を介助している時、右足がス		100

7	9~10	テップ上に乗った状態でふんばった際に左足のバランスを崩し、左足をついた時痛みと違和感と感じた。	69	～ 299
7	17~18	障がい者支援施設デイサービスにおいて、主に障がい者の入浴介助（移乗、洗身、衣服の着脱等）に1年7か月従事していた。右利きのため右手を使うことが多く、酷使したことにより痛みが生じ、TFCC損傷との診断を受けた。	52	50～ 99
7	16~17	施設入所者居室トイレで、入所者の排泄介助を行っているときに入所者の膝折れがあり、立位保持が難しくなった。片腕（右手）のみで、立位補助を行いながら、左手で排泄介助を行ったところ、右腕に負荷が掛かり、右肩に痛みと違和感を覚える。	52	50～ 99
7	10~11	事業所で、入居者をベットより車イスへ移乗させようとした際、腰をひねり骨折した。	52	30～ 49
7	11~12	小学校において児童のプール監視をしていた際、休憩終了の児童がプールに入り危険行為をしていたため、児童を制止しようと急いでプールに入ろうとしたところ、水入れ装置のコンクリートに足をひっかけ、左足小指を骨折した。	66	50～ 99
7	21~22	保育室で行事の片づけをするため、重さのあるテーブル（たて90cm×よこ180cm×高さ55cm、鉄製、厚さ10cmの木の天板）を2人で運びながら高さ40cm程のステージに上がろうとした時、腰に急激に強い力がかかり、強い腰痛が発生した。	51	10～ 29
7	16~17	保育園主催の夏祭りに出勤し、保育園から400メートル先の職員駐車場に車を停めて降りる時、砂利の駐車場に足をつき、石があるのに気づかず、右足を左右にこねて、痛みが出た。	58	30～ 49
7	10~11	朝の送迎から戻り、利用者を駐車場から施設へ誘導していたとき、突然利用者の一人が反対側の道路へ向かって走り出したため、引き止めようと身体を捻って走りだした際、左ふくらはぎに強い痛みが走った。	37	10～ 29
7	7~8	入所者居室にて入所利用者起床時にベッドから車椅子へ移動するために利用者を前から抱え、持ち上げて介助を行った。その際に右足に痺れを感じた。その後、業務を継続していたが、痺れが強くなりもものつけね部分に痛みがでてきた。	20	100 ～ 299

7	9～ 10	利用者居室内にて、オムツ交換時客室のベッド上で横になっている利用者の右側面に立ち、麻痺のある左半身を持ち上げた際に、無理な姿勢で持ち上げてしまい、腰を痛めてしまった。	20	50～ 99
7	6～7	当社施設（住宅型有料老人ホーム）の入居者の部屋において、入居者の更衣介助をしている際、ベッドの端に座っていた入居者がバランスを崩し、後ろに倒れそうになったため、背中に手を回して支えようとしたところ、右膝をひねり負傷した。	53	10～ 29
7	10～ 11	訪問先の利用者宅でベッドマット移動依頼を受ける。ベッドマットの上下変更（頭部と足部の変更）で作業した場所は居室でテレビやタンスに囲まれているベッドであった。せまいため身動きが思うようにできず、テレビタンスにも気を取りながら作業をした。作業中に腰に違和感を感じたがそのまま作業は続けた。	60	1～9
7	11～ 12	利用者（腰が曲がっており、移乗する際足を縮めぶら下がる状態になる。持ち上げる際手、足等に力を入れる。）がベッドに座っている状態で、抱き上げ車イスに移乗させようとした際、右膝に激痛が走った。左足が利用者様の両足で挟まれて動かせない状態であった為右足（膝）に負荷がかかったと考えられる。	28	100 ～ 299
7	15～ 16	施設内居室（11号室）で利用者を車椅子から畳の上の布団へ平行移動で降ろす際に、相手職員が下半身で負傷職員が上半身で横に移動しようと持ち上げたが車椅子の肘掛を躲せず、再度声掛けして持ち上げて降ろす際に左足を捻り受傷した。	49	50～ 99
7	18～ 19	利用者居室で、身長150cm体重41kgの介助抵抗が強く、両下肢に麻痺のある要介護度5の女性利用者のオムツ交換をする際に、利用者を側臥位にして着衣を脱がし、オムツ交換をしていたところ、腰に違和感を感じ痛みが生じて動けなくなった。	47	50～ 99
7	12～ 13	2階入居者居室内で、入居者をベッドから車椅子へ移動するための作業を2人組で する際、前かがみになったときに背中と腰に痛みが走り、通常の動きができなくなった。	33	50～ 99
7	6～7	施設利用者の居室で、おむつ交換の業務中、ベッドの上で硬直している男性利用者の身体を移動させようと力を入れたところ、腰を捻ってしまった。その際、腰部に電気が流れたような激痛がはしり、動けなくなってしまった。しばらく安静	43	30～ 49

		にしていたが、徐々に痺れも出てきて歩行困難となった。		
7	17～ 18	利用者ホールで見守り中、利用者に危ない行動が見られたので、助けるために走り出したとき、足と腰に痛みがはしり、痛みのため歩行が困難になってしまった。後日受診したところ、L5/S椎間板変性等と診断された。	38	50～ 99
7	15～ 16	利用者を車椅子からベッドへ移動する際、利用者が耳元で大きい声を出し、肩に置いていた手がぶらんと下がってしまった。落としてはいけないと思って上にあげたとき、両手首に力が入ってしまい、右手に痛みを感じた。	65	10～ 29
7	9～ 10	介護従事中、入居者（155cm、40kg程）の女性を浴室より居室へ移送し、その後、入居者をストレッチからベッドへ他職員と共に移乗する際に発生した。ストレッチャー、ベッドを平行に配置し、本人が頭部側、他職員が足側を持ち上げた。そのまま、入居者をベッド側へスライドさせようと体を旋回したところ腰を捻った形となり、腰痛を発症した。作業工程的には普段と変わらず、被災者本人もこれまで腰痛の症状がなかったことから、普段通りの動きであったが、今回は腰に急な負担が掛かったために、腰痛を発症した様である。	38	50～ 99
7	10～ 11	職場の利用者用トイレで、利用者を車いすから便座へ座らせようと抱きかかえた際に、左肩に体重がのしかかってバランスを崩し、左肩の筋肉に激痛がはしり、腱が断裂した。	58	30～ 49
7	13～ 14	介護施設利用者を送迎する際に、利用者の男性が転倒しそうになったため、その身体を支えようとしたときに、左腕に大きな負荷がかかり、左肩と左肘の靱帯を伸ばしてしまい負傷した。	28	30～ 49
7	19～ 20	仕事場で、1人で1階2階を行ったり来たりし、おむつ交換等をしていて腰を負傷した。	67	30～ 49
7	16～ 17	デイサービス静養室にて、2人介助にて入居者の排泄介助を行っていた。車椅子からベッドへ移乗する際に、1人が後ろで支えて、本人が前で抱き上げたときに、腰を強く捻ってしまった。	67	30～ 49
7	15～	道路上で徘徊し、認知症のせん妄状態が出現している利用者を発見した。家族へ連絡し、タクシーに寄せようとした際に利用者が抵抗し、利用者の身体が地面に	61	30～

	16	落ちそうになったため、利用者の身体を支えようとしたときに、腰椎を圧迫骨折した。		49
7	16～ 17	静養室（ベッド上）にて食事介護中、急に利用者がベッドから落ちそうになったため、急いで体を支えて危険を回避した。しかし、その際に突発的に動いてしまったため、肋骨に激痛を感じた。すぐに治ると思い様子を見ていたが、痛みが強くなったため整形外科を受診したところ、骨折が判明した。	54	10～ 29
7	9～ 10	利用者居室にて、居室ベット上に利用者を臥床させ、（排便セットにより）体位を枕上に引っ張り上げる際に、腰に電気がはしるような痛みを感じた。体動の激しい利用者で、横臥姿勢が確保しづらく、安全ベルトで固定しながら排便スタイルを取っている。	35	100 ～ 299
7	15～ 16	利用者の居室にてトイレ介助の際、ゆっくり座ることができるように利用者と向かい合い、両腕を利用者の両脇に入れ、姿勢を低くしていたときに腰に痛みが発生した。	47	100 ～ 299
7	13～ 14	事業所内で、入居者が椅子のない所に座ろうとしたため、咄嗟に支えたところ、腰がポキと鳴り受傷した。	67	30～ 49
7	12～ 13	園児のお昼寝の準備のため、積み重ねてあるコット（折り畳み式簡易ベッド）を下ろそうとして腰を捻ってしまい、動けなくなり病院に行った。	22	10～ 29
7	10～ 11	施設の利用者居室内にて、リクライニング車椅子からベッドにスタッフ2名体制で移乗介助をしていた際、足元での介助を行っていたときに、腰を痛めてしまった。	51	30～ 49
7	19～ 20	利用者居室でオムツ交換後、ベッドの足元側に全身が下がっていたため、体を上の方に移動しようと思い、両腕を利用者の背中側と下半身に差し入れ、ベッド頭上に移動したところ、体格が良い利用者であるため左足に加重がかかってしまい、左足ふくらはぎ裏側からブチっという異音がし、床にしゃがみ込んでしまい、しばらく痛みのため動くことができなくなった。	60	50～ 99
7	8～9	利用者を追いかけていた際、目の前に椅子があったため、中腰で椅子をどかさうとした際に腰に痛みがはしり、そのまま立てずにしゃがみこんだ。	45	50～ 99

7	15～16	入居者居室にて、排泄介助（パット交換）のため車椅子からベッドに移動する際に、対象利用者は下肢に力が入らず、全体重を掛けられ、支えていた右手首に負担が掛かった。様子を見ていたが、腫れてきて押すと痛みがあり、時間の経過とともに痛みが強くなった。	63	100～299
7	7～8	夜勤明けの朝、トイレにいた利用者Aを朝食の準備ができたため呼びに行く際、トイレの廊下を塞ぐ形で別の利用者Bが寝ていたため、利用者Bを跨いで行こうとしたところ、急に利用者Bが動いたため、バランスを崩したまま右足を着地し、痛みがはしった。夜勤が終了し帰宅したが痛みが引かないため、同日受診し、レントゲンを撮った結果、右足指の骨2本（人差し指、中指）が骨折していた。	53	100～299
7	19～20	被災労働者が入居者の移動介助を終え、次の要介護者の元へ出向くため、施設内の廊下を歩行していたとき、方向転換するために自分の体の向きを変えようと、右回りの動作をしたとき、足がもつれて体勢を崩し、廊下の床面に右膝を捻りながら着地して負傷した。	63	50～99
7	11～12	社内の水遊び場で、子どもが水遊びをしており、終了時に、なかなか水遊びを終了できずにいた児童に指導員が声をかけ、手を差し出したところ、いきなり児童が指導員の手を引っ張り、指導員は違和感を感じた。	43	1～9
7	19～20	当社グループホーム内にて、利用者（身長155cm、体重45kg、介護度4、女性）の入床介助中、車椅子からベッドへ移すため、利用者を一人で抱え上げたとき、利用者が怖がって、突然車椅子を掴んだため、バランスが崩れてしまい、体勢を保とうと右足を踏み出し床面についたとき、全重量が踵にかかってしまい、右足を負傷した。	41	10～29
7	14～15	入浴介助の際、車椅子より利用者様をシャワーチェアへ移乗介助するため、抱え上げたときに急に腰に痛みがはしり、動けなくなってしまった。	36	100～299
7	16～17	事務所内のトイレにおいて、利用者のトイレ介助作業中、利用者のズボン上げるため、中腰の体勢から体を起こそうとした際に、腰部に激痛がはしり負傷した。	24	100～299
		施設内1Fの利用者居室前廊下にて、ナースコール対応のため移動中、急いでいた		10～

7	4～5	ので歩行が不安定になり、左に体重がかかり、左足を捻ってしまった。	54	29
7	10～ 11	作業室で、外出前に座り込んでいる利用者を立たせようとして、利用者を抱きかかえるためしゃがみ、腰を伸ばしたときに腰に痛みが生じた。その後、事務室まで鍵を返却に行き、事務室を出たとき、左足に痺れを覚え動けなくなった。	37	10～ 29
7	9～ 10	送迎時、車椅子介助にて、バックで利用者宅玄関を出るとき、玄関引き戸の段差が3.4cmあったため、車椅子のハンドルを持ち上げて段差を越えようとした際、首に痛みが出た。	19	30～ 49
7	9～ 10	2階居室にて、入居者を車椅子からベッドへ移乗した際に腰を捻り、同時に痛みがはしった。	62	50～ 99
7	10～ 11	子どもを抱っこしながら立ち上がろうとしたとき、子どもが暴れたため、体勢を崩しながら立ち上がり、膝を痛めた。	38	50～ 99
7	11～ 12	介護老人福祉施設本館4階にて遅出業務に入り、入所者の入浴が終わり、ラウンジにて、介護職員と2人でストレッチャーからリクライニングに移乗介助したときに腰を痛めた。	50	100 ～ 299
7	7～8	居宅介護利用者宅に、ヘルパー2人で訪問した。朝の準備で利用者が横になっている状態で、体を両側から寄せようとしたとき、被災者の腰に激痛がはしった。その際、ベッドの柵と壁の間に倒れ込み、動きがとれない状態となった。	62	50～ 99
7	13～ 14	休憩室内の畳の間にて、昼休憩が終了し、業務に就こうと立ち上がった際に、体のバランスを崩し、左足を捻る状態となった。	27	50～ 99
7	17～ 18	児童クラブ保育室において、しゃがもうとした時に倒れて起き上がれなくなった。	58	1～9
7	16～ 17	駐車場において、全介助者を車椅子から送迎車の中へ移動する際、一人介助にて行っていたところ、右足太股に利用者の身がのりかかる状態となり、転落しそうになり、不安定な姿勢のまま無理に座席へと乗車させた。その際、過度に足の付け根を捻る形になり、グギッと音がして痛みがはしった。	58	10～ 29
7	10～	デイサービスセンターにて、リフト入浴後の利用者の更衣を手伝う際、チェアインに乗った利用者の足を拭こうとして、両足でしゃがみこんだところ、左足から	59	100 ～

	11	ピキッと音がして左膝に痛みを感じた。		299
7	13～ 14	3階食堂にて、利用者が参加する詩吟教室の準備をするため、一人で机や椅子を持ち上げて運んでいたところ、準備後、腕に違和感があった。詩吟教室が終わり、机や椅子を片付けていたところ、首の痛みと、右手が拳がらず痛みがあったため、早退し病院で受診した。	28	50～ 99
7	13～ 14	倉庫内で行事用の椅子を借りるため搬出しているとき、椅子を持ち上げた瞬間に、右腕に強い痛みが生じた。椅子は5脚ずつ（約6kg）紐で一纏めにしてあり、他の椅子と絡み合っていたため、力を入れれば絡みが外れると思い持ち上げたが、結果的に受傷した。	66	10～ 29
7	6～7	施設内2階の居室で、入居者がベッドの下マットレスにうつ伏せになっているのを発見し、そこから車椅子に移した際、腰に痛みがはしり、左足に痺れが出た。	38	10～ 29
7	21～ 22	入居者の尿取りパットを交換するため、入居者の身体を左側臥にしようとしていたとき、右足側部に力が入り、激痛を感じた。その後、右膝に湿布を貼付し、朝まで痛みを感じながら夜勤を続けて様子を見た。しばらくして痛みが和らいだので、再び夜勤をするが、痛みが酷くなったので、夜勤明けに受診した。	62	10～ 29
7	16～ 17	利用者を左の車椅子から右の車椅子に移乗中、腰を捻り、右側の腰に電気がはしるようにピキッとし、違和感を感じた。翌日受診したところ、急性ヘルニアとの診断を受けた。	36	100 ～ 299
7	19～ 20	居室にて転倒している療養者を一旦車椅子に乗せるため、1人介助で起こそうとしたとき、右足を捻り、自身の体重が右足にかかり、右第5中足骨を骨折した。	33	100 ～ 299
7	15～ 16	一人目の利用者の入浴介助中、利用者が落とした洗顔をしゃがんで拾おうとしたとき、腰が張るような違和感があった。その後、午前の入浴介助を中断して様子をみた。午後の入浴介助にあたり、腰に違和感があるため、5人目までの利用者の入浴介助では移乗介助をしなかったが、最後の利用者の入浴時、1人で対応して怪我をさせたら悪いと思い、2人介助にて対応した。浴槽から椅子へと2人で	24	300 ～

		移乗介助をしようと、右腕を利用者の左脇下に入れ、左手を利用者の左膝下に入れる姿勢で、両脇から抱え上げたときに、腰にズキッと激しい痛みがはしった。 移乗介助、着脱支援をして風呂掃除をしようとしたが、痛みが激しくなり、立てなくなった。		499
7	16～17	利用者（72kg）の排泄後、便座から起こし、車椅子へトランスさせる間に発生した（利用者に実害なし）。利用者を車椅子へ方向転換させようと、ズボンのウエストを持ち、車椅子へ引き寄せたとき、保持していた右肩を中心にグイッと引っ張られた形になり、1分位後に痛みを覚えた。	48	100～299
7	18～19	厨房の中にある配膳車を移動させようとしたとき、配膳車にストッパーが掛かった状態で強く引っ張ったため、右肩の骨がパキッとなり、痛みがでた。	40	100～299
9	14～15	勤務先病院内において特浴介助作業中、入所者をベットからストレッチャーに抱きかかえて移動させ、入浴後はストレッチャーからベットに移動させる時に、ベットの柵が取り外せなく柵の上から入所者をベットの上に移動させようとして無理な体勢から力を加えたところ、腰に激痛があり動けない状態になってしまった。	60	10～29
9	11～12	お風呂場にて利用者様の入浴介助中、体を洗っている際に少し痛みが走ったが、そのままサービスを続けていた。その後、転倒防止の為、床の水を拭いていたら痛みが強くなった。	53	10～29
9	13～14	施設内で、利用者様を介護中、体勢が崩れてしまったところ、利用者様に足を踏まれてしまい身動きが取れず、転んでしまった際にひざの骨にひびが入った。	62	10～29
9	17～18	送迎業務中、送迎車後方から乗る時ステップを越えようとしたら、左足に痛みが走った。	55	50～99
9	14～15	利用者の居室内で、ベッド上で利用者様の体位交換後、次の利用者様の移乗介助のために向かおうと歩き出した際に腰に力が入らず、ひざから崩れるように倒れた。	30	30～49
9	11～	訪問介護利用者の自宅にてトイレ誘導で利用者を支えながら移動中に、左膝に負担がかかり痛みがあった。その後、利用者が動くことが難しかったため救急搬送	61	50～

	12	することになり、送り出した後、利用者の玄関先で段差を上がろうとしたところ、左膝の痛みがひどくなり歩けなくなった。		99
9	13～ 14	保育園のトイレ内で排泄処理後の子どもを抱き上げた直後に、腰に違和感があり、動くことが困難となった。	45	10～ 29
9	9～ 10	老人ホーム一般浴室内において、利用者様の着脱介助中にズボンを下げるため屈もうとしたところ、腰部に激しい痛みを感じた。無理をして介助を続けようとしたが、動くのも大変になってきたため上司に報告し病院を受診し、急性腰痛症と診断される。	24	100 ～ 299
9	15～ 16	入浴介助中にプラットホーム（更衣する所）で更衣介助をしていた。入苑者を車イスに移乗しようと、入苑者を抱き回転し、座らせようとした際に腰に痛みが走り動けなくなった。	33	50～ 99
9	14～ 15	1階チェアインバスの、入浴介助中、車椅子からストレッチャーに移動時、2人介助で行うべき所やもえず1人介助で行った。介助者が腰の痛みが発生した。	58	50～ 99
9	9～ 10	居室でベッドからリクライニング車イスへ移乗介護直後に前傾姿勢の状態に腰に痛みが発生した。その後、業務中断し早退する。	20	100 ～ 299
9	7～8	体重42.1kgを起床のため、居室のベットから車イスへ移動するため、私1人が介助に入った。当該入所者は日頃より介助拒否が強く、当日の起床介助も強い拒否があり、ベットから起こす際、暴れる様子で両手を振りかざしてきた。私はそれを避けながら両手で体幹を支え、車イスへ移乗する途中に当該入所者が両手で私の首元をつかもうとしたため、バランスを崩さぬように左腕に無理な力を加え手首をひねった状態で車イスへの着座を行った。その際に左手首に激痛を感じ、その後も同様の痛みが継続し、業務や日常生活において左手首をかばうようになったため、病院受診をした。	58	50～ 99
9	7～8	利用者宅寝室において、利用者（身長168cm、体重58.3kg、左足が不自由で自分では歩けない）をベッドから車イスに移動介助中、利用者も介助に不慣れだった為、無理な姿勢になってしまい腰に痛みが走った。	69	10～ 29

9	16～ 17	訪問先の利用者宅において、訪問介護でベットメイク中、ベットの奥側にシーツをセットしようと左足に力を入れつま先立ちになったところ、左足ふくらはぎに強い痛みがあり負傷したものである。	58	10～ 29
9	17～ 18	おやつが終わり、掃除の為に子どもテーブルを片付けようと持ち上げたところ、腰を痛めた。	58	1～9
9	11～ 12	デイサービスセンターの入浴介助で、体格の大きい利用者を、ベッドから車いすに移乗する際に、腰に痛みが発生した。	44	100 ～ 299
9	6～7	ご入居者の居室内で、布団（床）からの立ち上がりの介助の時に、口頭での指示が伝わらない方で、体がつっぱり、全体重を支える形で介助したために、腰部に激しい痛みがでたが、介助を続けた。	49	30～ 49
9	16～ 17	デイサービスセンターフロア内の利用者用トイレで、利用者を洋式トイレから車イスへ移動する介助をしている時に、一人ではまったく立位のとれない利用者が本人の首に両腕をまわして本人は利用者の腰に手を回して持ち上げながら数歩移動し、車イスへおろした。その直後、腰から大腿にかけ痛みが出て痛みが強くなり、ゆっくりとしか歩けなくなったものである。	67	100 ～ 299
9	15～ 16	施設内2Fフロアで、おやつ時間作業中に1歳児クラス（2歳）のお子様を保育士の膝元より受け取る状態で、子供の脇を持ち上げた時、腰に強い痛みが走った。	51	30～ 49
9	9～ 10	公園へ子供達と移動中、他の保育士の指示により、子供のくつを園舎へ取りに戻るため、ふり向き走ろうとした際に慌てていたのもあり、左ふくらはぎを痛めてしまった。	50	100 ～ 299
9	13～ 14	居室トイレ内に於いて、立位不安定な利用者の排泄介助時、便座から利用者を抱えた際、過度な負荷がかかり腰を痛めた、腰部捻挫。	55	50～ 99
9	10～ 11	介護老人福祉施設に勤務する当該職員は、施設内2Fにある浴室隣の脱衣所において、入浴後の利用者をリフトチェアから車椅子に移乗介助を行った。その後、身体を拭くためのタオルを取ろうと手を伸ばした際、突然左腰部から左下肢にかけて強い痛みが走り、身体を動かすことが困難となった。時間の経過と共に痛みは	44	100 ～ 299

		やや軽減されたが左下肢に痺れが残った。		
9	10～ 11	客先訪問中、介護者の洗濯物を干そうと踏み出したところ、踏み石が段差になっているのに気付かなかったため、躓いて足を捻り、右膝の後ろの筋を違えた。	68	10～ 29
9	20～ 21	有料老人ホーム施設の事業所内にある、利用者居室の定期巡回業務をしていたところ、居室内において、車椅子乗車のまま車椅子ごと転倒している利用者を発見した。当該社員はとっさに車椅子を起こそうとして一人で車椅子を持ちあげるべく床面から車輪部を持って押し上げたが、その際に不安定で無理な姿勢をとってしまったため、腰椎圧迫骨折と診断された。	65	1～9
9	14～ 15	施設内2階、ご入居者居室のトイレ内で、ご入居者がトイレ壁設置の介助バーをつかんで、車椅子から立ち上がろうとしたところをその背後から右手でズボン、左手でご入居者の左臀部を支え上げたところ、左腰の辺りに激痛が走った。ぎっくり腰のような痛みで、日に日に痛む範囲が広がっている。	38	100 ～ 299
9	8～9	ユニット型特養の現場にて各居室介護中（移乗排泄更衣等）右手首に違和感を感じる、時間が経過するにつれズキズキと痛みを感じ始める、勤務後はそれほど痛みは気にならなかった、そして翌朝になると右手首小指側に激しい痛みを感じる。物が持てず、手首に何かが触れるだけでも痛みがあり、日常生活にも支障がでる程になり、整形外科を受診する。	26	100 ～ 299
9	6～7	施設内にて、ご利用者を床の上から車椅子へ移乗介助する際、ボキッと音がして痛みを感じる。移乗状況は、床の上からご利用者の身体を車椅子に持ち上げる動作を行う。	67	10～ 29
9	15～ 16	利用者宅にて、ベッドでオムツ交換を行った際、体位交換時にバランスを崩し、左手の親指、人差し指、中指を負傷した。	62	10～ 29
9	15～ 16	ご利用者様のご自宅の浴室にて、ご利用者様を、他の従業員と2人がかりで抱えて浴槽から出そうとしたところ、自分のスペースを確保できず、無理な体勢になってしまい、ご利用者様を下したところ被災したものである。	25	50～ 99
9	12～	利用者と一緒に食事を取り、食器を片付けようと右手に皿を持ち立ち上がった時、右に利用者が居て、足を出しているのに気付き、バランスを崩して、左側に	62	100 ～

	13	体が傾き食器棚に左半身を激しくぶつけ、左手を打ち床に跪いた。左肩、鎖骨、腕に痛みを感じたので湿布を貼り、夕方迄業務を続けた。		299
9	13～ 14	ユニット内のトイレで、トイレ介助（女性146cm、51kg）、通常は本人立位がとれるが、急に膝折れしたため、支えた際に腰を痛めた。	57	100 ～ 299
9	15～ 16	会社駐車場内において、利用者の送迎準備のため、送迎車の後部座席を折り畳んでいたときに、座席を両手で持ち上げた際、腰部に痛みが走り、腰を受傷した。	23	50～ 99
9	10～ 11	保育中に園庭の砂場で子どもたちと虫探しをしていた。人数確認をしたところ、担当児1名がプール方面に戻っていったことに気が付き、追いかけてようとした。砂場を横切ろうとしたところ、右ふくらはぎの筋が切れたような音がした。痛みがあり、足を引きずらないと歩けない状態となった。	27	50～ 99
9	10～ 11	体重の重い人を全介助した際、負傷。腰痛がある状態で再度同じ人を入浴介助した際、腰痛が悪化。常に痛みがある。	45	10～ 29
9	11～ 12	3階ユニットトイレで、トイレ介助のため、入居者の正面から中腰で両脇に手を入れて抱きかかえている時に、入居者が足に力が入らず、ほぼ全体重（45kg）を被災者が支えていたため、腰に痛みがはしり負傷した。負傷日当日は耐えられる痛みだったためがまんして仕事をしたが、家に帰ってから痛みが増して動けなくなり、翌日は仕事を休み自宅療養し、病院を受診した。	38	50～ 99
9	0～1	当施設内、ご利用者様の部屋にて、おむつ交換のため、体位交換（身体を仰向けから横向きに交換）をしようと、ベッドに左ひざをつき、右足は床についた体勢で、横向きに寝ているご利用者様の背中を押し出した瞬間、右腰に痛みが走った。当日は応急処置で湿布をして勤務をした自宅に帰り就寝し、朝起き上がろうとしたが身動きが取れなくなった。	46	10～ 29
9	16～ 17	業務終了後、帰宅しようと当社施設敷地内の外階段を急いで降りようとしている際、右足をひねり負傷した。	58	30～ 49
	19～	特別養護老人ホーム1階の利用者居室内において、体位交換業務を行っていた。夜の就寝時、利用者を右側臥位から左側臥位に換えるためベッド横から利用者の		100

9	20	体を手前に起こしたところ、踏ん張っていた左足ふくらはぎに痛みがはしった。手すり等がないと歩行困難であったため、病院を受診したところ、左足ふくらはぎの肉離れと診断された。	47	～ 299
9	14～ 15	トイレ介助作業中、利用者の方に手摺を掴んでもらい、利用者を立たせた状態で介助をしていた際、利用者が下がったため両手で利用者の臀部を支えて押し上げた時に、右手首に痛みが走った。	47	～ 499
9	8～9	お客様宅にて訪問介護中、排泄介助のため、お客様の隣に座った状態（正座）からリハビリパンツ等を準備するため、片膝をついて立ち上がろうとしたところ、急に腰部右側に激痛が走り、起立困難となった。	46	10～ 29
9	23～ 24	当ホーム内にて、入所者のトイレ介助終了後、再度入床しようとベットまで歩かれたが、ふらつかれた為入所者の右側から支えようとした際に、右足の親指の付け根を痛め負傷したものである。	52	10～ 29
9	10～ 11	お風呂場で、利用者が入浴時イスに深く座らせるため、上半身を持ち上げた時に骨折したものである。	69	100 ～ 299
9	11～ 12	当施設内共同トイレにおいて、トイレ介助中、利用者様を支え移乗しようとした際、腰を捻り被災したものである。	50	50～ 99
9	13～ 14	ショートステイ利用者をトイレ介助中、立位不安定であったため、利用者の臀部に介助者がひざを当てて、中腰状態になっている際、腰に痛みが発生する。	36	300 ～ 499
9	7～8	ヘルパーが居室へ訪室すると、ご入居者様がベッドの下に頭部が入るような形で転倒していた。他職員を応援に呼び、ヘルパーがベッドを持ち上げ、他職員がご入居者様を救出する。その後、ヘルパーより腰に違和感があると訴えがあったものである。	65	100 ～ 299
9	11～ 12	訪問先の有料老人ホーム内で、利用者様の排泄介助ケア（便汚染した上着を更衣）中に突然利用者様が手を振り回し暴れる、その際に、顔をひっかき、それによけるときのけぞった、腰に激痛が走り、湿布、コルセットをし痛み止めを服	41	100 ～ 299

		用した。		
9	11～ 12	作業済みの荷物を車両へ積み込む作業を行っていた際、腰部に強い痛みを感じ歩行困難な状態に、夏頃から腰部に痛み、足の痺れなど違和感があり、病院への通院を行っていたが、症状が進み入院となる。	51	30～ 49
9	13～ 14	車から電動ベッドを下ろす際、電動ベッドを持って腰をひねった時、腰を痛めてしまった。	43	30～ 49
9	14～ 15	利用者様居室で入浴介助のため全介助が必要な寝たきりの利用者様をベットからシャワーチェアに移乗させていた時、軽く左脚付近に痛みを感じた、そのまま介助を続けたが終わってから激痛となり受診したところ、股関節の捻挫だった。	62	10～ 29
9	10～ 11	利用者宅において、ベットで臥床している寝たきりの利用者の訪問看護のケア中にあやまって、ベット柵に左肋骨を強打した。	44	1～9
9	11～ 12	介護現場（フロア・共同トイレ）で、入居者が排泄を終えられ便座より車イスに移乗してもらおうと、入居者（自分で立てない）を立たせる為に対面になって支えようとした際、腰に負担がかかり動けなくなってしまった。（入居者は認知があり自身で立てず体重も労働者にかかりやすい）	36	100 ～ 299
9	7～8	施設内2階の大型洗濯機庫内に入所者の汚染した大布団を大たらいの中で予洗したものを、大たらいごと床から持ち上げて膝に乗せて、ひざの反動を使って入れた時、腰に負担がかかった。	48	30～ 49
9	12～ 13	施設内の4Fフロアで、利用者様が昼食を終えてテーブル席から立ちあがり、前のめりになりながら歩いてきたので、転倒予防のため利用者様を下からすくい上げるようなかたちで支えているとき、腰部に激痛が生じた。	44	50～ 99
9	18～ 19	夕食介助時、車椅子の利用者に、姿勢を正してほしいと頼まれ、腰の部分から持ち上げた際、右上腕部に痛みと違和感が発生した。	38	50～ 99
9	12～ 13	デイケア棟にてベットで横になっていた利用者を起こして車椅子へ移乗する際に、利用者の後ろから腰を支えて力を入れた時に、右手首をひねり負傷したものの。	53	50～ 99
	13～	生活介護事業所において、利用者に対し指導を行っている内職活動（箸入れ）で		50～

9	14	完成した商品（約30kg）を業者へ引き渡す際、横回転やスライドして移動させようとしたところ、左肩を負傷した。	37	99
9	8～9	利用者宅で認知症状があり自立歩行・立ち上がり不能の男性被介護者がベッドから床に転落して倒れこんでいたのでベッドにもどそうと体をかかえ上げた時、抵抗され支え直そうとした時、背中がブキッと音がして激痛が走った。	62	10～ 29
9	10～ 11	生活介護事業所活動室にて、休憩中の重度障害のある男性利用者の方を床に座った状態からソファーに移そうとし、正面から両脇に腕を差し入れ利用者の身体を持ち上げたところ、腰部にビリッと激痛がはしり、そのまま動けなくなる。	28	10～ 29
9	16～ 17	利用者宅にて正座で訪問介護の担当者に電話が鳴ったため慌てて立とうとした際、足が痺れて下肢に力が入らず転んでしまった。ポキッと鈍い音がしたが、そのまま援助を行った、援助後、右足がパンパンに腫れ上がり我慢できないほど痛みが強くなった。	34	1～9
9	10～ 11	当日は運動会の予行日であり、道具の出し入れの都合でホール出入口のスロープを外しており、20～25cm程度の段差ができていた。使用後の道具を片付けようと大きい道具（軽量）を一人で運んでいた所、足元が見えなかったため、その段差を踏み外してしまい左足首を捻挫した。	40	10～ 29
9	9～ 10	浴室にて、介助が必要な利用者を車イスから寝浴用の寝台へ移乗するさい、腰と背中に激痛がはしり動けなくなる。	31	100 ～ 299
9	7～8	朝食介助後、男性利用者を手引きで居室まで介助していたところ、ご利用者様が急に大声を出し暴れた、腕を振り切られ、体を押された際廊下壁に左肩を打ちつけ転倒した。	45	—
9	9～ 10	施設内のトイレにおいて、介護が必要な高齢者を車イスからトイレに移乗（支えて座りかえる動作）の介助をしようとしたところ、腰痛が発生した。	38	30～ 49
9	11～ 12	浴室で入浴介助中で利用者の移動を行う為、抱えようとして腰を痛めた（ギックリ腰）。	39	100 ～ 299

9	11～ 12	ユニット浴室前で使用済みオムツパットの回収時、オムツパットの入った袋を持ち上げた際、回収カートに袋が当たりカートが動いた、その際右足でカートを制止した為、右足首を捻り捻挫に至った。	65	50～ 99
9	20～ 21	夜間勤務中に、居室にて入居者様を車イスからベッドへ移乗介助を行っていた、片マヒである男性入居者様を車イスから抱え上げようと力を入れた際に痛みが走ったとの事、被災者は服薬の影響で骨が強くない事や男性入居者様も片マヒであり体格も大きく身体を持ち上げるのに大きな力が必要な事もあり、今回のケガに繋がった。	61	10～ 29
9	11～ 12	トイレにて、職員が2人介助にて入所者の排泄介助を行った際、職員が入所者の両脇の下に手を入れ抱え上げたところ、腰部に激しい痛みを感じうずくまってしまふ、1人で動くことが困難なため、車いす使用し整形外科を受診する。	31	100 ～ 299
9	14～ 15	介護老人保健施設内1階にて、通所リハビリテーションのレクリエーションとして運動会に行ったが、職員参加競技のなわとびを行った際に体勢を崩して、左足首を負傷した。	35	50～ 99
9	13～ 14	事業所内浴室にて立位困難な利用者をイスに座らせた状態で洗身介助していた際、臀部及びその周辺を洗うため、被災労働者（身長166cm）が利用者（身長145cm、体重45kg）の両脇に手を入れ、洗いイスから抱え上げ、もう一人の職員が利用者の後ろに回り洗身しようとしたところ、被災労働者と利用者以身長差があった為、通常より腰を深く曲げて抱え上げたため腰への負担がかかり、抱えた際に腰がグキッと負傷した。	37	10～ 29
9	2～3	夜勤業務中、おむつ交換時、入所者男性（要介護4・身長165cm・体重47.1kg）を体交させる時に右背部に違和感を感じた、早朝共同トイレにて入所者男性（要介護4・身長160cm・体重61.75kg）の排泄介助をし、ズボンを上げた時に右背部に激痛を感じ、動けなくなった、夜間看護師が近くにいた為、介助してもらい車椅子に座り、併設病院を受診した。	23	50～ 99
10	11～ 12	1Fフロアにて居室より移動し車イスからソファに誘導中、ご利用者様の体が急に下がりそうになり、ご利用者様の両腕が肩にまわった体勢で支え、背骨を傷めた。	52	30～ 49

10	11～ 12	1Fフロアにて居室より移動し車イスからソファに誘導中、ご利用者様の体が急に下がりそうになり、ご利用者様の両腕が肩にまわった体勢で支え、背骨を傷めた。	52	100 ～ 299
10	15～ 16	利用者宅の浴室掃除中、床の掃除をしている時に、バランスを崩し転倒しないよう踏ん張ったため、右膝と腰を負傷。	36	30～ 49
10	15～ 16	デイサービス利用後、利用者を自宅へ送る際、玄関前のスロープを車いすの後方から押し上げながら登る際、段差があるため車いすを2回持ち上げたところ、左臀部に痛みを覚えた。当日夕方頃から左太ももから足先への痛みも生じ、夜間には痛みが増大した。	41	30～ 49
10	7～8	厨房で（腰の高さ）下の方の電磁調理器に置いてあったおかゆの入っている大きい釜を持ち上げようとしたところ、腰に痛みが走って、そのまま痛みが治まらなかった。	46	300 ～ 499
10	11～ 12	浴室で利用者様の入浴介助中、利用者様の身体の位置をずらす際に足が滑り、右胸部に負荷がかかり、負傷した。	39	10～ 29
10	10～ 11	デイホールにおいて、利用者が車椅子からズレ落ちそうになったので押し上げようとしたところ、腰を痛めてしまったもの。	65	30～ 49
10	13～ 14	「福」ユニット3号室にて入居者のトイレ介助時、トイレが終わり衣服を直している時に、立たれている入居者が脱力してしまい、体を支えた際、体をひねってしまい腰を痛めた。	40	50～ 99
10	12～ 13	居室にて利用者をベッドから車イスへ移乗する際、バランスを崩し右足を捻った。応急処置として患部に薬を塗り、湿布を塗布し帰宅する。第5趾中足骨骨折となった。	21	30～ 49
10	10～ 11	老人ホームにてご利用者様への機能訓練業務を行っていた。リハビリ訓練台へ寝かせる際に体勢を崩しかけたご利用者様を支えたところ、左殿部から左大腿部に掛けて痛みが発生した。	46	50～ 99
	19～	夕食後、入居者（男性）をベッドに寝かせるために、居室に連れて行き、車いすをベッドに横付けし、車いすの左側アームを外し、入居者をベッド柵につかまら		30～

10	20	せ、車いすの後方から右足をベットにかけ、入居者をベッドに腰かけさせようと、入居者の腰部を持ち上げた際、腰に痛みを感じ、そのまま痛みが引かなかった。	50	49
10	9～ 10	会社の駐車場にて事故の所有する自家用車が側溝へ脱輪したため、同僚4人と手で車を持ち上げた際、腰椎へ負担がかかり骨折した。	63	30～ 49
10	20～ 21	施設内にある事務所階段付近にて、もう一人の介助者と利用者様の移乗介助を行っている際に、バランスが崩れ、足を捻ってしまったもの。	38	50～ 99
10	14～ 15	ホームの入所者が車いすごと倒れていたもので、足に力を入れ踏ん張り、車いすを起こそうとしたときに、右膝、腰を捻挫した。	72	1～9
10	10～ 11	ご利用様をベッドから車イスへ移乗介助した際、左足に激痛を感じたため受診した結果、肉離れとなる。	44	50～ 99
10	9～ 10	ご入居様の居室内トイレにて排泄介助中、ご入居者の排泄後、L字型手すりのポールを握って立って頂いた。右手で腰を支え、左手で臀部を清拭タオルで拭いた際、突然腰に強い痛みが生じた。トイレ内には車椅子も便座に横付けしており、動きは制限される。	37	10～ 29
10	11～ 12	2階実習室2で介護の仕事をしている時に、両下肢機能障害（歩行は不安定であるが可能）のある体重66キロの利用者を立たせようと、自分の左腕を上体にまわし、右手で左腕をつかみ立ち上がろうとした際、腰を捻挫した。	33	300 ～ 499
10	8～9	移動中の階段で、2人体制で車椅子の利用者の昇降を行うため後ろ向きで階段を下りている時いつもと同じようにしていたつもりだったがいつもより、過度に右足に負担がかかってしまい、骨折した。	49	30～ 49
10	9～ 10	利用者宅で、ポータブルトイレ横の椅子に手をつき半分しゃがみこんだ姿勢の利用者を後ろからかかえ立たせようとしたところ、背骨がポキッという音がして腰に痛みを感じた。	73	50～ 99
10	10～ 11	広場にて、園児と追いかけてっこをしている最中、公園に置いてあった遊具（丸太）をジャンプして飛び越え着地した際、左足を捻ってしまった。	46	10～ 29
10	18～	利用者様居室にて、利用者様の移乗介助中に右手首を痛めた。その夜から湿布に	25	50～

	19	て対応するが、次の日も痛みが残った。		99
10	11～ 12	運動会の保護者競技（大縄跳び）に先生チームとして参加した時、縄を跳んだ瞬間に足に痛みが走った。	47	30～ 49
10	16～ 17	訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。	36	30～ 49
10	10～ 11	入浴介助中、入居者の立位介助を行った際、腰部と左下肢を痛める。	50	30～ 49
10	15～ 16	体重のある利用者を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	50～ 99
10	15～ 16	当社が運営する有料老人ホームの車椅子用トイレにて入居者のトイレ介助中に発生。手すりにつかまって立ってもらう体勢時に突然、入居者の膝折れが生じ、当該労働者の首と肩に全体重が伸しかかった。その際、首と肩を痛めた。深夜になってから痛みがひどくなった。	23	30～ 49
10	14～ 15	お客様宅で掃除機をかけていた最中、床に落ちていた物を拾おうとした際に、腰に痛みが出て、動けなくなった。	52	300 ～ 499
10	8～9	トイレにてご利用者の排泄介助を職員2人で行っていた。ひとりが前方より立位を支える介助を行い、被災者が後方よりご利用者の臀部を持ち上げトイレの便座に座っていただく介助を行っていた。その際腰に強い痛みが生じた。	34	100 ～ 299
10	9～ 10	介護保険訪問介護サービス利用者宅でトイレの排泄介助の際、手すりに掴まってもらい陰部清拭をしようとしたところ、利用者さんの手が手すりから外れ座りこんでしまった。体重が58kgで力の入らない利用者を持ち上げようとした際に、腰に痛みが走った。ぎっくり腰だろうと思い、安静にしながら痛みを感じながらも腰に負担がかからないよう仕事を続けてみたが、一向に痛みが治まらず逆に痛みが酷くなってきたので、受診をしたら腰椎圧迫骨折の診断を受けた。	70	—
	18～	利用者の自宅にて、立位が不安定で体格のよい利用者をベッドへ移乗している際		

10	19	に、ベッドの方へ行くと思いきや後方にいる介助者の方へ急に倒れてきたため、あわてて支えた際に腰と背中を負傷。	27	1～9
10	11～ 12	施設浴室内で利用者さんの入浴介助後に、デッキブラシを使用して、中腰姿勢で清掃を行っていた。その後に腰を伸ばした時に負担がかかったのか、電気が走った様になり、痛みが出現した。	44	50～ 99
10	13～ 14	当社営業所デイサービス施設内で意識不明で横たわっている利用者を救急搬送のため、2名対応で利用者を持ち上げ足の方を抱えて畳の部屋から45cm程の段差を下りて床に左足をつきストレッチャーに移乗しようとしたときに、左足の付け根から足先にかけて違和感を感じ、ストレッチャーを押しながら移動する際に足の痛みが増してきた。その日の夜にはさらに痛みが強くなり、翌朝左足の付け根が腫れてきた。	51	30～ 49
10	2～3	当社の介護施設「介護付有料老人ホーム」の施設内にて夜勤勤務中、認知症の利用者の排泄介助のため、ベットから起居介助を行うとき、いつもは軽介助で立ち上がり可能であったが、体調不良のためか立ち上がり困難だったため、ベット柵の近くまで全介助で移動介助を行った際に、腰に急激な負担が生じ、腰痛となった。	42	10～ 29
10	10～ 11	福祉センター特殊浴室において、デイサービス利用者の入浴介助中、個別浴槽から出る利用者の脇に手を差し入れ、職員2人で引き上げた際、右手首に違和感を感じた。その後右手首の腫れ痛みが出てきた。	55	10～ 29
10	18～ 19	利用者の居室で、利用者を車イスからベッドに移し、臥所した後、利用者の身体がベッドの左に寄っていたため、真ん中に移動しようと、利用者の両骨盤を持ち上げて左からベッドの中央に移そうとした時、急に腰に激しい痛みが生じ腰が抜けたようになり、足にも力が入らなくなって動けなくなってしまった。	43	50～ 99
10	18～ 19	警察署に保護されていたご利用者様を迎えに行った時に、警察官から身柄を引き継ぎした際に、ご利用者様から攻撃された。攻撃から身を守るための防御行動とひっかかれた時の対応で、首から腰に掛けて、捻挫の様な痛みと、怪我をした。	56	10～ 29
10	10～	勤務中（介護業務）、腰に強い痛みを感じ、業務での利用者の介助はもとより階段の昇り降りや歩行にも支障をきたすようになった。腰にしびれを感じようにも	42	50～

	11	なった。		99
10	14～ 15	3階にて利用者さんへのサービス提供中に体勢を崩し、右足に激痛が走った。	46	30～ 49
10	10～ 11	居室内にて入居者様を車椅子からベッドに移乗時、入所者様の腰部をもち、左から右側のベッドに移乗しようとした際に腰をひねり、第3腰椎を圧迫骨折した。	60	50～ 99
10	16～ 17	利用者自宅に於いて利用者を車椅子からベッドへと移乗させた。端座位になり、頭をヘルパーの腕で支え、体幹を安定させて上着を脱いでもらおうと肩に手をおいた時、突然後方にそっくり返った。咄嗟に怪我をさせてはいけないと利用者を受け止め様と思ったがバランスを崩しベッドの横にあったサイドテーブルに右手をついた。ねじるようにつき、骨折した。	76	100 ～ 299
10	16～ 17	特別養護老人ホームで2階男性において、男性入居者の排泄介助（オムツ交換）をベッドの高さを調整せず、低いままのベッド上でおこなっていた際、前傾姿勢を保持中に腰部から臀部にかけて激しい痛みを感じた。	34	50～ 99
10	11～ 12	年中行事の「利用者のための運動会」に支援員として参加する。職員参加の借り物競走に被災者が加わり、利用者さんと一緒に走った。2人一組で、互いに布に巻かれた角材を両手に持ち、2人が向き合う体勢で、互いの角材でボールを挟み込み、ボールを落とさないように往復15m程の目的地点まで運ぶ競争だった。当日も翌日も特に痛みは感じず、少し肩こりを感じた程度で、大したことないと思ったのに、徐々に痛み出し今までにない痛みが治まらなくなった。病院で診てもらったところ、第五胸椎圧迫骨折と診断された。	76	100 ～ 299
10	12～ 13	施設内の食堂から車イスの利用者を居室に送り届け、ベッドに寝かし、頭部を枕の位置まで移動させた後、帰ろうと身体の向きを変えた途端に腰に激痛を感じ動けなくなった。	49	30～ 49
10	13～ 14	介護施設4階浴室にて入浴介助中の申請者が利用者（女性87才、要介護2）の左足の指を洗うため中腰になって右手を伸ばす姿勢になった時、右ヒザを痛めた。	47	50～ 99
	12～	特別養護老人ホーム4階のサロンで昼食の食事介助後、女性入居者の方をトイレ誘導しようと車イスに移乗させたが、いやがり、あばれた。その際、床に落ちそ		30～

10	13	うになったのでそれを支えようとした時、腰椎に激しい痛みが走り動けなくなった。	41	49
10	0～1	老人ホームの2F214号室の入居者様の部屋にて、ベッドに臥床している入居者様に膝の裏を搔いてほしいと頼まれ、搔こうと腰を曲げた時、突然痛みが走り立なくなった。半年前より腰に違和感があった。	18	50～ 99
10	13～ 14	トイレ介助時に、利用者の後ろ側に屈んだ状態でオムツを上げようとした時に利用者がふらつき、それを支えるために踏ん張って身体を後ろ側に反らせたところ、腰に負担がかかり腰を負傷する。	46	100 ～ 299
10	9～ 10	利用者様の訪問入浴で自室に浴槽を設置していた際、ベット上にいた利用者様が突然床に下り、浴槽越しから指を掴んできた。掴まれた手を解こうとすると、掴んだまま暴れたため反対側へ捻った。（以前から暴れることがあり、神経内科主治医から薬を処方されている。握力が強く、掴むことが多々あるので、サービス前に薬を服用してもらっていたが効いていなかった様子。）	46	30～ 49
10	15～ 16	デイサービス利用者トイレにて利用者の排泄介助中、座位のため、利用者正面より中腰状態で抱きかかえた時に激痛が起きる。その後、同フロアー内のデイサービス室まで誘導し、確認職員に現状を報告する。休憩後、痛み止めを服用し勤務を行う。	62	100 ～ 299
10	15～ 16	利用者様宅玄関前の階段で、車イスに乗った利用者様を2人で運ぶために上っていたとき（下部を支えていた）不安定な状態で腰に負担がかかり第4腰椎を圧迫骨折した。	60	10～ 29
10	15～ 16	利用者と散歩に行こうと思い手を繋いで施設内の階段を2階から1階へ下りる途中、右膝がグキッとなった。一瞬動けなくなったが問題なさそうだったので様子を見ることにした。その日の夜にだんだんと痛みがまし、膝を曲げたままの状態では動けなくなった。膝を伸ばそうとすると激痛が走った。	57	10～ 29
10	11～ 12	外遊びを終えた幼児を屋内へ移動させる際、屋外足洗い場において児を抱え上げて移動させようとしたところ、腰に激痛が走り動けなくなった。	44	1～9
		事務所内にて、床に置かれたホワイトボードにしゃがんだ状態で記入中、後方に		

10	17～ 18	ある電話が鳴ったため、電話に出ようと立ちあがり方向を変えたときに右膝を捻った。	26	10～ 29
10	10～ 11	介護施設内にて利用者を車椅子からトイレへ移乗する介助中に発生。利用者は介助度が高く、移乗する際は被災者を含め2人で介助していた。被災者はトイレ介助をしようと、車椅子からトイレの便器に座らせるため、利用者を立たせ、被災者は中腰になりズボンと紙おむつをひざ下まで降ろし、中腰のまま利用者を正面に向かせようとしたところ、腰を右方向に強く捻ってしまった。	59	50～ 99
10	20～ 21	ホーム内にて利用者さんのオムツの交換をする時、上体を少し上げようと引き上げた時、利用者さんがベットの柵を持ち踏ん張られたため、その際に腰を痛めた。	24	100 ～ 299
10	12～ 13	1階デイサービスの身障者用トイレにて、利用者（77才女性、要介護4、右半麻ひ、立位に関して動作協力あるが緊張拘束あり）のトイレ介助のため、前方から利用者の両脇に手を入れ車椅子から便座へ移乗する際、便座に浅く座り前のめりになり落ちそうになった。咄嗟に支え、両脇を抱え座りなおそうとしたが、利用者は左手でL字バーを強く握っており、持ち上げた際、右肩・上腕あたりで「ピチッ」と音がし、激痛が走った。	55	100 ～ 299
10	14～ 15	体育館で利用者の方と一緒にソフトバレーボールをしていて、ボールをとろうとした際に右足をくじいた。検査したところ右アキレス腱が断裂しており、手術を行った。	51	10～ 29
10	8～9	当施設において利用者の居室でオムツ交換のため車椅子からベッドへの移乗時に、被災者は利用者の脇に両腕を差し込み、抱えて移乗させようとした。その際、突然利用者が車椅子を左手で掴んだためバランスを崩し、利用者を落としそうになったため右足に力がかかり右膝を負傷した。	41	30～ 49
10	14～ 15	キャンプ場にて、利用者さんに向けてレクリエーションを行っている時にガッツポーズをした際、左足首に痛みを感じてうずくまった。左アキレス腱が断裂していた。	38	10～ 29
10	16～	事業所で入居者を車イスからベットへ移乗させようとした際、腰を捻り骨折し	53	30～

	17	た。		49
10	12～ 13	利用者の自宅で利用者のベッドをキャッチアップで45度位起こし、両足をベッドからおろし、利用者の上半身を起こした。そして、ベッドの端に浅めに座ってもらい被災労働者が利用者の両脇から腕を通し利用者の背中に手を回して腰を低くし、前傾姿勢で抱えた時に、痛みが生じた。	70	1～9
10	13～ 14	施設玄関から、駐車場への段差において、倉庫に置いてあるチャイルドシートを取りに行こうとして、前向きに降りたところ、段差の高さが16.5cmあり、着地した左足首に意識していなかったため負担がかかってしまい、左足首を痛めた。	48	10～ 29
10	9～ 10	1才児の保育室の右側付近で、1才児12人に3人の職員でおやつを食べさせていた。おやつ終了後に担当する1才の園児が機嫌が悪くなり激しく泣くため落ちつかせようと抱き上げた。3～4分程抱いたまま、室内を歩き回ると落ちついて泣きやんだため保育室の左側の畳の上に中腰の状態でおろそうとしたところ、腰の骨がずれたような感覚があり痛みが出た。	25	10～ 29
10	15～ 16	帰りの送迎のため、利用者様を車内へ誘導し、中腰姿勢にて、利用者様を座席へ安全に座わらせた後、次の利用者様が車内へ乗り込んで来たために、十分な誘導スペースが無く、中腰姿勢のまま振り返り、利用者様を安全に誘導しようとした際に、腰からお尻にかけて痛みがはしたが、その後そのまま送迎業務を行う。	39	50～ 99
10	16～ 17	リハビリ介助中に首の痛み手足の痺れが出現し始めたが症状が治まったためしばらく様子を見ていたが、リハビリ介助を終えパソコン入力中にまた同じような症状になり頭痛が酷くあったので血圧を測ると165/110あり、後日再度同じ症状があらわれ、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニアと診断。	43	100 ～ 299
11	10～ 11	1歳児の保育室で数名の子どもを保育していた（4、5名）、A児がソファで休息していた所にB児がソファに向かい座ろうとした際、場所の取り合いになりB児がA児の体の上に乗るかろうとするのを止めようと、正座の姿勢からB児を抱えようとした為バランスを崩し、左脚を捻ったことで左脚外側が痛み、膝の曲げ伸ばしが出来なくなり受診した。	27	10～ 29
11	8～9	日勤業務にてユニット内利用者居室前にいたところ、他のスタッフから手伝ってほしいとの依頼があり、他の利用者の居室に向かおうとしていたところ、左足が	33	30～

		滑ってしまったことで、左膝が内側に急激に曲がってしまい、左膝を負傷した。		49
11	9～ 10	事業所内で、利用者さんの飲み終わった湯呑みを下げようと台所に運ぶ際に右足首を捻った。そのまま、業務を続けたが、当日午後から痛みがひどくなった。翌日（日）の業務は右足を引きずっていたが休診のため、その翌日（月）に受診となった。受診後、右足首捻挫の診断で、じん帯も切れており装具の使用指示あり、2週間ごとの受診で改善せず、後日にMRIを実施し、右距踵関節骨挫傷で2週間の診断書が出て、休業に入る。	54	10～ 29
11	9～ 10	デイサービスの利用者様宅へ社用車で向かう途中にて、前日の雪の影響でぬかるんでいた道路にタイヤがはまり、被災者一人で3分程前屈みの状態で押し出そうとしていた際、腰に痛みが出た。タイヤがはまった場所は農道で、被災者は運転席側のドアを開けた状態で自動車の外からハンドルと車体を押して、車を押し出そうとした。	31	50～ 99
11	19～ 20	介護施設内において、利用者を車椅子からベッドに移動する為、相手を抱えて持ち上げ、移動する時に強い痛みが腰に発生した。	58	10～ 29
11	9～ 10	戸外において、3～5歳児の戸外遊びの保育従事中に危険箇所（犬走りの段差）に上がった児童を注意しようと、身体の向きを変えようとした際に、バランスを崩し、左足首を捻ってしまったものである。	62	10～ 29
11	10～ 11	職員が浴室で入浴介助業務を行っていた。利用者の体を洗おうと少し屈んだ際に腰に少し違和感を感じたので気を付けていたが、大浴槽から屈んで洗面器でお湯を汲もうとした際に、腰に激痛がはしり動けない状態になった。	33	10～ 29
11	15～ 16	当社、廃棄物等選別場にて廃棄物運搬車のコンテナから廃材を降ろす作業中、コンテナの扉を開けた時に廃材が荷崩れを起こし、その中の角材が落下し左の足首付近に当たり負傷してしまった。	45	50～ 99
11	19～ 20	客先で荷を降ろそうと荷台に乗り、作業を開始しようとした際、足を滑らせてしまい、被災者の不注意により、荷台から転落し、腰、背中、首を打撲し負傷した。	60	50～ 99
		外注先で、4tトラックの荷台で荷卸し中に、荷締めフックから手が外れて荷台		

11	11～ 12	から床に尻より落下した。更に機械工場のピットの中に落ち、機械に右側の頭を当て、頭の右先端を裂傷（3cm）し、5針縫う。又、手の指先（両手）に痺れがある。話は正常に出来る。	37	100 ～ 299
11	16～ 17	廊下を移動中に、一部が濡れているのに気付かず、足を滑らせてしまい、右足から臀部にかけて床に打ち付けてしまった。	50	10～ 29
11	9～ 10	豚肉の加工場内での作業中、豚肉を押して整えようとして手を下に伸ばした時に右肩甲骨の下の方に鋭い痛みがあった。その後もかばいながら仕事をしていたが、その後、腕が上がらなくなった。	65	10～ 29
11	17～ 18	キッチンの洗い場で、後片付けの為に冷板を拭いていたところ、洗い場のカゴの中にペティナイフがある事に気付かず、タオルがナイフに引っ掛かりナイフの刃が上を向いてしまい、そのまま右手親指下の所を刺してしまった。	55	50～ 99
11	19～ 20	特別養護老人ホーム施設内で利用者を車椅子からベッドへと移乗しようとした際に、利用者の男性の体重が重くしかも片麻痺による傾きと拘縮が強く更に排便した状態であったため不安定な姿勢での移乗をせざるを得ず、移乗を行った時に激しく腰を痛めた。なんとか身動きがとれたため職務を続け夜勤を終えた後に受診した。	32	100 ～ 299
11	14～ 15	特養のトイレにて、入居者の排泄介助中、車椅子の側方から前傾姿勢になり左腕で腰部、右腕で臀部を支え持ち上げ、立位してもらった際に、入居者が膝折れたためそれを支えようとしたところ、負荷がかかり右肩甲骨に激痛、その後右腕全体に痺れと鈍痛の症状が出た。	58	100 ～ 299
11	10～ 11	ホールで1才児クラスの子ども達とリズム遊び（トンボ）をしている時に、リズムに合わせ走ったり、止まったりしていた時にコーナーを曲がったところ右膝が「ボキッ」と音を立て、痛みが走り足が動かせなくなる。	61	30～ 49
11	13～ 14	胃ろうの方をリビングからお部屋に移乗し、車椅子からベッドへ移乗の際にフットレスが開かず、足先が引っ掛かり、一度抱えてベッドにのせる時に腰を捻り、「ギクッ」と音がした。その夜から鈍痛があり、その後歩き出せなくなる。（身長160cm、60kgの女性の対応）	52	50～ 99

11	11～ 12	ご入居者様の居室で、ベッドより車椅子へ移乗のため、ご入居者様を抱えたところ、自身の体勢とタイミングが合わず、背中からコキッと音がした。そのまま動くことは出来たが、帰宅後痛みが出てきたが、我慢をして生活していたが、痛みもあったので、病院を受診し、骨折と診断された。	51	50～ 99
11	19～ 20	当法人施設内2F入居者居室において、入居者（女性、体重約40kg、認知症あり、全介助）の介護業務に従事中、当該入居者を車椅子からベッドに移乗させようとしたところ、不慣れであった為バランスを崩してしまい、転倒しないよう踏ん張った際、右足の膝に負荷が集中してしまい、筋を負傷した。	58	50～ 99
11	14～ 15	睡眠して子供がうつ伏せで寝ていたもので、仰向けにしようと中腰になっていたらビリビリと感じた。今度はおやつの準備をしていて、又ビリビリして動けなくなった。約1時間くらい動けなくなり座っていた。	25	10～ 29
11	14～ 15	放課後等デイサービスで子どもの相手をしている時に、フロアにおいて、泣き出して外に出ようとドアから離れない子ども（靴を脱いで中に入れない子ども）を、ドアの通行が出来るよう、又、子どもが場所を移動して落ち着けるよう、子どもを抱き上げ、移動した。その際、姿勢を崩してしまい、腰に大きな負担がかかり、歩行も困難なほどの持続的腰痛が発生するに至った。	50	1～9
11	17～ 18	車椅子のお客様Aが、棚から荷物を降ろすためにフロアに背を向けて立っていたお客様Bのいる方向へ速いスピードで自走していた。二人の接触を防ぐために駆け寄り、まず両腕でAの車椅子を持ちブレーキをかけて、その後、右腕を二人の間にに入れて人がいると分かるようにBの頭から背中辺りを軽く触れた。左腕は車椅子を持ったままにしていた。この時に身体に強い力が加わり負傷した。	58	30～ 49
11	9～ 10	入居者様居室にて、ベッドから車椅子へ移乗する際に入居者様の膝が曲がり、腰部を痛めてしまった。支える為、自分の膝をのばした。ご入居者様は左腕が欠損しており、左足麻痺である。	22	30～ 49
11	16～ 17	老人ホーム居室内、ベッド上の入所者のオムツ交換をしている時、前傾姿勢をとっていたら、背中からピキッと音がして激痛がした。痛みで座り込み動けなくなってしまった。オムツ交換作業は通常と変わらない動作で行っていた。	35	50～ 99
		訪問入浴介助サービスにおいて、入浴後の浴槽からベッドへ利用者の移乗介護を		

11	16～ 17	行う際に左肩に違和感を覚え、その後、翌朝になり、痛みを感じ、左腕を上げることが出来なくなったので医療機関に受診する。	28	10～ 29
11	11～ 12	ふるえがあり、腰椎が変形しているご利用者様を支えお風呂へ誘導中、何らかの拍子に体勢が崩れ2人共に前傾姿勢になってしまった為、ご利用者様に声かけをして体勢を整えようと後方から体を引き戻した際、介助者の左腰から足にかけて痛みがはしり同部位を負傷した。	34	10～ 29
11	11～ 12	居室トイレにて、入居者の排泄介助のためトイレ便座と車椅子との移乗介助中、トイレ内で狭いため、入居者が立位保持出来ずよろけ崩れ落ちそうになったのを左手で支えたところ、体重が左手のみにかかり左肩に激痛がはしった。	49	30～ 49
11	16～ 17	入浴時の脱衣介助時、入居者様に左腕を引っ張られ、肩を痛めた。翌日、就寝準備の為の更衣中、再度、左腕を引っ張られ、肩から背部を痛めた。その後、介助中、左肩をかばう為、背中腰の痛みが出現した。	27	10～ 29
11	9～ 10	2歳児保育室前の廊下から外に出たところで、子ども達が育てたミニ・キャロットの収穫を活動に取り入れ、記念に写真を撮っていた。（保育士A）視線が合わずに横を向いてしまう子どもがいたので、視線をカメラに向けようと急いで廊下から10cm程の出入口を降りようとした時に、膝に激痛を感じた。	54	10～ 29
11	13～ 14	居室内でベッド上の利用者（寝たきりで自力の起床は不可能）の排泄介助を行う為、仰向け状態の利用者を横寝状態にした。この際に不自然な体勢となり、背中と腰がつるような感覚とともに痛みが走った。	54	50～ 99
11	18～ 19	施設内での防災訓練時（水害時の対策として1Fから2Fへ利用者を避難させる訓練）、車椅子に乗った利用者（職員）を階段で1Fから2Fへ避難させる際、職員3名で車椅子を引き上げようと前かがみになったところ、「ボキッ」という音がして腰が痛くなり動けなくなった。	58	30～ 49
11	15～ 16	特浴室で利用者の入浴前後の着脱と移乗、60kg程の男性利用者をストレッチャーから車椅子へ移乗した際、両手を利用者の脇の下に入れ、ストレッチャーと車椅子の間に立ち、足を大きく広げていた時に腰を捻った。	24	50～ 99
	21～	利用者の居室で、車椅子からベッドに移動した時、ずり落ちそうになったので、		50～

11	22	持ち上げた時、腰に痛みを感じた。	61	99
11	10～ 11	利用者様の入浴介助を2人体制で行っていたところ、利用者様のズボンを上げる為、中腰で作業していた際に右の腰がグキッときた。少し前から腰が痛かった。 (1人で介助するのが大変な方だったため2人体制だった。)	20	1～9
11	14～ 15	入居者をソファからベッドに移乗する際に、向かい合って全介助を行ったが、入居者様の膝折れがあり、床に落ちそうであったため自分の両膝の間に入居者様の両膝を挟み介助した。その際に右膝を内側に捻って右膝内側を痛めた。	34	100 ～ 299
11	10～ 11	施設利用者（体重68kg）の介助作業中、リハビリマシンへ着座させたが、定位置ではなかったため、再度座り直しをさせようと、介助しながら右足を軸に外旋したところ、思った以上に負荷がかかり右股関節部内転筋を痛めたものである。	41	1～9
11	11～ 12	介護保険利用者宅の寝室で、訪問介護サービスをしている時に、利用者がベッドに座って足浴中に床に落ちてしまったので、寝転んでいる状態から助け起こそうとした時に腰に痛みが生じ圧迫骨折を負った。	75	30～ 49
11	11～ 12	利用者様の居室清掃で床にこびり付いた汚れを取る為に両手で雑巾がけをしていたところ、左手人差し指の先が床に引っ掛かり、「パキ」というような音がした。その時は突き指のような感じだった。後日病院へ行ったところ骨折と診断された。	56	10～ 29
11	12～ 13	利用者のトイレ介助、ベッド介助、風呂介助等を中腰の体勢でしていて風呂介助が終わった時、腰に痛みを感じたがそのまま作業を続けていた。帰宅後に左足に激痛が走り、後日病院へ診察に行き、その後腰椎間板ヘルニアと診断された。	39	30～ 49
11	10～ 11	病棟内で、保護室内入院患者を入浴後保護室に戻ってもらう際、当該患者が暴れた。制止した際にその患者が被災者の右足背に尻もちをついて倒れた。誘導はナース2名で対応していた。右足背には患者の坐骨がぶつかった。（当院は、精神科の病院である。）	41	300 ～ 499
11	8～9	入居者居室内にて、63歳男性（身長165cm、体重45.1kg）をベッドより起きて頂こうと入居者の肩下に手を入れ力を入れ、上体を起こそうとした際腰がギクッとなった。その後は仕事を続けるも左足に激痛があり歩くことも辛くなる。	61	100 ～ 299

11	8～9	入居者様の居室内で、床に座り込んでいる入居者様を後から抱え立ち上がり介助をした時、一人で介助したため、腰部に衝撃があり、めまいがし左耳が反響して聞こえた。	34	10～ 29
11	10～ 11	ご利用者（女性）が水分補給をする為、車椅子への移乗介助を行った際に腰に痛みが出た。当日はそのまま勤務を行い、翌日は自宅療養していたが、痛みがひどく、後日病院を受診した。	51	100 ～ 299
11	0～1	キッチンで食洗機内の食器を棚に片付けている時、背後から利用者に声を掛けられ立ち上がった時、膝を負傷した。	57	50～ 99
11	19～ 20	夕食後に利用者を居室誘導時、右側に車椅子を置き左側のベッドに移乗の際、左側に腰を捻った際に痛めた。	42	10～ 29
11	15～ 16	入居者の方の個室に訪問すると転倒していた。転倒された方の離床介助のため起こそうとするが相手方の体の強張りがあり、腰に痛みを感じた。次の日痛みがひどくなった。	40	100 ～ 299
11	14～ 15	機械浴室で、入浴終了後、車椅子に移乗しようと抱え上げた時、腰に電気が走ったような痛みを感じた。後、一日仕事をそのまま続け、帰路についた。翌日、夜勤の為、ゆっくり寝ていたが、起き上がるのもつらく、受診した。	26	50～ 99
11	11～ 12	訪問先施設内の入居者の居室にて、利用者をベッドから車椅子へ移乗した時に、車椅子の座面にずれ落ち防止の為に置いている三角クッションが落下した為に利用者がずれ落ちそうになり、抱え直し、持ち上げた際、急激に腰に力がかかり激痛が生じた。	53	30～ 49
11	13～ 14	布団に寝ていた利用者さんを介助者2名で移乗しようとして、足側を持って、利用者さんの体を抱え上げようとした時、腰に負担をかけてしまい負傷した。	43	30～ 49
11	6～7	当施設にて、男性利用者を起床介助中、利用者が左手を肩に掛けていて、本人は膝屈み状態であって、左手を右首から右肩へ、右手は左脇から上へ抱え起こす時に左腰を負傷したものである。	57	50～ 99
11	17～	フロアーを掃除中に、道具を取りに行こうとして、小走りした時に、右足をひねる。右足甲外側に痛みを感じ、様子を見ていたが、痛みが激しくなり、家族に付	39	30～

	18	き添ってもらって受診をする。廊下内約1.8mバリアフリー。廊下面も濡れてはいなかった。災害時、ナースシューズを履いていた。		49
11	14～ 15	被災者は、事業所内デイサービス脱衣所で、利用者の入浴介助業務に従事していた。利用者を風呂から上げ、長椅子に寝かせ衣服を着替えさせた後、同僚と二人（同僚が上半身・被災者が下半身を抱える）で、車椅子に移動させる際、座らせる瞬間腰部に負荷が掛かり激痛で動けなくなり負傷したものである。	55	10～ 29
11	9～ 10	訪問先で作業をしている間に腰が痛み受診後腰椎圧迫骨折と診断される。訪問先利用者は立位がとれない寝たきり状態で排泄、更衣、シーツ交換を行う作業。	70	50～ 99
11	6～7	居室にて起床介助中、トイレ誘導のため声をかけ、被災者は、起床すぐで歩行不安定なことを想定し体を支えようと手を添えようとした際、利用者に幻視があり、「フロアにお母さんがいる」と被災者の手を振り払おうと手を振り上げたため、被災者は後ろに下がり、その時足が滑り尻もちをついてしまった。	54	30～ 49
11	11～ 12	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅駐車場で準備作業中、排水のモーターを持ち上げ、右手を持ったまま台から下に降ろそうとした際に、手首が引っ張られた感じで違和感があり負傷した。その後痛みが出て来て病院へ受診した。（右手首炎症）	39	1～9
11	9～ 10	デイサービス利用者の朝の送迎時に、県営住宅の1階に住んでいる利用者が車椅子を利用しており、1階でも階段がある場所でそのままでは階段を下りることができないため、スロープを階段部分にかけ車椅子で下ろすためにスロープを利用者家族と2人で持ち上げた時に、腰と左肋を痛めた。スロープは縦3m、重さ24.4kgの鉄製の物を使用していた。	36	10～ 29
11	2～3	老人ホームの夜勤巡回中、車椅子常用の入居者が、ベッドからずり落ち、ベッドを背にした状態で床に座り込んでおり興奮状態だったため、急いで床からベッドの上まで移乗させようと試みた際、腰に痛みと違和感を感じた。このまま1人での移乗は難しいと思い2階職員へ応援要請を行い、2階の職員が入居者を抱きかかえる介助を行うと同時に受傷者が車椅子を差し込む介助を行い、この時は腰への負担はなかった。入居者は日勤帯は2人で介助対応する体格の良い人で、夜勤1人勤務の際は他階職員の応援要請をすべきところ、急いで対応しようと1人で試み	53	50～ 99

		たので腰への受傷となった。		
11	11～ 12	配食サービスの弁当を就労利用者と一緒に配達していた。その配達先のお宅から配達を終えて車に戻る時に、玄関先の段が2段あるのに気が付かず、躓いて足首を捻って負傷した。	34	30～ 49
11	10～ 11	施設内浴室で入浴介助の際、利用者様が浴槽で立位した時に浴槽の滑り止めマットがずれた事で、利用者様が転倒しそうになり、それを防ぐため、被災者が利用者様の体を支えたところ、重みに耐え切れず、被災者の左脇腹を浴槽の縁で強打した。	60	10～ 29
11	9～ 10	利用者様を車椅子からベッドへ移乗中に、腰を痛めてしまった。	58	100 ～ 299
11	17～ 18	厨房内にて、夕方の30分間、毎日、排水溝の掃除をするのが業務になっている。当日も、遅出者が排水溝の蓋を取り掃除をしていたところ、本人（日勤者）の不注意により蓋があいている排水溝の穴（横37cm×幅37cm×深さ45cm）に右足を入れてしまい、姿勢が崩れ倒れてしまった。毎日の業務になっているため、排水溝の中のカゴ網を取って掃除をしている時は蓋をあけたままにしているが、調理師全員がその状況は認識できている。本人（日勤者）は無意識のうちに排水溝近くを通ってしまい、足を踏み入れてしまった。	23	50～ 99
11	16～ 17	0才児の保育室で保育中、子どもを避けて進もうとした時に、バランスを崩し、右膝をドンと床についた直後、激痛がはしり歩行困難となった。	39	30～ 49
11	10～ 11	利用者を車椅子からベッドに移乗させるため、利用者の腰及び膝下に両腕を入れて抱きかかえた時、腰部の違和感を自覚した。介助後に激しい腰痛を感じたため、事業場内静養室にて安静を保ち経過観察を行うも症状は改善せず、臥床のまま動けず、救急搬送された。	28	10～ 29
11	10～ 11	短期入所利用者様を迎えに行き部屋より階段にスロープ板の準備を行い利用者様の乗車した車椅子を部屋から公用車への移動中、スロープを車椅子後進の状態で、後から支えながら下って踊り場まで降ろした車椅子を止める為に右足を一段下の階段に足を置き突っ張った際に「バキッ」と音がした。	58	30～ 49

11	8~9	利用者様が起きて来られず、様子見に訪室すると「車椅子に乗せて下さい」と言われた為、排泄処理後、同僚介護職員を呼び二人介助にて車椅子移乗を行う。移乗前、車椅子が患側側に置かれていたので、健側側に移動していいか本人に伺ってみるが、普段より自立移乗で馴染んでおり、「そこでいいです」と強い口調で主張された為、その位置での移乗となる。利用者様を抱き上げた際、健側側の手で柵を強く握り、声かけしても放そうとされず引き合いになった際に首をひねり、当日は帰宅しても何の痛みもなかったが、翌日、首から肩にかけ痛みがあり、翌々日には痛みが強くなり、病院を受診した。	58	10~ 29
12	14~15	介護老人保健施設内のデイケアの浴室で入浴介助を行っているときに、午前中から入浴業務を行っており、体重75kgの男性をかかえたりした際に腰に違和感があつたが業務を続け、午後も入浴介助を行った。狭い場所で利用者の靴下を履かせようと、利用者の足を持ち上げ、少し前かがみになった際に腰部に激痛が走り立てなくなった。	36	100 ~ 299
12	17~18	事業場と同一建物1階に所在する有料老人ホームで、ベッドで横たわる入居者の体位交換を行う際、入居者の体を両手で抱え上げようとしたところ、右肩に激痛が出現し、その後も痛みが持続した。	57	10~ 29
12	12~13	お昼寝の前に友達とケンカをして、部屋をとび出した園児を追いかけて、つかまえた時に方向転換され、滑って転び、手をつき転んだ。次の日から1週間休みだったので様子を見ていたが、痛み、腫れ、内出血がひかないため、後日に受診した。	56	30~ 49
12	19~20	ホールで排泄介助（オムツ替え）のため、車椅子に乗ったお客様をベッドまで移動させたが、ギャッジアップ（上げ下げ）できないベッドに無理に移乗させたため、その時の体勢で左足に負担がかかり、左足に痛みを感じた。	35	10~ 29
12	9~10	前日から当日の朝にかけ、血便があり、デイサービス朝の送迎後も腹痛があつたため、急いでお手洗いに向かったが、お手洗いの前で預かった利用者宅の鍵を持っていることに気付き、先に事務所に戻そうと向きを変えた時に左足に重心がかかりひねってしまった。	55	50~ 99

12	15~16	2階Aユニット12号室内トイレ前に於いて、利用者の後方に回りズボンを下す介助を行った後、腰を支えながら便座に座ってもらおうとした時、腰の中央部に激痛が走り、その姿勢のまま動けなくなった。	45	50～ 99
12	11~12	施設内居室および浴室にて利用者の入浴介助をしていた際、利用者を移乗させようと抱え上げた時に腰に痛みを感じた。その後、首や背中を曲げると痛みを感じるようになった。その日以降も痛みを感じながら勤務していたが、後日朝、起き上がろうとすると激痛がはしり、受診した。	20	10～ 29
12	7~8	当施設内にて離床介護時、50kg位の利用者をトランスにてベットから車イスへ移動する際、持ち上げたところ変に腰を捻った為、瞬間、違和感と痛みを感じ経過観察をしていたが我慢できなくなり病院に行き、第5腰椎分離すべり症と診断された。	44	30～ 49
12	13~14	特別養護老人ホーム2FBユニットにて、入居者を2人介助で車いすからベッドへ移動時、入所者後方より介助の際、左足に力がかかり痛みが出現した。	65	30～ 49
12	18~19	夕食の時間になったので、部屋で横になっている利用者の上体をかかえて起こし、車椅子に移乗したところ、腰が痛くなった。	32	50～ 99
12	14~15	利用者居室にて、利用者の脱衣介助中に、被災者の左手第2指が利用者の衣服に絡まった状態で、急に利用者が衣服を強く引っ張り、指に横方向に力が加わったため、第一関節付近を痛めた。	52	100 ～ 299
12	13~14	女性利用者の居宅にて入浴介助中に、上・下肢ともに不随である為、体を抱えて浴槽から浴室内のシャワーチェアへ移乗介助を行っているが、当日、抱えた後、転ばないように強く右足を踏ん張ったとき、右膝の外側に強い痛みを伴う怪我を負った。	44	1～9
12	9~10	2階から1階へ下りる階段で足を踏み外し、右足を踏んばった時に痛み、被災した。	39	300 ～ 499
12	16~17	車椅子に乗っていた利用者がずり落ちそうになっていたため姿勢を元に戻そうと、背後から手を回し引き上げようとしたところ、左胸・脇腹に激痛が走り、そ	63	10～ 29

		の日は我慢したが、翌日に痛みがひどくなり受診した。		
12	14~15	児童館の学童クラブ室で、児童に連絡帳を提出するように何度も催促した。しかし、それでも出そうとしないので、こちらでランドセルから出すことを声かけし、被災者が連絡帳を取り出そうとすると、それを制止しようと本児が向かってきた。向かってきた本児を止めようと右手を出したところ、偶発的に右手親指が本児の腕に引っ掛かってしまい、負傷した。	52	10~ 29
12	18~19	入居者の居室にて、入居者をリビングへ連れて行くために、ベッドから車椅子へ移乗しようとしたところ、利用者が突然のけぞったため、腰に負荷がかかり、激痛を感じた。直後は腰の痛みのため動けなくなってしまった。	53	50~ 99
12	10~11	ホーム室内で、経管栄養をする為、ベッド上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	50~ 99
12	10~11	入浴介助の際、利用者の衣服を脱がそうと脇の下を前からかかえて立たせたが、利用者の足が崩れ倒れそうになったので持ち上げて支えた。その時に腰に痛みが走った。他の職員が利用者のおしりを後から足で支え、なんとか介助した。	53	100 ~ 299
12	10~11	利用者宅においてヘルパーが通常出入りしている窓から外へ出ようとしたところ膝をひねって着地してしまった。利用者が車椅子利用の為玄関の施錠ができず、いつも居室の窓から出入りしており、高低差があるため注意して出入りしていた。整形外科受診の結果、右膝内側側副靱帯損傷、半月板断裂の可能性との診断を受けた。	42	30~ 49
12	14~15	事業場内の施設利用者の居室にて利用者が失禁したベットのマットカバーを洗濯し、乾いたのでマットカバーを付ける作業をしていた。マットが硬くてカバーがなかなか入らず、やっと入れることができたが、その後、背中中の痛みが続いていた。当初は大した事はないと思っていたが、あまりに痛みが続くので受診したところ、背骨の圧迫骨折と診断された。	72	30~ 49
12	7~8	特養施設の居室で、臥床中の利用者の離床介助に入った。利用者は、立位困難で半介助の為、利用者にベッドから起き上がってもらい前方より介助に入り、腰をかがめて利用者の体を支えたところ、右腰に異常を感じた。痛みが走ったが、そのまま業務を続けた。午後になり入浴介助等の業務をしていたが、痛みが増して	49	100 ~ 299

		きたので翌日受診したところ腰椎捻挫で全治3週間の診断を受けた。		
12	13~14	0歳児保育室にて午睡中に、担当している乳児（身長約70cm、体重約9kg）が大きな声で泣いたので、他の児が起きてしまわないように抱っこをして部屋を出ようとした。その時、床面（フローリング）に置いてあったボール（15cm程度、ビニール製）に右足がつまずいて転びそうになったため、とっさに児を落とさないよう2~3歩踏み出して不自然に右足を前方へ突っ張らせた。その際、右のお尻から膝の後ろまで激痛が走り、受診したところ肉離れとの診断を受けた。※ボールは、日課のおもちゃ拭きをした後、乾かすために床に置いてある状態だった。	58	50~ 99
12	11~12	右半身麻痺で立位困難な利用者のトイレ介助の時、排尿後、便座に座っている状態から利用者に左手で手すりにつかまってもらい、後ろ両脇を両手で支え、声かけをし、全身を伸ばし、立位状態にかかえあげたとき、右肩甲骨下に激痛があり負傷した。	55	50~ 99
12	11~12	施設内にて、体の不自由な利用者のベッドから車椅子などの移乗を3回連続で行った。寝ている利用者の足を抱えて持ち上げる際に前かがみでの作業となり、腰に過度な負担がかかってしまい、3回目に腰痛と左足の痺れが発生した。市販の湿布とコルセット、痛み止めの服用でしばらく様子をみたが痛み、痺れが引かず、後日病院を受診した。	53	10~ 29
12	5~6	当日は夜勤のシフトに入っており、小規模多機能型介護部門の事務所でデスクワークをしていた。朝、利用者の方が起きてきたので、介助しようと慌てて席を立ったところ、体勢を崩しよろめいた。体を支えようと右足を踏み込んだ際、右足首で挫いたものである。	25	300 ~ 499
12	16~17	右半身不随の入所者の部屋清掃後、ベッド移乗の際、下肢を右下より左上（ベッド上）に移動させる際、中腰になり抱え上げた時ブチッと鈍い音がして直後に臀部に痛みが生じたが痛みを堪え、後の業務を継続し、翌日以降も痛みを堪え業務を続けた。しかし、痛みが治まらず、後日病院で処方された痛み止めを使用し勤務を続けたが、その後の検査で緊急入院となった。	61	50~ 99
		利用者に立位動作をとってもらうため、職員が利用者の左後ろ側に立ち、前かがみになって、右手を利用者の右脇に、左手を腰の辺りに添えて立ち上げる介助を		50~

12	14~15	したときに、腰の辺りに強い痛みを感じた。休憩したが痛みが治まらず、他職員に公用車で自宅に送ってもらった。	56	99
12	14~15	当社1階機械浴室にて、座浴介助業務として利用者を車椅子から座浴椅子へ移乗させた際、腰に激痛がはしり負傷した。しばらく様子を見ていたが痛みが続き、帰宅後には立位が困難となった。	51	30～ 49
12	15~16	2F脱衣室において、車椅子からシャワーチェアに移乗させるため、利用者の正面から両腕を両脇下へ入れ、車椅子から体を持ち上げたところ、まだシャワーチェアへ移乗できていないところで利用者が座ろうとしたため、転倒しないように、いつも以上に踏ん張りシャワーチェアに移乗したところ、右膝を捻った。数秒動けずにいたが、痛みもすぐ治まったため勤務を続けた。	50	10～ 29
12	20~21	3階ホールエレベーター前にて、転倒しかけたお年寄りを抱えた際、左足を捻り負傷した。徐々に痛みが増し受診したところ、左足の第5指付け根上（中足骨）を骨折していた。	38	100 ～ 299
12	17~18	利用者宅でのベッドメイクの際、ベッドのヘッドボード側に立ち、ベッドのフットボード側にかたまった電気毛布をたぐり寄せようとしたところ、左脹脛から「ペキッ」という音がした。	53	100 ～ 299
12	17~18	利用者を車椅子からベッドに移乗し、枕の位置まで移動させた際に左ふくらはぎに激痛が生じた。	51	10～ 29
12	14~15	浴室で利用者を湯船へ誘導中、履き物を脱ぎ、段差で滑りかけたので右足で踏んばった。その際体重がのり、一瞬痛みがあったが、その後は痛みを感じず、そのままにした。後から痛みが出て、足を引きずるようになったため、通院しながら勤務していたが、歩けなくなった。	48	100 ～ 299
12	13~14	デイサービスセンターの2階で、餅つきが終了し、お湯の入った石臼を台車にのせようとした。石臼を持ち上げたところで、石臼の足台を他の職員が先に台車にのせたため、その上に石臼をのせようとした際、腰部がギクッとなり、痛みを感じて動けなくなった。	63	100 ～ 299
		利用者を迎えに行き、住宅出口の階段にスロープを設置して車椅子に乗った利用		100

12	9~10	者を降ろしていたとき、1/3ほど降りたところで左足から「ブチ」と音がして痛みがはしった。	74	～ 299
12	10~11	入浴介助中に、入居者を湯船から中腰姿勢で抱きかかえた際、腰部に激痛がはしった。痛みが治まらなかったため受診し、その後はコルセットを装着し、腰をかばいながら業務を行っていた。2ヶ月後、入居者居室内にて車椅子からベットへ移乗介助するため、入居者を抱きかかえた際に腰部に激痛がはしった。	26	30～ 49
12	9~10	利用者宅に迎えに行き、出掛ける用意を済ませ、玄関までの廊下で利用者を後ろから支えていた被災者は、ドシンと尻もちをつき座り込んでしまった。利用者の左足が玄関マットで横滑りし、頭の方から倒れそうになったので、被災者が利用者の腰の辺りを持ったと同時に、体重が被災者の方にかかり、抱えた反動でそうなったものである。30分程動けなかったが、車で施設まで送り業務を終えたのち、痛みが出てきた。	65	30～ 49
12	6~7	居室において、利用者をベッド上から車椅子に移乗する際、利用者の急な緊張により、腰に負担がかかってしまい、腰を痛めてしまった。	21	100 ～ 299
12	13~14	デイサービス（定員18人程度）で、毎日高齢者の移乗等を繰り返し、腰に負担がかかったため発病したと思われる。	54	30～ 49
12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	50～ 99
12	10~11	利用者居室内にて、利用者（男性60kg）が転倒しており、片麻痺のある方で手足に力が入らず、全介助にて行ったため腰痛を発症した。	50	10～ 29
12	16~17	ユニット内にて棚の整理作業中、画鋲が落ちたのに気づかず左足で踏み、痛さでとび上がり、右足に負担がかかり、膝を痛めた。	67	50～ 99
12	10~11	浴室にて立位困難である利用者の入浴後、入浴介助車椅子より本人使用の車椅子への移乗時、転倒防止のため支えて介助中に、腰を捻り負傷した。翌日より疼痛がひどくなり、歩行困難な状態となった。	46	10～ 29

12	13~14	金融機関での小口現金の入出金業務のため、車両での外出から戻り、当園の送迎用駐車場（当園敷地から直線距離で50～60mに位置する駐車場）に車両を駐車した際、保育園に廃品回収のトラックが来ているのが見え、それが年内最後の回収だったことと、他に廃品回収の段取りを把握している者がいなかったため、急いで保育園へ向かって走ったところ、途中で左膝から「パキッ」という音が鳴って負傷した。	65	10～ 29
12	11~12	施設内で入居者のオムツ交換をしている際、前傾姿勢になったときに腰に痛みを感じたが、仕事を続け、腰の痛みで動けなくなり、救急搬送され入院となった。	65	10～ 29
12	9~10	訪問介護支援のため利用者宅を訪問し、利用者を車椅子に乗せようとしたところ、腰に痛みがはしった。	63	30～ 49
12	18~19	施設1階で、利用者が居室で座り込んでいたとの報告があり、スタッフ2人で居室へ向かい、1人は車椅子を支え、本人が利用者を車椅子へ移乗させたときに負傷した。	53	30～ 49
12	15~16	施設内トイレにおいて、車椅子を使用し、全身麻痺に近い利用者のトイレ介助を職員2名（本人含む）で行っていた。30代の男性職員が紙オムツを交換し、被災者は、洋式便器の横から無理な姿勢で介助を行い、利用者の体を全身の力をふりしぼって抱きかかえ、その動作を2～3回行っていた際、左の背中に激痛があり負傷した。	63	50～ 99
12	11~12	デイサービスで入浴介助中、利用者を浴槽に入れようとして抱きかかえていたところ、腰から「ビリッ」と音がして痛みを感じた。痛みが続いていたが、当日は所定労働時間の仕事をして帰宅し、夕方になると立てないくらいの激痛となり、救急車を要請して病院に搬送され、そのまま入院となった。	35	1～9
12	14~15	1F相談室で施設行事の準備を行っているとき、床に置いてある24kg程の荷物を持ち上げた際、腰に激痛がはしり動けなくなった。時間の経過とともに右腰の痛みが増し、右下肢の痛みと痺れが発生した。	49	30～ 49
12	0~1	介護ヘルパーとして、訪問介護をするため利用者宅を訪問した際、訪問してすぐ「早く、早く」と声がして、部屋のドアを開けると利用者が転倒して座り込んでおり、トイレに行きたいので起こしてくれと言われ、起こすためにバスチェアを	65	30～

		お尻の後ろに置き、腰かけさせるためにズボンを持って抱え上げたところ、腰からボキッと音がして激痛がはしり、骨折した。		49
12	16~17	デイサービスセンターの職員が利用者を自宅に送る際、利用者が自宅の玄関前で、突然腰折れ状態となった。その際、寄り添っていた被災者が咄嗟に利用者の尻の下に滑り込んだところ、利用者が正座状態となった被災者の膝の上に座り込んでしまった。被災者は利用者を立ち上がらせようとして、利用者の臀部を抱え上げたとき、無理な姿勢であったためか、急に被災者の腰に激痛がはしった。	48	10~ 29
12	9~10	個室トイレにて排泄介助中、利用者のズボンを上げようと中腰になったとき、膝折れして転倒しかけたのを咄嗟に支えたところ、腰に痛みがはしり動けなくなった。	31	100 ~ 299
12	9~10	作業場の入口にて、職員が利用者の到着を見守っていたところ、利用者（精神障害者、障害程度B2）が職員の前で止まり、パニック状態で職員の右顔面、目の付近を平手で殴った。職員が利用者のパニックを抑えようと右手で利用者の左手を押さえたが、利用者は職員の右手の人差し指をつかみ持ち上げた。その際、左手人差し指が捻じれた形となり、骨折した。	57	10~ 29
12	10~11	施設利用者を介護職員2人で施設内浴場にて入浴介助を行っている際、入浴チェアから車椅子に移乗するため、利用者を抱えたとき、腰にグッキと負担がかかり、激しい痛みで襲われた。しばらく勤務し続けたところ、立ち居振る舞いも苦痛になるくらいに悪化し、第2腰椎圧迫骨折で約4週間の安静加療となった。	66	10~ 29
12	11~12	利用者居室にて、利用者をベッドより車椅子へ移乗する際に、利用者が右側へバランスを崩したので、転倒を防ぐために左腕で支えたときに被災した。	49	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html